

CN-F1X10BHD

Panasonic®

取扱説明書

カーナビステーション



品番 **CN-F1X10BHD**
CN-F1X10HD
CN-F1D9HD

ご使用前に、「安全上のご注意」(P.4～7)を必ずお読みください。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、説明書とともに大切に保管してください。

下記サイトで「ユーザー登録」をお願いします

<https://panasonic.jp/navi/>

- ユーザー登録と同時に、自動的に「ナビcafe」の会員登録が行われ、インターネットでの各種サービスをご利用いただけます。

保証書別添付

安全上のご注意

はじめに

ナビゲーション

オーディオ

BLUETOOTH®/
Wi-Fi

その他

安全上のご注意.....	4
--------------	---

はじめに

ご使用前に知っておいていただきたいこと.....	8
各部のなまえとはたらき.....	10
ディスプレイの位置と角度を調整する.....	12
基本操作・準備(確認・調整).....	14
初期設定をする.....	15
メニュー画面の操作.....	16
トップメニューを編集する.....	20
セキュリティの設定をする.....	21

ナビゲーション

地図の見かた.....	23
ルート・案内・地図・VICSをアレンジする(ストラーダチューン).....	30
地図の操作.....	32
行き先までのルートを作るには.....	37
行き先を探す.....	39
ルートを探索する.....	40
ルートを編集する.....	40
地点を登録する(登録地).....	42

オーディオ

オーディオの基本操作.....	43
テレビを見る.....	45
ラジオを聞く.....	47
交通情報を聞く.....	48
ディスクを再生する.....	48
BLUETOOTH Audioを再生する.....	57
SDメモリーカードに音楽CDを録音する.....	58
本機で録音した音楽データを再生する.....	61
本機で録音した音楽データを管理する.....	62
SDメモリーカード・USBメモリーを再生する.....	66
iPodを再生する.....	69

BLUETOOTH®/Wi-Fi

■ 登録・接続	
BLUETOOTH®対応機器を利用する前に.....	71
BLUETOOTH対応機器を本機と接続する.....	72
スマートフォンのWi-Fiネットワークに本機を接続する.....	74
■ ハンズフリー	
ハンズフリーで通話する.....	76
■ スマートフォン	
スマートフォン連携.....	78
■ 音声認識	
音声認識で目的地を検索する.....	79

その他

■ その他の機能

本機の情報を確認する	81
本機のデータを更新する	82

■ 別売品

後席用モニターと組み合わせる	84
ETC2.0車載器と接続して使う	84
リアビューカメラと組み合わせる	85
その他の外部機器と接続して使う	87

■ 設定

利用に応じた設定に変える	88
--------------------	----

■ 困ったとき

よくあるお問い合わせ	93
故障かな!?	94

■ 必要なとき

テレビ・ラジオの受信について	112
ディスクについて	113
SDメモリーカード・USBメモリー について	116
データ作成時の留意点	117
BLUETOOTHについて	121
Wi-Fiについて	122
ナビゲーションシステムとは	123
VICSについて	127
さくいん	129
商標などについて	132
ソフトウェア、およびオープン ソースソフトウェアについて	134
仕様	138
保証とアフターサービス	142

使い方ガイドのご案内

お客様に、本機をより使いこなしていただくための使い方ガイドを、
当社のWeb サイトで案内しています。

本機に収録されている地図ソフトについての注意事項や、
収録情報の詳細についても、使い方ガイドにてご案内しています。

使い方ガイドをパソコンでご覧になる場合は、下記のWebサイトをご覧ください。

<http://car.panasonic.jp/support/manual/navi/agree.html>

本書の読みかた

- 本書では、CN-F1X10BHDを例に説明しています。
- 機種ごとに仕様が異なる場合は、下記のアイコンで区分しています。

(F1X10BHD) : CN-F1X10BHD

(F1X10HD) : CN-F1X10HD

(F1D9HD) : CN-F1D9HD

- タッチキーとディスプレイユニットのボタンを、下記のように描き分けています。

例) **案内スタート** **決定** : タッチキー

AUDIO **MENU** **MAP** : ディスプレイユニットのボタン(本体のボタン)

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

 **注意** 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

 してはいけない内容です。

 実行しなければならない内容です。

取り付けや配線をするとき

警告



本機はDC12 V⊖アース車専用です

DC24 V車には使用できません。火災や故障の原因となります。

取付説明書に従って、取り付けや配線をする

作業は手順どおりに正しく行ってください。火災や故障の原因となります。

作業前に、車体のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認する

車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないようにし、加工部にサビ止め・浸水防止処置をしてください。火災や感電の原因となります。

作業前に、必ずバッテリーの⊖端子を外す

外さずに作業をすると、ショートによる感電やけがの原因となります。

使用しないコードの先端などは、テープなどで絶縁する

被覆がない部分が金属部に接触すると、ショートによる火災や感電、故障の原因となります。

アースコードを車両側のアース部分に確実にねじ止めする

アースコードが確実にねじ止めされていないと、火災や感電、故障の原因となります。

サイドブレーキコードを正しく配線する

安全機能が働かず、交通事故の原因となります。

コード類は、運転を妨げないように引き回す

ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダルなどに巻きつくと、交通事故の原因となります。

作業後は、車の電装品*の動作確認をする

正常に動作しないと、火災や感電、交通事故の原因となります。

* ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウinkerなど

フィルムアンテナは、保安基準の取付許容範囲に貼り付ける

視界不良による事故の原因となります。

取り付けや配線をするとき



警告

**取り付け(取り外し)や配線は、専門技術者に依頼する**

誤った取り付けや配線をした場合、車に支障をきたすことがありますので、お買い上げの販売店にご依頼ください。

**適合車種以外には、絶対に取り付けない**

視界や運転の妨げにより、交通事故やけがの原因となります。適合車種については、Webサイト(<https://panasonic.jp/car/navi/f1d-taioushashu/>)をご覧ください。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

視界や運転を妨げる場所*、同乗者に危険をおよぼす場所には、取り付けない

交通事故やけがの原因となります。

* ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル付近・ハザードスイッチなど

車両メーカーが指定する禁止エリアに、取り付けや配線をしない

カメラ装置などの動作を妨げるおそれがあり、交通事故の原因となります。車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。

エアバッグの動作を妨げる場所には、取り付けや配線をしない

エアバッグが動作しなかったり、動作したエアバッグでナビゲーションや部品が飛ばされ、死亡事故の原因となります。車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。

取り付けやアース配線に、車の保安部品*を使わない

制御不能や発火、交通事故の原因となります。

* ステアリング、ブレーキ系統、タンクなどのボルトやナット

ねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って、飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

コードを破損しない

断線やショートによる火災や感電、故障の原因となります。

- 傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものを載せる、熱器具へ近づける、車の金属部や高温部に接触させるなどしないでください。
- 車体やねじ、可動部(シートレールなど)へ挟み込まないように配線してください。
- ドライバーなどの先で押し込まないでください。



分解禁止

分解や改造をしない

交通事故や火災、感電、故障の原因となります。

- コードの被覆を切って他の機器の電源をとるのは、絶対におやめください。
- アースコードの改造や、他の機器とのアース接続は絶対におやめください。

取り付けや配線をするとき **注意****必ず、付属品や指定の部品を使用する**

機器の損傷や確実に固定できず、事故や故障、火災の原因となります。

しっかり確実に取り付ける

走行中の脱落や破損などで、交通事故やけがの原因となります。

取り付ける場所の水気や汚れ（ほこりや油など）は、取り除いてください。

取り付けの状態（接着やねじのゆるみなど）を、ときどき点検してください。

板金やエッジ、樹脂バリおよび可動部に干渉しないように配線する

断線やショートによる火災や感電、故障の原因となります。

**本機の通風孔をふさがない**

内部に熱がこもり、火災や故障の原因となります。

ご使用になるとき **警告****ルート案内中でも、常に、実際の交通規制に従う**

交通事故の原因となります。

ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門技術者に依頼する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。
ヒューズ交換や修理は、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」に依頼してください。

スピーカーは、本機の仕様に適合したもの*を使用する

火災や発煙、発火、故障の原因となります。

*最大入力50 W以上のハイパワー用で、インピーダンスが4 Ω～8 Ω

医療用電気機器などへの影響を確認する

本機は、無線機能を搭載しています。心臓ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用になる場合は、当該の各医療用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響について必ずご確認ください。

**運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視しない**

必ず安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。

大きな音量で使用しない

車外の音が聞こえないことによる交通事故の原因となります。

ご使用になるとき

 警告**故障や異常な状態のまま使用しない**

画像が映らない、音が出ない、異常（異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がするなど）が起きた場合は、ただちに使用を中止し、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」にご相談ください。事故や火災、感電の原因となります。お客様による修理は、絶対におやめください。

SDメモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って、飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

機器内部に、水や異物を入れない

特に、傘による雨水や、飲み物などがかからないようご注意ください。水や、湿気・ほこり・油煙、金属物や燃えやすいものなどが機器内部に入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電、故障の原因となります。



接触禁止

雷が鳴りだしたら、アンテナコードや本機に触らない

落雷による感電のおそれがあります。

 注意**ディスプレイの温度を確認してから起倒や角度調整をする**

日光やヒーターの熱風などが長時間直接あたっていた場合や長時間連続使用した場合などは、本機が高温になり、やけどをするおそれがあります。その場合、温度が低下するまで使用を控えるようにしてください。

**本機を車載用以外には、使用しない**

発煙や発火、感電、けがの原因となります。

ディスプレイを前に倒した状態のまま運転しない

車の衝突、および急ブレーキやカーブなどで衝撃を受けて身体が本機と接触した場合、けがをするおそれがあります。

可動部やディスク挿入口に手や指を入れない

特に、ディスプレイの起倒や角度調整の際にご注意ください。けがの原因となります。

落下させる、たたくなど、強い衝撃を与えない

故障や火災の原因となります。

ディスプレイや可動部に負荷を与えない

ディスプレイに袋を吊り下げたり、上から手をついて押さえたりしないでください。脱落や破損などで、交通事故やけがの原因となります。

ご使用前に知っておいていただきたいこと

ご使用上の注意事項など

エンジンをかけてご使用ください

- エンジンを止めて長時間使用すると、バッテリーが消耗します。なお、アイドリングが禁止の地域もありますので、地域の条例等に従ってください。
- エンジンをかけたまま、換気の悪い場所（周囲が囲まれた車庫など）で長時間使用しないでください。排気ガスにより、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。

他の機器*1と接続する場合は

- 接続する機器の説明書もよくお読みください。
- ご使用の機器および接続するケーブルが、運転やエアバッグの動作を妨げたり、同乗者に危険をおよぼさないよう、適切に取り扱ってください。（配線の処理や機器の固定など）
- 温度が高くなる場所（直射日光や暖房機器の温風があたり続けるところなど）に放置しないでください。

* 1 iPod などの音楽プレーヤー、USB メモリー、スマートフォン、ビデオカメラなど

スマートフォンを使用する場合は

- 電話の位置や向きにより、映像や音声などに不具合が生じることがあります。その場合は、本機からの距離などを変えてご使用ください。

有機ELディスプレイについて F1X10BHD F1X10HD

以下の場合、故障ではありません

- 有機ELディスプレイの材料の特性により、画面に焼き付きが発生する場合があります。特に次のような画面を長時間表示し続けた場合に、焼き付きが発生しやすくなります。
 - ・DVDやBlu-rayのタイトル画面
 - ・静止画や動きの少ない映像
 - ・右画面に地図(P.34)やオーディオ画面などを表示した状態
 - ・上下や左右に黒オビが表示される映像
また、車内が高温になっている状態では焼き付きが発生しやすくなります。換気やエアコンなどで車内温度を下げるとともに、出来るだけ上記の様な焼き付きが発生しやすい表示をさけてください。
- 本機では焼き付き防止のため、高温になると画面輝度を落とすことがあります。車内の温度が下がると通常の輝度にもどります。

- 有機ELディスプレイの画素は、99.99 %の精度で管理されていますが、0.01 %以下で画素欠けするものがあります。そのため、黒い点が現れたり、赤・緑・青の点が常時点灯したりする場合があります。
- 先端が硬いもの（ボールペン、ピン、爪の先など）は使わず、必ず指で触れて操作してください。また指でたたいたり、強く押さないでください。キズ、破損、誤動作の原因となります。
- 車から離れるとき（本機を使用しないとき）は、本機に直接日光が当たらないように、サンシェードなどをお使いください。

液晶ディスプレイについてF1D9HD

- 先端が硬いもの（ボールペン、ピン、爪の先など）は使わず、必ず指で触れて操作してください。また指でたたいたり、強く押さないでください。キズ、破損、誤動作の原因となります。
- 車から離れるとき（本機を使用しないとき）は、本機に直射日光が当たらないように、車のサンシェードなどをお使いください。
- 低温になると、映像が出ない、映像が出るのが遅い、動きに違和感がある、画質が劣化したりすることがあります。
- 冷暖房を入れた直後など、水蒸気で画面がくもったり、露（水滴）で、正しく動作しないことがあります。約1時間放置してからご使用ください。
- 高温になると、画面の明るさを自動調整したり、本機の起動を停止する場合があります。
- 液晶ディスプレイの画素は、99.99 %の精度で管理されていますが、0.01 %以下で画素欠けするものがあります。そのため、黒い点が現れたり、赤・緑・青の点が常時点灯する場合がありますが、故障ではありません。

免責事項について

- 本機は各種規格に基いた製品仕様になっておりますが、接続する機器やソフト／アプリなどによっては、期待どりに動作しない場合があります。
- 本機は、必ずしもお客様の使用目的または要求を満たすものではありません。また、本機のソフト（収録されている地図データや安全支援機能など）が完全・正確であることを、保証するものではありません。

- 火災や地震、第三者による行為、その他の事故、取り付けの不備、お客様の故意または過失、誤使用、異常な条件下での使用により故障および損害が生じた場合、補償はできません。
- 本機の使用や使用不能から生じる付随的な損害(事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など)に関して、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本機を業務用のバスやトラック、タクシー、商用車などに使用した場合の保証はできません。
- プライバシー保護のため、本機に登録した個人情報(登録地の位置や電話番号など)は、お客様の責任において取り扱いや管理を行ってください。当社は一切の責任を負いかねます。
- 番組表などの地上デジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。万一、本機の不具合により、これらの情報が消失した場合、復元できません。また、その内容の補償はできません。
- 次の場合、補償はできません。
 - ・誤使用や、静電気などの電氣的なノイズを受けたことにより本機が正常に動作しなくなった場合
 - ・誤使用や、静電気などの電氣的なノイズを受けたとき、または故障・修理のときなどに本機に登録されていた情報が変化・消失した場合

大切な情報(登録地など)は、万一に備えてメモなどをとっておくことをおすすめします。

著作権などについて

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- 本製品はコピー防止技術を採用しており、ロヴィ社が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。分解したり、改造することにも禁じられています。
- 本機は許諾契約に基づき当社が使用許諾を受けた第三者のソフトウェアを含んでおり、本機からのソフトウェアの取り出し、複製、リバースエンジニアリング、その他の許諾されていない当該ソフトウェアの使用は固く禁じられています。また、当該ソフトウェアを更新する目的で配布されるプログラム、データについても同様の扱いとなります。

本体・画面のお手入れ

- お手入れは、必ず車のエンジンを切った状態(ACC OFF)で行ってください。
 - 本体の汚れは、きれいな柔らかい布で、軽く乾拭きしてください。
- 画面のお手入れの際には、次のことをお守りください。画面には特殊なコーティングが施されており、お手入れの方法によっては、キズ、コーティング剥がれなどの原因になります。
- 表面の汚れなどは、同梱のクリーニングクロスか、乾いたきれいなやわらかい布で、軽く拭いてください。
 - 次のものを使用しないでください。
 - ・汚れや砂、硬いゴミがついた布
 - ・濡れた布(ウェットティッシュ含む)
 - ・硬い布
 - ・画面以外を拭いた布
 - ・ティッシュペーパー
 - ・研磨剤
 - ・洗剤(ガラス用クリーナー含む)
 - ・シンナー、ベンジン、アルコール、ガソリンなどの有機溶剤、酸性やアルカリ性の溶剤
 - 画面を強くこすらないでください。爪を立てたり、布の角や折り目でこすらないでください。

ピックアップレンズについて

長期間使用すると、空気中やディスクに積もった細かいほこり、またはゴミが付着し、汚れてしまいます。

- ディスクの読み込みがよくない場合には、まず、ディスクの汚れを確認してください。
- それでもよくならない場合は、レンズの交換修理が必要です。お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」にご相談ください。保証期間後の修理は、有償です。

汚れを防ぐために

ディスクを使用する前など、ときどきディスクの表面のほこりやゴミ、指紋などを取り除いてください。

- ディスクを使用しないときは、必ずケースに入れて保管してください。

お願い

- 市販のレンズクリーナーディスクは、レンズに損傷を与え、故障の原因となりますので、使用しないでください。

各部のなまえとはたらき

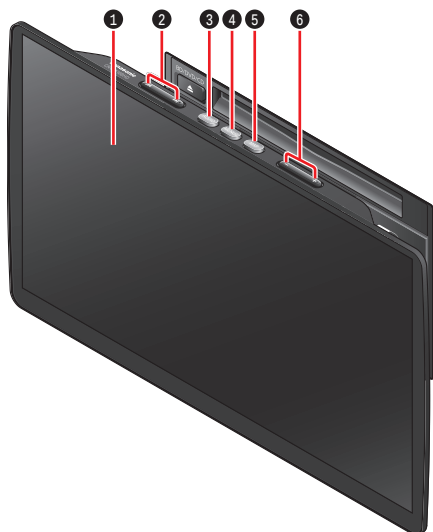
ディスプレイの位置や角度の調整ができます。(手動)

- 上下の位置を調整する (P.12)
- 上下の角度を調整する (P.13)
- 左右の角度を調整する (P.13)

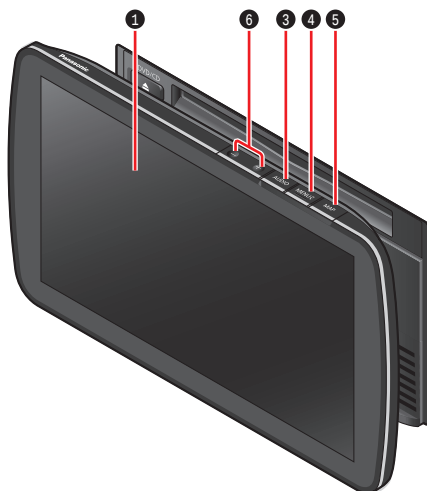
通常の状態

F1X10BHD

F1X10HD



F1D9HD



① タッチパネル

- タッチ操作時に使用

② TUNE(チューン)/TRACK(トラック) ボタン (◀◀▶▶) *1*2

Blu-ray Disc *3 DVD CD MEMORY MUSIC
USB SD BLUETOOTH Audio iPod

- 頭出し
- 早送り・早戻し(押し続ける)
- スロー再生(一時停止中に押し続ける)
(Blu-ray Discは送り方向のみ)

FM/AM

- 選局
- シーク選局 (0.5秒以上押す)

TV

- 選局

③ AUDIO(オーディオ) *1

- オーディオ画面に切り換え
- オーディオ OFF/ON (2秒以上押す)

④ MENU(メニュー) *1

- トップメニューを表示
- 音声認識を開始 (0.5秒以上押す)

⑤ MAP(マップ) *1

- 自車位置(現在地)を表示
- 画面調整(画質調整)画面を表示 (2秒以上押す)

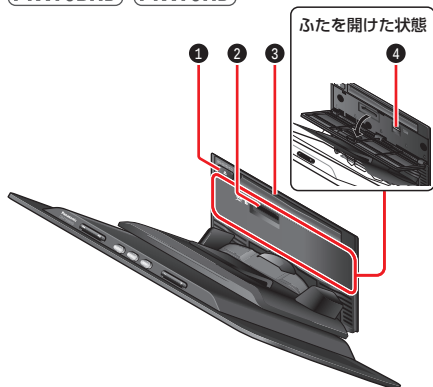
⑥ 音量ボタン(− +) *1

- 音量を調整

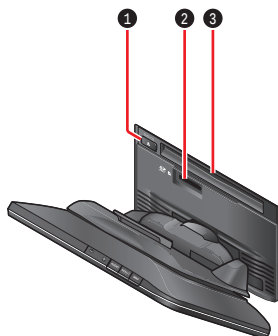
ディスプレイを倒した状態

FIX10BHD

FIX10HD



F1D9HD



① ディスク取り出しボタン (▲)

- ディスクを本機から取り出す

② SDメモリーカード挿入口

- 市販のSDメモリーカード (P.66) (P.116) を挿入する

③ ディスク挿入口

- ディスクを挿入する

④ microSDメモリーカード挿入口*3

- 市販のmicroSDメモリーカード (Blu-ray用 (P.49)) を挿入する

*1 ステータスバーからも操作できます。タッチキーが表示されていない場合は、表示内容を切り換えてください。(P.24)

*2 **FIX10BHD** **FIX10HD**のみ

*3 **FIX10BHD**のみ

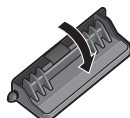
ディスプレイの位置と角度を調整する

上下の位置(高さ)を調整する

ディスプレイを起こし、手動でディスプレイの上下位置を調整する

- 無理に動かさずに、必ずロックを解除してください。

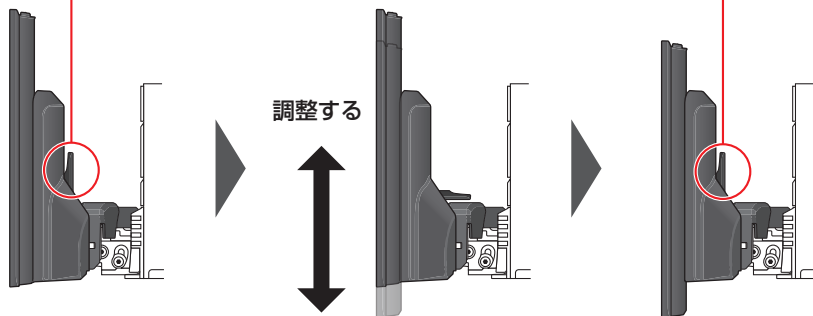
位置固定用レバー



ロックを解除する



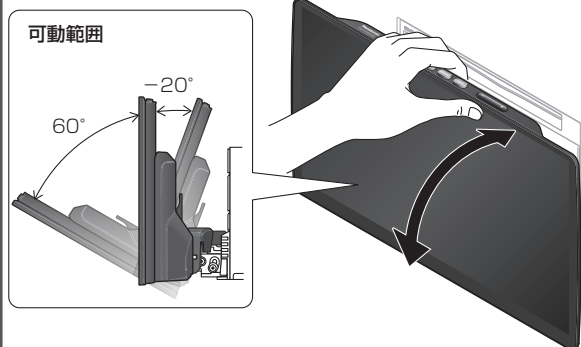
ロックを固定する



- ロックを固定する前に手を放すと、重みでディスプレイが下がってしまいます。ディスプレイを手で持ったまま、ロックを固定してください。

上下の向き(上下角度)を調整する

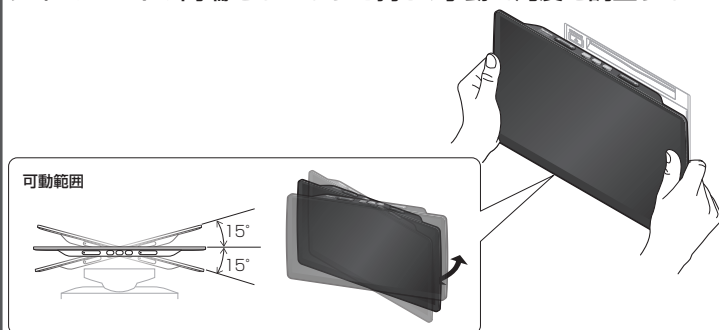
ディスプレイの上側をしっかりと持ち、手で角度を調整する



- 電源が入っているときは、できるだけ操作部(タッチパネル、ボタン)を持たないでください。

左右の向き(左右角度)を調整する

ディスプレイの両端をしっかりと持ち、手で角度を調整する



- 電源が入っているときは、できるだけ操作部(タッチパネル、ボタン)を持たないでください。
- 指をはさまないように気をつけてください。

基本操作・準備(確認・調整)

電源を入れる

- 1 車のエンジンをかける
(ACCをONにする)
 - 本機の電源が入ります。
 - セキュリティコード入力画面が表示されたら(P.22)

- 2 警告画面の注意事項を確認して、**OK**を選ぶ

- 現在地画面(自転車位置)が表示されます。
- オーディオ画面が表示されたときは、**[MAP]**を押すとナビゲーション画面(現在地)に切り換わります。
- 約10秒間何も操作しないと、警告画面は消去されます。
- 別売のETC2.0車載器を接続すると、ETCカードの状態などをお知らせします。
- ドライブレコーダー(CA-DR03HTD)を接続している場合、取付調整が行われていないと本機の電源を入れたときに、取付調整を促すメッセージが表示されます。

電源を切る

- 車のエンジンを止める
(ACCをOFFにする)
- 本機の電源が切れます。
 - ETC2.0車載器を接続している場合は、カード抜き忘れ案内をお知らせします。(P.90)

自転車位置を確認する

初めて本機を起動したときは、自転車位置と異なる地図が表示されますが、GPS衛星からの信号を受信し、しばらくすると自転車位置付近の地図(現在地画面)が表示されます。

1 GPSを受信していることを確認する



- 1 GPSを受信すると、方位マークの背景が赤から白に変わります。
- 2 GPSを受信すると、現在時刻が表示されます。
 - 未受信の場合は、--:--と表示されます。

2 見晴らしの良い道路を、そのまましばらく走行する(60分以上)

- 地図画面上の自転車マークの位置と実際の自転車位置との誤差が補正されます。

音量を調整する

本体ボタンで音量を調整する

調整したい音声が出力された状態で、**[田]**を押して調整する

- 出力中の音声の音量が調整されます。
- 調整中はステータスバーに音量が表示されます。

お知らせ

- オーディオまたはハンズフリーの音声とナビ案内が同時に出力されているときは、ナビ案内音が調整されます。
- オーディオの音量は、ソースごと(個別)に記憶されます。
- ナビ案内音の音量が「0」のときは、本体ボタンで音量を調整できません。
- ナビ案内音に関する設定は(P.15)

システム情報・設定メニューから音量を調整する

1 システム情報・設定メニュー (P.18) から、**音量設定**を選ぶ

2 各項目の音量を調整する



- **— +** : 調整範囲で音量を調整する
[太字: お買い上げ時の設定]
 - ・ナビ案内音: 0~5~11
 - ・音声認識音: 1~6~11
 - ・ハンズフリー着信音: 0~20~40
 - ・ハンズフリー受話音: 0~20~40
 - ・ハンズフリー送話音: 1~4~7
- スライダーをドラッグしても、音量を調整できます。
- お買い上げ時の設定に戻すには、**初期値 ▶ はい** を選びます。

お知らせ

- 音声認識音とハンズフリー送話音の音量は、「0」には設定できません。

オーディオの音量を一時的に消音する(ミュート)

準備

- ステアリングスイッチに「MUTE」を割り当ててください。

「MUTE」を割り当てたステアリングスイッチを押す

- 再度押すと解除されます。

お知らせ

- 消音時は、と表示されます。
- ナビゲーションの音声案内、音声認識のトークバック、ハンズフリーの音声(通話音・発着信音)などは消音されません。
- オーディオをOFFにするには(P.44)をご覧ください。

初期設定をする

車種を設定する

車種を設定すると、有料道路の料金計算に利用されます。

1 システム情報・設定メニュー (P.18) から、**車種設定**を選ぶ

2 **車種**を選ぶ

3 車種を選ぶ



- **小型車両** [お買い上げ時の設定]

自宅を登録する

- 1 自宅が登録されていない状態で、トップメニュー (P.16) または全機能一覧 (P.19) から、**自宅**を選ぶ
- 2 **はい**を選ぶ
● 自宅設定メニューが表示されます。
- 3 自宅の場所を検索する



- 検索のしかたは、「行き先を探す」と同じです。(P.39)
- **現在地付近**：現在地付近の地図を表示*1
- **出発地付近**：出発地付近の地図を表示*2
- **目的地付近**：目的地付近の地図を表示*2
- **地図**：最後に表示していた地図を表示

4 設定 ▶ 保存を選ぶ

- カーソルの地点が、自宅として登録されます。
- 引き続き、自宅へのルートを探索できます。
- 自宅を登録すると、地図上に自宅のアイコン(🏠)が表示されます。

* 1 ルート未設定時のみ

* 2 ルート案内中のみ

メニュー画面の操作

トップメニューを表示する

MENUを押す

- トップメニューが表示されます。

トップメニュー



- 1 All Apps (全機能一覧)
- 2 ショートカット
- 3 その他のメニュー
 - **Audio ON/OFF** (P.44)
 - **ハンズフリー** (P.77)
 - **情報・設定**
情報・設定メニューを表示
 - **ルート**
全ルート図を表示

お知らせ

- 全機能一覧から、よく使う項目をショートカットとして登録できます。(P.17)

ショートカット

ショートカットの切り換えかた

画面が複数ある場合は、**</>** を選ぶか、ショートカット周辺を左右にフリックまたはドラッグすると、左右の画面に切り換わります。

フリック



ドラッグ



- HDMI (P.87)
- USB*¹ (P.67、P.67)
- AM (P.47)
- MEMORY MUSIC*² (P.62)
- ドライブレコーダー (P.87)
- iPod (P.69)
- 交通情報 (P.48)
- SD*¹ (P.67、P.67)



- BLUETOOTH Audio (P.57)
- TV (P.45)
- 名称 (P.39)
- 電話番号
電話番号検索画面を表示
- FM (P.47)
- DISC (Blu-ray Disc/DVD/CD) *³
(P.50、P.52、P.54)
- 履歴
履歴検索画面を表示
- 自宅
あらかじめ自宅を登録しておく、自宅を目的地に設定します。



- 住所 (P.39)
- ジャンル
ジャンル検索画面を表示
- マップコード
マップコード検索画面を表示
- 登録地
登録地検索画面を表示
- 周辺施設
周辺施設検索画面を表示
- 音声認識 (P.79)

*¹ パソコンなどで保存したデータ(音楽/動画)の再生

*² 本機でSDメモリーカードに録音した音楽データの再生

*³ 挿入されたディスクによって、表示が変わります。Blu-ray Discの再生は**(FIX10BHD)**のみ

各種情報を見る・設定をする

- 1 トップメニュー (P.16) から、
情報・設定 を選ぶ
● 情報・設定メニューを表示します。

- 2 情報・設定メニューから、設定項目
を選ぶ



- **オーディオ情報・設定**
オーディオ情報・設定メニューを表示
- **システム情報・設定**
システム情報・設定メニューを表示
- **スマートフォン接続設定**
スマートフォン接続設定メニューを表示
- **ナビ情報・設定**
ナビ情報・設定メニューを表示

オーディオ情報・設定メニュー



- **オーディオチューン** (P.44)
- **オーディオ出力** (P.44)

システム情報・設定メニュー



- **操作音** (P.90)
- **時計表示** (P.90)
- **案内音声設定** (P.91)
- **音量設定** (P.91)
- **画質調整** (P.91)
- **画面OFF** (P.91)
- **トップメニューカスタマイズ** (P.91)
- **セキュリティ設定** (P.91)
- **車種設定** (P.91)
- **カメラ設定** (P.91)
- **ドライブレコーダー設定** (P.91)
- **ステアリングスイッチ設定** (P.91)
- **ダイレクトボタン設定** (P.91)
- **休憩案内** (P.91)
- **バージョン情報** (P.91)
- **車両信号情報** (P.91)
- **拡張ユニット情報** (P.91)
- **ソフトウェア・地図 更新** (P.91)
- **Gracenote® データベース更新** (P.91)
- **ナビヘルプ**
ナビヘルプダウンロード先の二次元
コードを表示
- **初期化** (P.91)
- **端末情報** (P.91)

スマートフォン接続設定メニュー



- BLUETOOTH 設定 (P.72)
- Wi-Fi 設定 (P.74)

ナビ情報・設定メニュー



- チューン (P.30)
- ナビ設定 (P.88)
- 渋滞情報
- ETC 情報
- GPS 情報

全機能一覧から機能を選ぶ

- 1 トップメニュー (P.16) から、
■ All Apps を選ぶ
 ● All Apps (全機能一覧) を表示します。

- 2 All Apps (全機能一覧) から、項目 (機能) を選ぶ



- 選んだ項目の画面に切り換わります。
 ※以降、All Apps を「全機能一覧」と表記して説明します。

全機能一覧から選択できる項目

■ スマートフォン連携

- ハンズフリー (P.77)

■ 目的地

- 音声認識 (P.79)
- 周辺施設
- 自宅
- ジャンル
- 住所 (P.39)
- 電話番号
- 登録地
- マップコード
- 名称 (P.39)
- 履歴

■ Audio

- AM (P.47)
- BLUETOOTH Audio (P.57)
- DISC (Blu-ray Disc/DVD/CD) * 1
(P.50、P.52、P.54)
- FM (P.47)
- HDMI (P.87)
- iPod (P.69)
- MEMORY MUSIC (P.62)
- SD (P.67、P.67)
- TV (P.45)
- USB (P.67、P.67)
- 交通情報 (P.48)

■ システム連携

- ドライブレコーダー (P.87)

■ 情報・設定

- オーディオ情報・設定 (P.18)
- システム情報・設定 (P.18)
- スマートフォン接続設定 (P.19)
- ナビ情報・設定 (P.19)

* 1 挿入されたディスクによって、表示が変わります。

トップメニューを編集する

全機能一覧の項目から、お好みの項目をショートカットとしてトップメニューに表示できます。(1画面あたり最大8項目、7画面まで)

トップメニューに表示させるショートカットを選ぶ

全機能一覧(P.19)から、トップメニューに表示させたい項目の「メニューに表示」チェックボックスをONにする



- チェックした項目が、トップメニューにショートカットとして表示されます。
- タッチすることにより、ON/OFFが切り換わります。

ショートカットの配置を変更する(トップメニューカスタマイズ)

配置変更のしかた

1 システム情報・設定メニュー(P.18)から、

トップメニューカスタマイズを選ぶ

- トップメニューカスタマイズ画面が表示されます。
- トップメニューでショートカットを約1秒以上タッチしても、表示できません。

2 配置を変更したい項目をドラッグして、移動する

- ドラッグした位置に項目を移動します。
- ドラッグした位置に他の項目がある場合は、自動的にドラッグした項目を避けて再配置されます。
- すでに8項目すべて配置されている画面には、他の画面から項目を移動できません。
不要な項目を他の画面に移動させるか削除してから移動してください。
- この操作を繰り返し、ショートカットの配置をしてください。

■画面内を移動する

選択した項目が、ドラッグした位置に移動されます。



■他の画面に移動する

画面の左端/右端までドラッグすると、左となり/右となりの画面に移動します。



■ ショートカットを削除する

画面上でドラッグすると、選択した項目がショートカットから削除されます。



3 決定を選ぶ

- トップメニューカスタマイズを完了します。

お買い上げ時の設定に戻すには

トップメニューカスタマイズ画面から、**初期化** ▶ **はい**を選ぶ

セキュリティの設定をする

万一盗難にあった場合でも、セキュリティコードを設定していれば、盗難後の使用や個人情報の漏洩を防ぐことができます。

セキュリティコードを忘れた場合、本機を使用できなくなります。お近くの「サービスご相談窓口」にご相談ください。セキュリティコード解除に生じる費用は、お客様のご負担になります。

セキュリティコードを設定する

セキュリティコードは、忘れないようにメモしておいてください。

- 1 システム情報・設定メニュー (P.18) から、**セキュリティ設定**を選ぶ

- 2 セキュリティ設定画面から**セキュリティ設定 ON**を選ぶ



- 3 下記操作を行う (初めて設定する場合のみ)

- 1 **OK**を選ぶ
- 2 初期セキュリティコード「9876」を入力し、**決定**を選ぶ
- 3 **はい**を選ぶ

- 4 **OK**を選ぶ

5 セキュリティコードを入力し、**決定**を選ぶ



- **決定** : 1文字削除
 - 文字種 : 数字・A～Fの大文字
 - 文字数 : 4文字～12文字
- ※ 第三者から推測されやすい文字列
(例 : 生年月日、0000のような同じ文字の繰り返し、わかりやすい並びの文字など)を避けて設定してください。

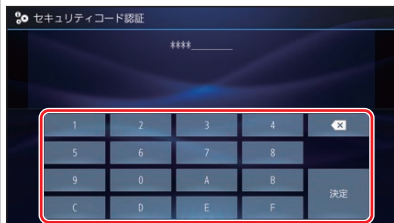
6 はいを選ぶ

- セキュリティコードが設定されます。

本機を起動時にセキュリティコード入力画面が表示されたら

バッテリーコードが外されたあとに本機を起動した場合などに、セキュリティコード入力画面が表示されます。

セキュリティコードを入力し、**決定**を選ぶ



- ロックが解除されます。

セキュリティコードの設定を解除する

他人に譲渡する場合などは、セキュリティ設定を解除してください。

1 システム情報・設定メニュー (P.18) から、**セキュリティ設定**を選ぶ

2 セキュリティ設定画面から、**セキュリティ設定 OFF**を選ぶ

3 セキュリティコードを入力し、**決定**を選ぶ

- セキュリティ設定が解除されます。

盗難多発地点案内の設定をする

盗難多発地点のアイコンを地図上に表示し、注意を促します。

1 システム情報・設定メニュー (P.18) から、**セキュリティ設定**を選ぶ

2 セキュリティ設定画面から、**盗難多発地点 表示案内 ON**を選ぶ

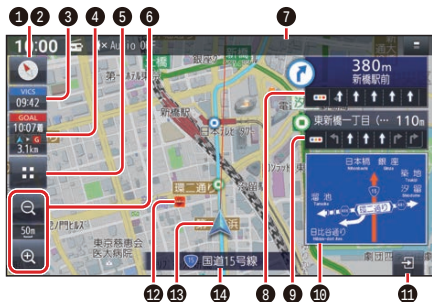


3 市街地図にも表示する場合は、市街地図での盗難多発地点表示案内 **ON**を選ぶ

地図の見かた

現在地画面

[MAP]を押すと、現在地画面が表示されます。



- ① 方位マーク (地図の向きを表示)
タッチするごとに、地図の向きが切り換わる

ノースアップ
(北が上/2D)
↓
ヘディングアップ
(進行方向が上/2D)

- ② GPS受信状態
現在地の測位の状態を方位マークの色で表示
● 白色：測位完了
● 赤色：測位未完了 (測位計算中)
- ③ VICS タイムスタンプ
VICSの情報が提供された時刻を表示 (P.35)
● タッチすると、近くの渋滞や交通規制などのVICS情報が案内されます。(前方約10 km以内)
- ④ 到着時刻/残距離表示
ルート案内中に、目的地または経由地までの距離と、到着する予想時刻を表示
- ⑤ (ランチャー)
ランチャーを表示 (地図画面の種類によっては、表示されません。) (P.25)

- ⑥ 縮尺表示 (P.32)

縮尺5 m～50 mでは、建物の形まで詳細に表示される市街地図になります。

- 広域
- 50m 現在の縮尺を表示
- 詳細

- ⑦ ステータスバー

● 現在時刻・オーディオ状態・録音状態・外部機器の状態を表示します。また、本機を操作できます。(P.24)

- ⑧ 分岐交差点情報表示

ルート上の右左折する交差点について、名称、交差点までの距離、通るべき車線を案内

- ⑨ 通過交差点情報表示

直進する交差点について、名称、交差点までの距離、通るべき車線を案内

- ⑩ 方面看板表示

一般道を走行中に、交差点の方面看板と進むべき方向の矢印を表示

- 表示する/しないの設定 (P.89)

- ⑪ 案内図切換タッチキー

拡大図・案内図の表示/切り換え/消去に使用 (P.34)

- ⑫ ランドマーク

目印となる施設などを地図上にマークで表示 (縮尺5 m～200 mで表示)

- 表示させるランドマークを選ぶことができます。

- ⑬ 自転車マーク

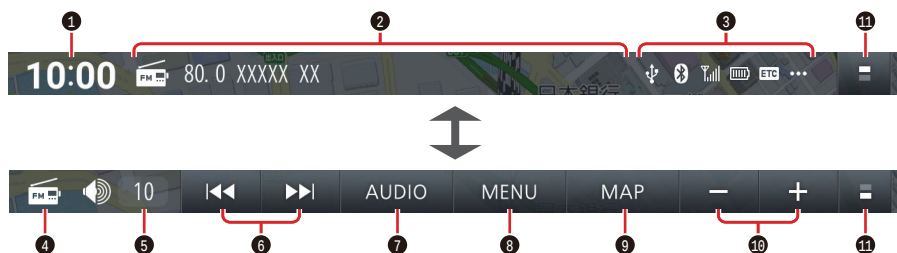
自転車位置と進行方向を表示

- 色と大きさを変更できます。(P.31)

- ⑭ 道路名称

現在地の道路名称を表示

ステータスバー



- ① 現在時刻
GPSで受信した現在時刻が表示されます。
(未受信の場合は--:--と表示されます。)
- ② オーディオ状態表示
選択中のオーディオソース、再生中のオーディオ情報を表示
- ③ 録音状態・外部機器状態表示
ETC2.0車載器、ドライブレコーダー、USB機器、スマートフォンなど、本機と接続された機器の状態を表示
 - ETC状態表示
 - ETC: 有効なETCカードが挿入済
 - ETC: ETCカード有効期限切れ
 - ETC: 利用不能 (ETCカード未挿入など)
 - ドライブレコーダー状態表示
 - REC: 自動録画中
 - REC: 手動録画中
 - REC: 録画停止中
 - データ更新状態
 - 更新: 更新データあり (準備完了)
 - 更新: 更新用SDメモリーカードを挿入 (P.83) / 矢印点滅時は更新準備中
 - 更新: 更新準備中断、または更新データ不備
 - スマートフォンの電池残量 (6段階)
 - スマートフォンの電波状態 (6段階)
 - Wi-Fiの接続状態 (5段階)
 - BLUETOOTH接続あり
 - USB機器接続あり
 - REC CD録音中
- ④ 選択中のオーディオ
選択中のオーディオソースを表示
- ⑤ 再生音量
 - 選択中のオーディオソースの音量を表示
 - [M]: オーディオ消音中
- ⑥ TUNE/TRACKタッチキー
 - オーディオ操作に使用
 - [◀▶]と同じ機能です。
- ⑦ AUDIOタッチキー
 - オーディオ画面に切り換え
 - オーディオOFF/ON (約2秒以上タッチする)
 - [AUDIO]と同じ機能です。
- ⑧ MENUタッチキー
 - トップメニューを表示
 - 音声認識を起動 (約0.5秒以上タッチする)
 - [MENU]と同じ機能です。
- ⑨ MAPタッチキー
 - 自車位置 (現在地) を表示
 - 画面調整 (画質調整) 画面を表示 (約2秒以上タッチする)
 - [MAP]と同じ機能です。
- ⑩ 音量タッチキー
 - 音量を調整
 - [◀▶]と同じ機能です。
- ⑪ 切り換えタッチキー
 - ステータスバーの表示内容を切り換え

お知らせ

- ステータスバーに表示しきれないアイコンがある場合、[A]が表示されます。下方向へフリックまたはドラッグすると、現在の状態が一覧表示されます。[A]が表示された項目は、タッチすると、各機能の設定画面などが表示されます。

地図モード画面

現在地からスクロール (P.32) すると地図モード画面になります。



① カーソル(⊕)

地図の中心に表示

② 施設名

カーソル(⊕)の地点に施設名の情報がある場合に表示(トップメニューまたは全機能一覧から検索した施設に施設名称の情報がある場合のみ)

③ ←(戻る)

1つ前の画面に戻る

④ カーソル(⊕)から現在地の方向を赤い直線で表示

⑤ 設定

地点メニューを表示 (P.26)

⑥ 地点名称

カーソルの位置の住所を表示

⑦ マップコード (P.126)

カーソルの位置のマップコードを表示

お知らせ

- 地図モード画面で、地図の向き・縮尺・傾きを切り換えても、現在地画面に戻すと、もとの設定に戻ります。

ランチャー

現在地画面で **☰** を選ぶと、ランチャーが表示されます。

地図表示・地点検索・地点登録・ルート探索・ルート案内に関する設定ができます。



- 表示されていない項目は、**<** **>** をタッチするか、左右にフリック/ドラッグすると表示されます。

お知らせ

- 拡大図表示中は、**☰** は表示されません。拡大図を非表示にしてから (P.35) 操作してください。

ランチャー機能一覧

項目	機能
TUNE	ストラダチューンを行う (P.30)
案内スタート / 案内ストップ	ルート案内を開始 / 中止する (P.38)
ルート編集	ルート編集画面を表示する (P.40)
再探索	再探索を開始する
道路切替	自車位置を別の道路に切り換える
周辺施設	周辺施設検索をする
右画面表示	現在地画面にオーディオの映像、地図を表示 / 消去する (P.34)
地点登録	現在地を登録地として登録する (P.42)
ランドマーク表示 / ランドマーク非表示	ランドマークを表示 / 消去する
ランドマーク設定	ランドマークの設定画面を表示する

地点メニュー

地点メニューから、目的地・経由地・出発地・登録地などを設定したり、施設の詳細情報を見ることができます。

地図モード画面 (P.25) から

設定を選ぶ

- 地点メニューが表示されます。



● ここに行く

カーソルの地点を目的地に設定して、ルート探索を開始する

● 立寄る

カーソルの位置を経由地に設定して、ルート探索を開始する (ルート案内中のみ)

● 地点登録

カーソルの地点を登録地として登録する

● 地点編集

地点編集画面を表示する (カーソルの地点が登録地の場合のみ)

● 周辺検索

カーソルの周辺の施設を検索する

● 閉じる

地図モード画面を表示する

お知らせ

- 表示されるタッチキーは、状況によって異なります。

ルート案内中の画面



① 2 経由地マーク

経由地に設定した場所を表示

② 案内ルート

目的地までの案内ルートを表示

③ G 目的地マーク

目的地 (P.40) に設定した場所を表示

④ 残距離 / 到着時刻表示

目的地または経由地までの距離と、到着する予想時刻を表示

- タッチすると、残距離 / 到着時刻を、目的地までにするか経由地までにするかを切り換えます。

⑤ 目的地方向直線表示

現在地から見た目的地の方向が、直線で表示されます。

- 到着時刻 / 残距離を表示している目的地 (経由地) までの方向が表示されます。

- 表示する / しないの設定 (P.88)

⑥ 通過ポイント

ルート案内中に通過するポイントを表示

お知らせ

- 高速道路や有料道路は青色、一般道路は水色またはピンク色で表示されます。

安全・安心運転サポート

運転中の状況に応じて表示と音声で注意を促し、運転をサポートします。

道路上に表示



標識拡大表示



現在地名に割込み表示



お知らせ

- 音声では案内されない情報もあります。
- 安全・安心運転サポートの案内について (P.27) をご覧ください。
- 割り込み表示のしかたを設定できます。 (P.31)

安全・安心運転サポートの案内

状況	表示		音声
急なカーブに近づくとき* ¹ (カーブ案内)	 急カーブ 注意		この先、カーブです。
制限速度を超過して走行しているときは* ² * ³ (速度超過警告)	 制限速度		速度超過です。
制限速度が変わるとき* ² (制限速度案内)	 制限速度		なし
一般道で一時停止が必要な地点に近づくとき* ² (一時停止案内)	 一時停止		この先、一時停止です。
レーンのある高速道路では (高速レーン減少案内)	 左レーン 減少		この先、 左車線 が減少します。
高速道路で注意の必要な合流地点に近づくとき (合流案内)	 左から 合流		この先、 左から の合流車両に注意してください。
踏切付近では* ⁴ (踏切案内)	 この先 踏切		この先、踏切です。
一般道の指定方向外進行禁止の交差点では* ² * ⁵ * ⁶ (指定方向外禁止案内)	 指定方向外 進行禁止		なし

状況	表示		音声
一般道の事故多発地点に近づく (事故多発地点案内)	 事故多発！		この先、事故多発地点です。注意してください。

各案内の設定について、詳しくは「ルート・案内・地図・VICSをアレンジする(ストラダチューン)」(P.30)をご覧ください。

- * 1 カーブの形状や走行する速度によっては、案内されない場合があります。
- * 2 情報のある区間・地点のみ
- * 3 制限速度を超過していても、案内されない場合があります。
- * 4 踏切手前の道路の形状や走行する経路によっては、案内されない場合があります。
- * 5 時間規制や車種規制がある標識は、規制対象時間、規制対象車種に該当したときのみ案内されます。また、複雑な形状の標識は案内されません。
- * 6 ルート案内中は表示されません。

お知らせ

- 複数の安全・安心運転サポートがある地点では、情報のいずれか1つが案内されます。
 - 割り込み表示のしかたを設定できます。(P.31)
 - 隣接する並行な道路があるときや高架下/立体交差などを走行する際に自車位置を誤認して、案内されなかったり、案内が実際と異なる場合があります。
 - 車両に「標識認識機能」がある場合、本機の案内と車両側に表示される情報が異なる場合があります。
 - 地図データの整備状況や走行中の状況などにより案内されなかったり、案内が実際と異なる場合があります。
- 必ず実際の道路状況や交通規制標識・標示などに従って運転してください。

逆走注意アラーム

SA/PA内で駐車してエンジンを切ったあと再度エンジンをかけ発進させると、逆走しないよう事前に注意を促します。



- 逆走注意アラームの設定 (P.89)

お知らせ

- SA/PAによっては、案内されない場合があります。

逆走検知警告

■ 高速道路を逆走しているときは

IC/JCTなどの合流部、SA/PAの入口・出口、高速道路の出口部などで逆走を検知すると、逆走のおそれがある旨を警告案内します。



逆走のおそれがあります。
進行方向にご注意ください。

- 逆走していない状態で警告が表示された場合は、「ここでは案内しない」のチェックボックスをONにすると、次回からその地点での逆走検知警告は案内されなくなります。
- 逆走してしまった場合は、安全な場所(路側帯など)に停車し、路側帯に設置された非常電話などから、道路を管轄する管制センターなどに指示をあおいでください。
- 逆走注意アラームの設定に連動して、ON/OFFの設定が切り換わります。(P.89)
- 逆走検知警告について、詳しくは(P.125)をご覧ください。

■ 逆走検知警告表示を消去するには

解除を選ぶ

お知らせ

- 逆走検知警告は、都市高速・都市間高速道路などで案内されます。
- SA/PAによっては、案内されない場合があります。
- すべての場所、すべての場合での逆走検知を保証するものではありません。
- 「出荷状態に戻す」(P.92)の操作を行うと、**ここでは案内しない**の設定もお買い上げ時の状態に戻ります。

ルート・案内・地図・VICSをアレンジする(ストラーダチューン)

ストラーダチューンの設定画面を表示する

1 現在地画面でを選ぶ

2 ランチャー (P.25) から、TUNEを選ぶ

- ストラーダチューンの設定画面は、ナビ情報・設定メニュー (P.19) から **チューン** を選んでも表示されます。

3 各項目を設定する

ルート

ルート探索時の条件を設定します。

1 ルートを選ぶ



2 ルート探索条件を設定する

[お買い上げ時の設定]

- 有料道路優先***¹ [中]
少しでも節約するか、割高でも有料道路を利用するかの度合いを設定する
- 道幅優先***² [中]
できるだけ距離優先*³にするか、多少遠回りでも車線の多い道を優先するかの度合いを設定する
- 渋滞回避** [中]
VICSの渋滞情報を考慮する度合いを設定する

●ルート学習 [ON]

本機が探索したルート以外を通ったときなどに、ルートを学習して次の探索に反映させる度合いを設定する*⁴

- **アクティブ** を選ぶと、ONよりも学習しやすく、ルート探索に反映されやすくなります。

●VICS考慮 [ON (考慮する)]

VICS情報を考慮する/しないを設定する

●季節規制考慮 [ON (考慮する)]

季節規制区間を避けて探索する/しないを設定する

●スマートインター考慮 [ON (考慮する)]*⁵

スマートICを考慮して探索する/しないを設定する

- *¹ 探索条件が「有料優先」のときは考慮されません。
- *² 探索条件が「距離優先」のときは考慮されません。
- *³ 狭い道や未舗装の道を案内する場合があります。
- *⁴ 必ず学習した内容でルート探索することを保証するものではありません。
- *⁵ ETC車載器、ETC2.0車載器を搭載していない車両の場合は、スマートインター考慮を「OFF (しない)」に設定してください。

ガイダンス

ルート案内時の設定をします。

1 ガイダンスを選ぶ



2 案内について設定する

[お買い上げ時の設定]

●分岐案内頻度 [高]

IC・JCT・交差点・踏切・料金所・目的地付近などでの案内の頻度を設定する

安全・安心運転サポートの案内について (P.27)

- 標識拡大表示 [ON(する)]
- 一時停止案内 [ON(案内する)]
- 合流案内 [ON(案内する)]
- 踏切案内 [ON(案内する)]
- 制限速度案内 [ON(する)]
- 指定方向外禁止案内 [ON(案内する)]
- レーン案内 [ON(案内する)]
高速レーン減少案内、一般道専用レーン
- カーブ案内 [ON(案内する)]
- 事故多発地点案内 [ON(する)]
- 有料道速度超過警告 [ON(する)]
- 一般道速度超過警告 [ON(する)]

マップ

地図表示の設定をします。

1 マップを選ぶ



2 地図表示について設定する

[お買い上げ時の設定]

- 昼の地図色 [ノーマル] / 夜の地図色 [ノーマル]
昼画面・夜画面の地図色を設定する
- 文字サイズ [中]
地図の文字サイズを設定する
- 自転車マーク [青矢印(大)]
自転車マークの大きさと色を設定する
- 昼夜切替 [ライト連動]

■ 地図色について

- **ノーマル**
通常の地図
- **道路強調**
道路が見やすい地図
- **クラシック**
従来のように道路を色分けした地図*1
- **ハイコントラスト**
夕暮れや夜間などの暗い車内でも見やすいようにコントラストを高くした地図

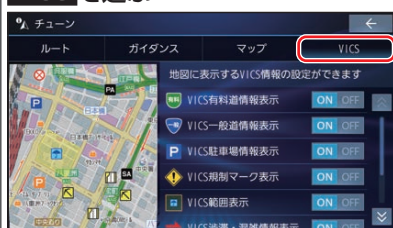
■ 昼夜切替について

- **時刻連動** : 日の出/日の入時刻に連動
 - **ライト連動** : ライトの点灯/消灯に連動
 - **昼画面** : 常に昼画面を表示
 - **夜画面** : 常に夜画面を表示
- *1 道路の色分け(昼画面の場合)
◇内がクラシックの色分けです。
緑系(青系) : 高速道路、有料道路
茶系(赤系) : 国道
茶系(緑系) : 主要地方道、県道
灰系(灰系) : 一般道、細街路(道幅5.5 m未満)
青(破線) : フェリー航路

VICS

VICSの表示設定をします。

1 VICSを選ぶ



2 VICSについて設定する

[お買い上げ時の設定]

- **VICS有料道情報表示** [ON(表示する)]
有料道のVICS情報を表示する/しないを設定する
- **VICS一般道情報表示** [ON(表示する)]
一般道のVICS情報を表示する/しないを設定する
- **VICS駐車場情報表示** [ON(表示する)]
駐車場情報を表示する/しないを設定する

■ 規制情報の表示を設定する

- **VICS規制マーク表示** [ON(表示する)]
規制情報を表示する/しないを設定する
- **VICS範囲表示** [ON(表示する)]
範囲情報のある規制を表示する/しないを設定する

■ 渋滞情報の表示を設定する

- **VICS渋滞・混雑情報表示** [ON(表示する)]
渋滞・混雑の情報を表示する/しないを設定する
- **VICS渋滞なし情報表示** [OFF(表示しない)]
渋滞の無い道路の情報を表示する/しないを設定する
- **VICS統計情報表示** [ON(表示する)]
統計情報を表示する/しないを設定する

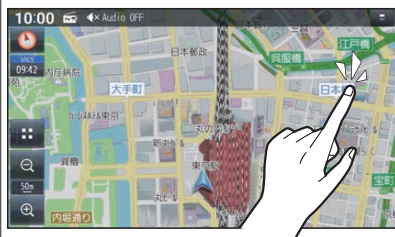
地図の操作

地図を動かす(スクロール)

タッチ、フリック、ドラッグ操作で地図をスクロールできます。

タッチでスクロールする

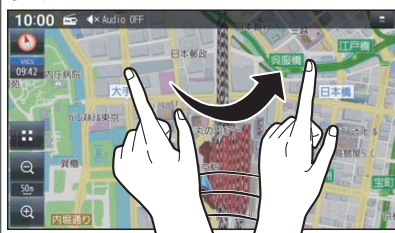
地図画面をタッチする



- タッチした地点が画面の中心になります。

フリックでスクロールする

スクロールしたい方向にフリックする



- フリックした方向にスクロールします。

ドラッグでスクロールする

スクロールしたい方向にドラッグする



- 指の動きに合わせてスクロールします。

お知らせ

- 走行中は、フリック/ドラッグによるスクロールはできません。また走行中、市街地図が表示されている場合は、タッチによるスクロールもできません。
- フリック/ドラッグでスクロール中は、画面上で他の操作はできません。
- 指の動きより遅れてスクロールする場合があります。

縮尺を切り換える

タッチキー操作、2点タッチ/ダブルタップ、ピンチ操作で縮尺を切り換えられます。

- 縮尺の範囲: 5 m ~ 250 km

タッチキーで縮尺を切り換える

〔詳細〕/〔広域〕を選ぶ

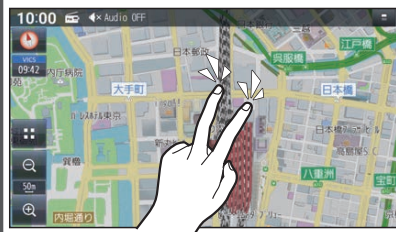


- タッチし続けると、ズームアウト/ズームインのイメージで縮尺が切り換わります。

2点タッチ/ダブルタップで縮尺を切り換える

■ 広域に切り換えるには

2点タッチする



■ 詳細に切り換えるには

ダブルタップする



ピンチで縮尺を切り換える

■ 広域に切り換えるには

ピンチインする



■ 詳細に切り換えるには

ピンチアウトする



お知らせ

- 走行中にピンチ操作で縮尺を切り換えることはできません。

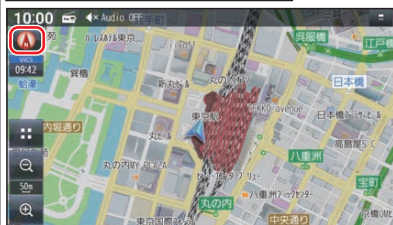
向きと角度を切り換える

ノースアップ/ヘディングアップを切り換える

方位マークをタッチする

- タッチするごとに、地図の向きが切り換わります。

ノースアップ(北が上/2D)



ヘディングアップ(進行方向が上/2D)



ノースアップに戻ります。

傾きを調整する

■ 傾きを大きくする

上方向に2点ドラッグする



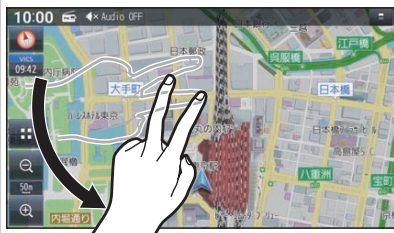
■ 傾きを小さくする

下方方向に2点ドラッグする



地図を回転させる

回転させたい方向に回転ドラッグする



- 指の動きに合わせて回転します。

画面の右側に地図を表示させる (右地図表示)

1 現在地画面で **☰** を選ぶ

2 ランチャーから **右画面表示** を選ぶ



3 地図を選ぶ



- 画面の右側に地図が表示されます。
- 右地図は縮尺と向きを切り換えられます。

右地図を非表示にするには

1 ランチャーから **右画面表示** を選ぶ

2 **OFF** を選ぶ

- 右地図が非表示になります。

拡大図・案内図表示を切り換える

1 現在地画面から、**☰** を選ぶ



- 表示できる拡大図・案内図が無い場合は、タッチキーは表示されません。

2 切り換えたい拡大図・案内図を選ぶ



- 選んだ拡大図・案内図に切り換わります。

拡大図・案内図を消去するには

拡大図・案内図を、右にフリックする



- 拡大図・案内図が消去されます。
- を選んで、拡大図・案内図を消去することもできます。

■ 表示できる拡大図・案内図が1つだけのときは

/ を選ぶ



- 表示/非表示が切り換わります。
- フリック操作で拡大図・案内図を消去することもできます。

地図上に表示されるVICS情報 (レベル3)

VICS タイムスタンプ



VICS
09:42

情報が提供された時刻を表示

- 受信した時刻ではありません。
- ルート案内中にVICSタイムスタンプにタッチすると、ルート上で直近にある渋滞・規制のある地点のVICS情報が音声で案内されます。

お知らせ

- 新しい情報を受信すると、情報が更新されます。
- 遠方の渋滞情報は表示されません。

ハイウェイモード時は



① 渋滞・混雑区間

区間ごとの渋滞情報を線の色で表示
(赤: 渋滞、橙: 混雑、緑: 渋滞なし、灰: 情報なし)

② 規制情報

区間ごとにマークを表示

車線ごとの渋滞情報表示

車線ごとの渋滞情報が、色分けして本数で地図上に表示されます。(該当の情報が配信されているエリアのみ)

色	車線ごとの渋滞情報	渋滞度
赤	---	渋滞
橙	---	混雑
緑	---	渋滞なし

■ 表示位置



VICS範囲表示

気象・災害情報などを受信すると、対象となる範囲が薄い黄色色で表示されます。



お知らせ

- 表示中の地図全体に気象・災害情報がある場合は、地図画面全体が薄い黄色で表示されます。

渋滞情報

色	リアルタイム情報		統計情報	渋滞度
	渋滞情報	リアルプローブ情報		
赤			=====	渋滞
橙			=====	混雑
緑			=====	渋滞なし
灰			=====	不明

- 表示のしかた (P.31)
- 渋滞情報 (リアルタイム情報)
道路に設置の車両感知器などで収集した現在の情報
- リアルプローブ情報 (リアルタイム情報)
タクシーなどから収集した現在の情報
- 統計プローブ情報 (統計情報)
タクシーなどから収集した情報のデータを統計処理し、渋滞を予測した情報

お知らせ

- プローブ情報とは
走行している車から直接収集される「位置」と「時刻」のデータ (走行履歴) です。

駐車場マーク・SA/PAマーク

色	一般駐車場	SA	PA	状態
青				空車
橙				混雑
赤				満車
黒				不明
赤				閉鎖

- 表示する/しないの設定 (P.31)

事象・規制マークの内容を確認する

事象・規制マークをタッチする



- 情報が表示されます。
詳細が表示された場合、詳細を選べると詳細な情報が表示されます。

VICS情報マーク (例)

道路上の事象・規制がマークで表示されます。

マーク	内容
	事故
	故障車
	路上障害
	工事
	作業
	片側交互通行
	対面通行
	車線規制
	入口制限
	入口閉鎖
	行事等
	火災
	チェーン規制
	凍結
	速度規制
	徐行
	進入禁止
	通行止め
	大型通行止め
	雨
	雪
	災害速報
	気象警戒情報
	特別警戒

- 表示する/しないの設定 (P.31)

行き先までのルートを作るには

ルート案内を開始するまで

行き先を探す

■ トップメニュー (P.16)



■ 全機能一覧 (P.19)



- 名称 (P.39)
- 電話番号
電話番号検索画面を表示
- 履歴
履歴検索画面を表示
- 自宅
あらかじめ自宅を登録しておく、自宅を目的地に設定します。
- 住所 (P.39)
- ジャンル
ジャンル検索画面を表示
- マップコード
マップコード検索画面を表示
- 登録地
登録地検索画面を表示
- 周辺施設
周辺施設検索画面を表示
- 音声認識 (P.79)

検索方法によって、表示される画面や選択できるタッチキーは異なります。

1 目的地を検索する

例：ジャンル検索



① リスト

- リストをフリック/ドラッグしてもスクロールできます。(枠内でフリック/ドラッグしてください。)

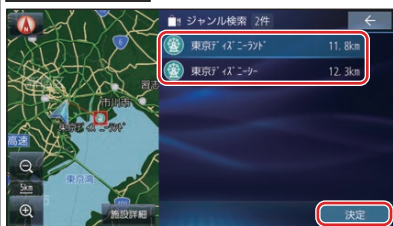
② あかしたなタッチキー

50音順に並んだリストで表示されます。

- 行ごとにリストを切り換えます。
- 同じタッチキーを連続して選べると、選ぶごとに、段(あ→い→う→え→お)が切り換わります。

2 リストから施設を選び、決定を選ぶ

検索結果画面



- 選んだ施設に出入り口や駐車場などの地点情報がある場合、さらに詳細な地点のリストが表示されます。

行き先に設定する

1 地点メニューから**ここに行く**を選ぶ

- ルート探索を開始します。
- **施設詳細**：選ぶと、施設の詳細情報を表示（検索した施設に詳細情報がある場合に表示）
- 地点メニューの操作 (P.26)

2 全ルート図から、**案内スタート**を選ぶ

- ① ルート上の高速出入口を表示
 - ② 探索条件（走行距離・所要時間・料金）を表示
- 案内を開始します。（車を発進させても案内を開始します。）
 - 全ルート図でタッチキーを操作すると、車を発進させても案内は開始しません。

ルート案内を中止する

1 トップメニュー (P.16) から**ルート**を選ぶ2 全ルート図から **案内ストップ**を選ぶ

ルート案内を中止し、ルート表示が削除されます。

- ルートそのものは削除されません。

ルート案内を再開するには

ルート案内中止中に、全ルート図から **案内スタート** を選ぶ

ルート案内が再開されます。

お知らせ

- ランチャー (P.25) から、ルート案内中止/再開できます。

ルートを削除する

1 トップメニュー (P.16) から**ルート**を選ぶ2 全ルート図から **ルート消去**を選ぶ3 **はい**を選ぶ

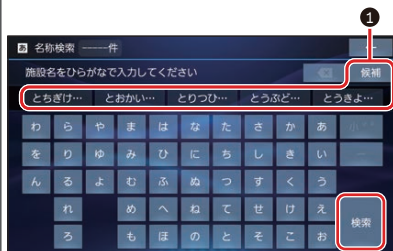
ルートそのものが削除されます。

行き先を探す

施設の名称で探す

- 1 トップメニュー (P.16) または全機能一覧 (P.19) から **名称** を選ぶ

- 2 名称を入力し、**検索** を選ぶ



- 1 入力した履歴から、候補が5件まで表示されます。表示された候補から選ぶか、**候補** を選んでリストから候補を選ぶと、その名称が入力欄に表示されます。
全候補初期化 を選ぶと、すべての入力履歴が消去されます。

- **✖** : 1文字削除
- ひらがなのみ入力できます。
- 候補が10,000件を超える場合、メッセージが表示されます。
OK を選ぶと、現在地から近い順に候補が10,000件まで表示されます。

- 3 リストから施設を選び、**決定** を選ぶ
● **←** : 入力した名称を修正

施設を絞り込む

■ 地域で絞り込むには

- 1 **絞り込み ▶ 地域** を選ぶ

- 2 都道府県 ▶ 市区町村を選ぶ

- **全国** : 地域絞り込みを解除

■ ジャンルで絞り込むには

- 1 **絞り込み ▶ ジャンル** を選ぶ

- 2 絞り込むジャンルを選ぶ

- **全ジャンル** :
ジャンル絞り込みを解除

地図が表示されます。(P.40)

お知らせ

- 施設名の一部や略称では検索できない場合があります。

住所で探す

- 1 トップメニュー (P.16) または全機能一覧 (P.19) から **住所** を選ぶ

- 2 都道府県 ▶ 市区町村 ▶ 町名 ▶ 丁目を選ぶ

- 市区町村を選んだあと、大字・小字を選ぶ場合があります。
- 住所が部分的にしか分らないときは、**代表地点** を選ぶと、その地域の地図を表示します。

- 3 数字キーで番地・号を入力し、**検索** を選ぶ

- 番地・号は、「一」で区切ってください。
- リストから番地・号を選ぶこともできます。
- **✖** : 1文字削除

地図が表示されます。(P.40)

ルートを探索する

目的地に設定する

1 地点を検索し、**設定**を選ぶ

2 地点メニューから**ここに行く**を選ぶ



- カーソルの地点を目的地に設定してルート探索を開始し、完了後、全ルート図が表示されます。
- ルートが設定されている場合、前のルートは削除されます。

3 全ルート図から、探索条件を選ぶ

- 5つの探索条件から選べます。

4 案内スタートを選ぶ



- ① ルートごとの走行距離、料金、所要時間などを比較できます。
- ルート案内を開始します。
- 走行を始めても、ルート案内を開始します。
- 全ルート図を表示後、他の画面を表示すると、ルート案内を開始します。

お知らせ

- 目的地の近くに有料道路がある場合は、案内される場合があります。

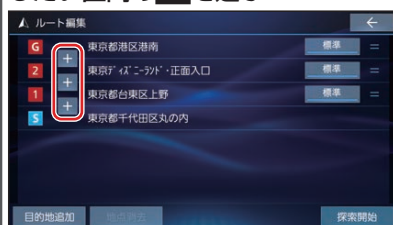
ルートを編集する

経由地を追加・消去する

経由地を追加する

1 ランチャー (P.25) または全ルート図から**ルート編集**を選ぶ

2 ルート編集画面から経由地を追加したい区間の**+**を選ぶ



3 経由地にしたい場所を検索し、**設定**を選ぶ (P.39)

- 出発地付近**：出発地付近の地図を表示
- 目的地付近**：目的地付近の地図を表示
- 地図**：最後に表示していた地図を表示

4 **立寄る**を選ぶ

- 検索した地点が経由地として追加されます。

経由地を消去する

1 ランチャー (P.25) または全ルート図から**ルート編集**を選ぶ

2 ルート編集画面から、消去したい経由地を選ぶ

3 **地点消去** ▶ **はい**を選ぶ

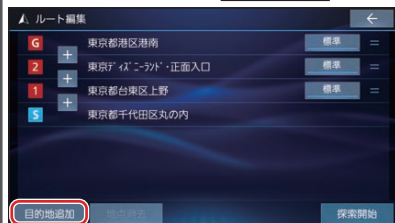
- 選択した経由地が消去されます。

目的地を追加・消去する

目的地を追加する

1 ランチャー (P.25) または全ルート図から **ルート編集** を選ぶ

2 ルート編集画面から、**目的地追加** を選ぶ



3 目的地にしたい場所を検索し、**設定を選ぶ** (P.39)

- **出発地付近**: 出発地付近の地図を表示
- **目的地付近**: 目的地付近の地図を表示
- **地図**: 最後に表示していた地図を表示

4 **ここに行く** を選ぶ

- 検索した地点が目的地として追加されます。
- 前の目的地は、目的地の直前の経由地になります。

目的地を消去する

1 ランチャー (P.25) または全ルート図から **ルート編集** を選ぶ

2 ルート編集画面から、消去したい目的地を選ぶ



3 **地点消去** ▶ **はい** を選ぶ

- 目的地が消去されます。
- 消去した目的地の直前の経由地が、新しい目的地になります。

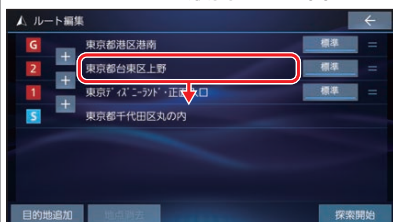
お知らせ

- 目的地を消去できるのは、ルートに経由地がある場合のみです。

経由地・目的地を並べ換える

1 ランチャー (P.25) または全ルート図から **ルート編集** を選ぶ

2 ルート編集画面から、経由地・目的地をドラッグして、**順番を並べ替える**

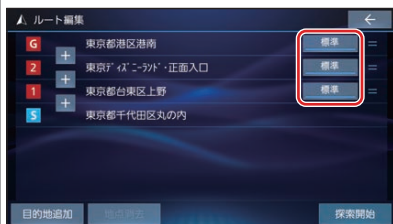


- 希望の順番になるまで、ドラッグ操作を繰り返して並べ替えてください。

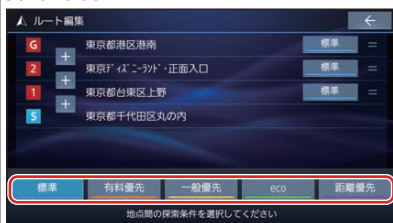
区間ごとの探索条件を変更する

1 ランチャー (P.25) または全ルート図から **ルート編集** を選ぶ

2 ルート編集画面から変更したい区間の探索条件を選ぶ



3 探索条件を選ぶ



- 探索条件が変更されます。

地点を登録する(登録地)

登録地について

登録地は、最大900件まで登録できます。
(自宅を含む)

- 登録された地点は、マークで表示されます。

地点を登録する

カーソル(+)の地点を登録する

- 1 地図モード画面から、登録したい場所にカーソル(+)を合わせ、**設定**を選ぶ

- 2 地点メニューから**地点登録**を選ぶ



- カーソル(+)の位置(地点)が登録されます。

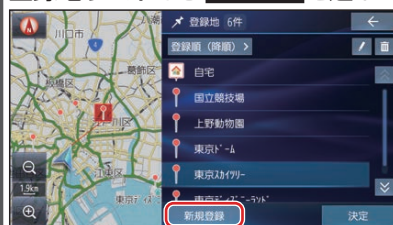
現在地を登録する

現在地画面を表示させ、ランチャー(P.25)から**地点登録**を選ぶ

- 現在地が登録地として登録されます。

登録地リストから地点を登録する

- 1 登録地リストから**新規登録**を選ぶ



- 2 地点を検索する

- 検索方法は「行き先を探す」と同じです。(P.39)
- 現在地付近**：現在地付近の地図を表示*1
- 出発地付近**：出発地付近の地図を表示*2
- 目的地付近**：目的地付近の地図を表示*2
- 地図**：最後に表示していた地図を表示

- 3 登録したい場所にカーソルを合わせ、**設定**を選ぶ

- 4 **保存**を選ぶ

- 地点が登録されます。

*1 ルート未設定時のみ

*2 ルート案内中のみ

オーディオの基本操作

- 走行中は、TV、Blu-ray Disc*1、DVD、SD動画、USB動画、HDMIの映像は表示されません。

安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてご覧ください。

- 走行中でも、後席用のモニターには映像が出力されます。

後席用のモニターに出力される映像について (P.84)

* 1 (FIX108HD)のみ

オーディオに切り換える

AUDIOを押す

- オーディオ画面に切り換わります。
- オーディオOFFの状態ではAUDIOを押すと、オーディオソース一覧が表示されます。

オーディオのソースを選ぶ

- 1 オーディオOFFの状態、またはオーディオ画面表示中に、AUDIOを押す
 - オーディオソース一覧が表示されます。

- 2 オーディオソース一覧から切り換えるソースを選ぶ



- 選んだソースに切り換わります。
- 全機能一覧 (P.19) から選ぶこともできます。

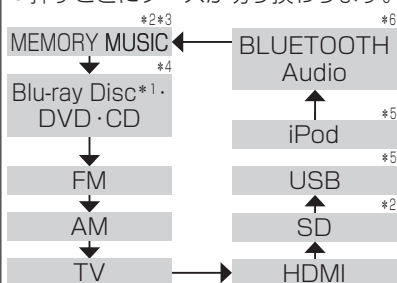
ステアリングスイッチで

準備

- ステアリングスイッチ設定をしてください。(取付説明書)

SOURCE (ソース) を割り当てたステアリングスイッチを押す

- 押すごとにソースが切り換わります。



- オーディオがOFFのときは、最初MEMORY MUSICに切り換わります。
- 交通情報を聞いているときは、最初TVに切り換わります。
- 交通情報に切り換えることはできません。

- * 1 (FIX108HD)のみ
- * 2 SDメモリーカード挿入時のみ
- * 3 本機でSDメモリーカードに録音した音楽データの再生
- * 4 ディスク挿入時のみ
- * 5 USBメモリー、iPod接続時のみ (同時に接続できません。)
- * 6 BLUETOOTH Audio機器接続時のみ

オーディオの音声を出力したままナビゲーションに切り換える

オーディオ画面表示中に、**[MAP]**を押す

- オーディオの音声を出力したまま、ナビゲーション（現在地画面）に切り換わります。
- オーディオ画面に戻るには、**[AUDIO]**を押してください。
- ナビゲーションの音声・映像のみを出力したいときは、オーディオOFFにしてください。

オーディオをOFF/ONにする

本体ボタンで

■ オーディオをOFFにする

[AUDIO]を2秒以上押す

- オーディオがOFFになります。

■ オーディオをONにする

オーディオOFFの状態では、**[AUDIO]**を2秒以上押す

- オーディオOFFにしたときに選ばれていたソースに切り換わります。

トップメニューから

■ オーディオをOFFにする

トップメニュー (P.16) から

Audio ON/OFFを選ぶ



- オーディオがOFFになります。

■ オーディオをONにする

オーディオOFFの状態では、トップメニュー (P.16) から

Audio ON/OFFを選ぶ

- オーディオOFFにしたときに選ばれていたソースに切り換わります。

オーディオ情報・設定メニューから

■ オーディオをOFFにする

オーディオ情報・設定メニュー (P.18) から、オーディオ出力 **OFF**を選ぶ

- オーディオがOFFになります。

■ オーディオをONにする

オーディオOFFの状態では、オーディオ情報・設定メニュー (P.18) から、オーディオ出力 **ON**を選ぶ

- オーディオOFFにしたときに選ばれていたソースに切り換わります。

音質・音場を調整する(オーディオチューン)

フェーダー/バランス、エフェクトなどの音質設定をすることができます。

オーディオ情報・設定メニュー (P.18) で **オーディオチューン**を選ぶ

- オーディオチューン画面が表示されます。

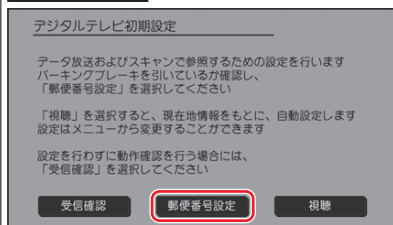
テレビを見る

トップメニュー (P.16)、オーディオソース一覧 (P.43) または全機能一覧 (P.19) から **TV** を選ぶと、テレビに切り換わります。

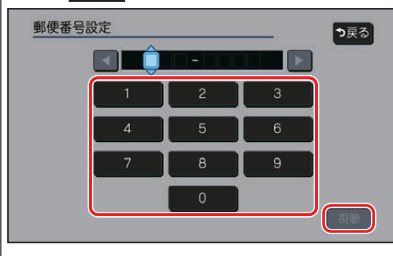
デジタルテレビ初期設定を行う

初期設定をしていない場合、初めてテレビに切り換えたときは初期設定画面が表示されます。初期設定では、データ放送でお住まいの地域の情報 (天気予報など) を見られるように、郵便番号を設定します。

1 郵便番号設定を選ぶ



2 お住まいの地域の郵便番号を入力して、**視聴**を選ぶ



- 地上デジタル放送をご覧になれます。

お知らせ

- 引っ越しなどでお住まいの地域が変わる場合は、設定を変更してください。(P.46)
- 手順1で **視聴** を選ぶと、初期設定をしないで、すぐにTVを見ることができます。この場合、郵便番号は現在地情報をもとに自動で設定されますので、お住まいの地域の設定に変更するために、ユーザー情報設定で設定を変更してください。(P.46)

周波数再編(リパック)について

周波数再編により、これまで視聴できたチャンネルが映らなくなった場合は、チャンネル設定をユーザープリセットに切り換えて「スキャン」を行ってください。

テレビの基本操作

テレビ視聴中に画面をタッチすると、選局パネルが表示されます。

- 約5秒間何も操作しないと、選局パネルは自動的に消去されます。

選局パネル



- 1 チャンネルリスト
- 2 (エリアプリセット) / (ユーザープリセット)
- 3 テレビ視聴画面に戻る
- 4 番組表を表示
- 5 カーソルパネルを表示 (P.46)
- 6 チャンネル設定の切り換え (P.46)
- 7 テレビメニューを表示

選局する

チャンネルを選局します。

■ チャンネルリストから選局する

チャンネルリストから放送局を選ぶ

- 選んだチャンネルに切り換わります。
- 同じチャンネルで複数の番組が放送されている場合は、チャンネルをタッチするたびに番組が切り換わります。

■ チャンネルを1つずつ切り換える

を押す*1

- 押すごとに1チャンネルずつ切り換わります。

*1 (F1D9HD)ステータスバーの表示を切り換えて (P.24)、 を選んでください。

チャンネル設定を切り換える

USER.P / AREA.P を選ぶ

●選ぶごとに、**USER.P / AREA.P** が切り換わります。

●**AREA.P**: エリアプリセット

自車位置に応じてチャンネルリストが自動的に切り換わります。(自動で現在地周辺の放送局がチャンネル設定されます。)

●**USER.P**: ユーザープリセット

自車位置にかかわらず、ユーザープリセットに記憶させたチャンネルリストになります。

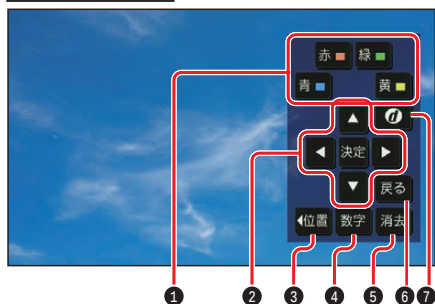
(初めて **USER.P** を選ぶと、スキャンするメッセージが表示されますので **はい** を選んでスキャンを開始してください。)

- ③ カーソルパネル/数字パネルの移動(画面左/右)
- ④ 数字パネルに切り換え
- ⑤ カーソルパネル/数字パネルを消去
- ⑥ データ放送表示時にひとつ前の画面に戻る
- ⑦ データ放送を見る
 - 情報量が多いときは、表示に時間がかかる場合があります。
 - 再度⑥を選ぶと通常の放送に戻ります。
 - 双方向データサービスやワンセグのデータ放送には対応していません。
- ⑧ 数字タッチキー
- ⑨ 選んだ数字に決定
- ⑩ カーソルパネルに切り換え

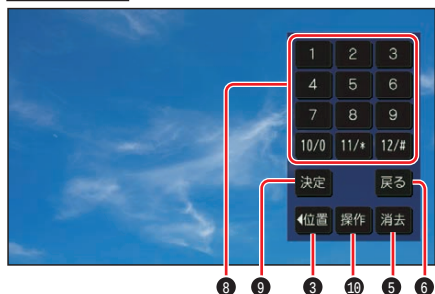
データ放送を見る

選局パネル(P.45)から **操作** を選ぶと、カーソルパネルが表示されます。

カーソルパネル



数字パネル



- ① データ放送のコンテンツに依存した動作をする
- ② **決定**: 選んだ項目に決定

ユーザー情報設定を変更する

- 1 選局パネル(P.45)から **メニュー**
▶ **設定** ▶ **ユーザー情報設定** を選ぶ

- 2 **修正** を選ぶ

- 3 お住まいの地域の郵便番号を入力し、**次へ** を選ぶ

- 4 お住まいの都道府県を選ぶ

伊豆、小笠原諸島、南西諸島鹿児島県地域を設定するには

■ 伊豆、小笠原諸島地域

- 1 **沖縄・その他の島部** を選ぶ

- 2 **東京都島部** を選ぶ

■ 南西諸島鹿児島県地域

- 1 **沖縄・その他の島部** を選ぶ

- 2 **鹿児島県島部** を選ぶ

- 5 地域を選んで、**完了** を選ぶ

- 6 **終了** を選ぶ

お知らせ

- 郵便番号を設定することで、地域に密着したデータ放送(たとえば、地域の天気予報など)を視聴できるようになります。

ラジオを聞く

トップメニュー (P.16)、オーディオソース一覧 (P.43) または全機能一覧 (P.19) から **FM・AM** のいずれかを選ぶと、ラジオに切り換わります。

ラジオ画面 (エリア選択時)



- ① 受信中の放送局を表示
- ② 周波数切り換え
- ③ エリアモードに切り換え
- ④ ユーザーモードに切り換え
- ⑤ 放送局リスト
- ⑥ オーディオチューン
- ⑦ エリア更新

リストから選局する

放送局リストから、放送局を選ぶ

- 選んだ放送局に切り換わります。

周波数で選局する

◀ ▶ で周波数を切り換える

- 「ピッ」と音が鳴るまでタッチし続けると、自動的に選局を開始し、受信すると止まります。(シーク選局)

エリアモードに切り換える

エリアを選ぶ

- 自車位置周辺の放送局リストが表示されます。

ユーザーモードに切り換える

ユーザーを選ぶ

- プリセットした放送局リストが表示されます。
- お好みの放送局を登録できます。

放送局をリストに記憶させる (プリセットメモリー)

ユーザーモードに切り換えて行ってください。

1 周波数で選局する

2 放送局リストの登録したい枠を約0.5秒以上タッチする

- 選局された放送局が、選んだ枠に登録されます。

放送局リストを更新する

エリアモードで使用中、自車が走行したために、放送局が受信エリアから外れた場合は、受信エリアを更新してください。

🔄 を選ぶ

- 自車位置周辺の放送局リストに更新されます。

お知らせ

- 受信したい放送局が放送局リストに無い場合は、周波数で選局してください。
- 受信電波の弱い地域では、シーク選局できないことがあります。
- エリアモードの放送局リストは本機に収録されている情報に基づいて表示されるため、下記のような場合があります。
 - ・ 放送局が表示されない / 実際とは異なる放送局が表示される
 - ・ リストに表示されている放送局を選択しても、切り換わらない (放送を受信できない)
 - ・ リストに表示されている放送局とは違う放送局に切り換わる
- 周波数再編により、これまで受信できた放送局が受信できなくなった場合は、新しい周波数をプリセットのリストに記憶させてください。

交通情報を聞く

- 1 トップメニュー (P.16)、オーディオソース一覧 (P.43) または全機能一覧 (P.19) から

交通情報 を選ぶ

- 交通情報に切り換わります。

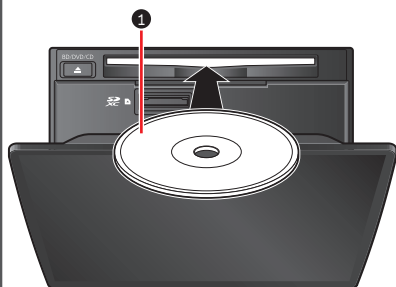
- 2 **1620kHz / 1629kHz** を選ぶ
[お買い上げ時の設定: 1 620 kHz]

ディスクを再生する

- 本機で再生できるディスクについて (P.113)

ディスクを挿入する

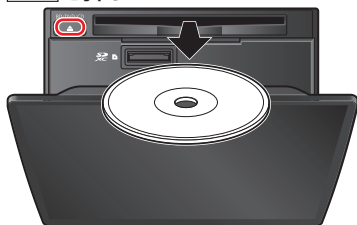
- 1 ディスプレイを十分に倒して、ディスクを挿入する



- ① ラベル面を上

取り出すには

ディスプレイを十分に倒して、を押す



- ディスクが排出されます。
- 録音中などは、ディスクの排出までに時間がかかる場合があります。

- 2 ディスプレイを起こす

お願い

- ディスクを取り出すときは、必ず停車してください。
道の起伏(砂利道など)で振動していると、排出されない場合があります。
- 録音中などは、ディスクの排出までに時間がかかる場合があります。
- 必ずディスプレイを十分に倒してから、ディスクを挿抜してください。
ディスプレイの倒しかたが不十分な場合、ディスクが排出されません。

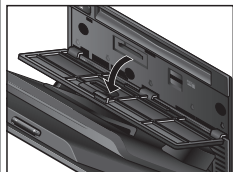
- 必ずディスプレイを本体の正面に戻してから、倒してください。(カチッという音が正面の目安になります。)戻しかたが不十分な場合、ディスプレイを十分に倒せなかったり、可動部に負荷がかかって破損する原因となります。
- ディスクが排出されない場合は、▲を10秒以上押してください。

microSDメモリーカードを挿入する(FIX10BHD)

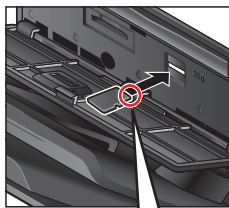
BDMVには、ローカルストレージにディスクの付加情報を保存して、再生時に利用することができるものがあります。

- microSDカードを挿入しなくても再生できます。
- 使用できるmicroSDカードについては、「SDメモリーカードについて」(P.116)をご覧ください。
- 挿入する前に、他のカードが入っていないか確認してください。
- 正常に動作しないときは、再度カードを抜き差ししてください。
または、microSDメモリーカードを、本機のSDメモリーカード挿入口に挿入し、SDカードの初期化(P.92)を行ってください。このとき、SDカードアダプターが必要です。

1 ディスプレイを十分に倒して、ふたを開く

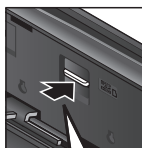


2 microSDメモリーカードを奥までまっすぐに挿入する

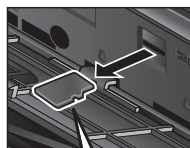


角がカットされた側を右にして、カチッと音がするまで差し込みます。

取り出すには

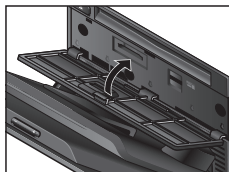


中央部を押す



取り出す

3 ふたを閉じてから、ディスプレイを起こす



BDMV・BD-RE・AVCHD・AVCRECを再生する(FIX1080H)

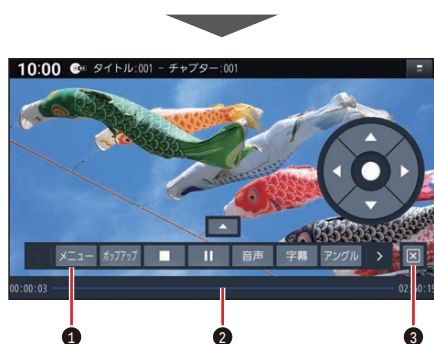
- 本機で再生できるディスクについて (P.113)
- ディスクまたは本機で禁止されている操作をした場合は、が表示されます。

再生する

ディスクを挿入し、トップメニュー (P.16)、オーディオソース一覧 (P.43) または全機能一覧 (P.19) から **Blu-ray Disc** を選ぶ

動作操作画面を表示する

Blu-ray Disc再生中に画面をタッチまたはダブルタップする



- ① 操作パネル
 を選んで、操作パネルに表示されるタッチキーを切り換えられます。
- ② 経過時間・総時間・タイムバー
- ③ 操作パネルの消去

トップメニューを表示する

BDMV **AVCHD**

操作パネルから **メニュー** を選ぶ

- ディスクのトップメニューが表示されます。

ポップアップメニューを表示する

BDMV

操作パネルから **ポップアップ** を選ぶ

- ポップアップメニューが表示されます。

タイトルリスト/プレイリストを表示する

BD-RE **AVCREC**

操作パネルから **タイトルリスト** / **プレイリスト** を選ぶ

- タイトルリスト/プレイリストが表示されます。

一時停止する

再生中に、操作パネルから を選ぶ

- を選ぶと、再生を開始します。

停止する

再生中に、操作パネルから を選ぶ



- を選ぶと、停止したところから再生を開始します。(リジューム再生)
- 停止中に を選ぶと、リジューム再生機能が解除されます。
- BD-Jはリジューム再生非対応です。

操作パネルの位置を切り換える

を選ぶ

- 選ぶごとに切り換わります。



カーソルで操作する

▲▼◀▶でカーソルを移動し、●(実行)を選ぶ



カラーボタンや10キーで選ぶ

1 操作パネルから色/10キーを選ぶ

2 カラーボタン/10キーで項目を選ぶ



- ◀▶: タッチキーを画面左に移動
- ←: 操作パネルを表示
- ×: タッチキー消去

早送り・早戻しする

⏮ ⏭ を押し続ける

- 5秒以上押し続けると、さらに高速で早送り・早戻しします。離すと、通常の再生に戻ります。

スロー再生する

一時停止中(P.50)に⏮を押し続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。

チャプターを頭出しする

⏮ ⏭ を押す

再生時間を表示する

操作パネルから**タイム**を選ぶ

- 選ぶごとに下記のように切り換わります。

再生経過時間→タイトル/チャプター→表示なし→(再生経過時間に戻る)

音声を切り換える

操作パネルから**音声**を選ぶ

- 選ぶごとに、音声切り換わります。

主音声/副音声を切り換える

[BDV] [AVCREC]

操作パネルから**主/副**を選ぶ

- 選ぶごとに、主音声/副音声切り換わります。

字幕を設定する[BDMV] [AVCHD]

1 操作パネルから**字幕**を選ぶ

2 字幕を切り換える

字幕切替を選ぶ

- 選ぶごとに、字幕言語切り換わります。

字幕スタイルを切り換える[BDMV]

スタイル切替を選ぶ

- 選ぶごとに、字幕スタイル切り換わります。

字幕を表示する/消去する

字幕ON/OFFを選ぶ

- 選ぶごとに、表示/消去切り換わります。

アングルを切り換える

[BDMV] [BDV] [AVCREC]

操作パネルから**アングル**を選ぶ

- 選ぶごとに、アングル切り換わります。

タイトル/チャプターを選ぶ

1 操作パネルから **サーチ** を選ぶ2 番号を入力し、**実行** を選ぶ

- 選んだタイトル/チャプターに切り換わります。
- **切替**: タイトル/チャプターを切り換え
- **修正**: 1文字削除
- **←**: 操作パネルを表示
- **×**: タッチキー消去

副映像を設定する **BDMV**1 操作パネルから **副映像** を選ぶ

2 副映像を切り換える

映像切替 を選ぶ

- 選ぶごとに、副映像が切り換わります。

副映像用音声を切り換える

音声切替 を選ぶ

- 選ぶごとに、副映像用音声が切り換わります。

副映像を消去する

映像ON/OFF を選ぶ

副映像用音声を消去する

音声ON/OFF を選ぶトップメニューからもとの再生に戻る (リジューム) **BDMV***1 **AVCHD**操作パネルから **リジューム** を選ぶ

- 元の再生に戻ります。

* 1 BD-Jは非対応です。

DVD-Video・DVD-VRを再生する

- 本機で再生できるディスクについて (P.113)
- ディスクまたは本機で禁止されている操作をした場合は、**⊗**が表示されます。

再生する

ディスクを挿入し、トップメニュー (P.16)、オーディオソース一覧 (P.43) または全機能一覧 (P.19) から **DVD** を選ぶ



動作操作画面を表示する

DVD再生中に画面をタッチまたはダブルタップする



- 1 操作パネル
< > を選んで、操作パネルに表示されるタッチキーを切り換えられます。
- 2 経過時間・総時間・タイムバー
- 3 操作パネルの消去

タイトルメニューを表示する

DVD-Video

操作パネルから **タイトル** を選ぶ

- タイトルメニューが表示されます。

トップメニューを表示する **DVD-Video**操作パネルから **メニュー** を選ぶ

- ディスクのトップメニューが表示されます。

タイトルリストを表示する [DVD-VR]

- 操作パネルから**タイトルリスト**を選ぶ
- タイトルリストが表示されます。

プレイリストを表示する [DVD-VR]

- 操作パネルから**プレイリスト**を選ぶ
- プレイリストが表示されます。

停止

- 再生中に、操作パネルから**□**を選ぶ



- ▶**を選ぶと、停止した位置から再生を開始します。(リジューム再生)
- 停止中に**□**を選ぶと、リジューム再生機能が解除されます。

一時停止する

- 再生中に、操作パネルから**⏸**を選ぶ
- ▶**を選ぶと、再生を開始します。

音声を切り換える

- 操作パネルから**音声**を選ぶ
- 選ぶごとに、音声切り換わります。

字幕を切り換える [DVD-Video]

- 操作パネルから**字幕**を選ぶ
- 選ぶごとに、字幕切り換わります。

字幕を表示/消去する [DVD-VR]

- 操作パネルから**字幕**を選ぶ
- 選ぶごとに、字幕の表示/非表示が切り換わります。

静止画を切り換える [DVD-VR]

- 操作パネルから**ページ送り**を選ぶ
- 次の静止画に切り換わります。

アングルを切り換える [DVD-Video]

- 操作パネルから**アングル**を選ぶ
- 選ぶごとに、アングルが切り換わります。

トップメニュー/タイトルメニューから もとの再生に戻る (リジューム)

[DVD-Video]

- 操作パネルから**リジューム**を選ぶ
- 元の再生に戻ります。

再生時間を表示する

- 操作パネルから**タイム**を選ぶ
- 選ぶごとに下記のように切り換わります。
- 再生経過時間→タイトル/チャプター
→表示なし→(再生経過時間に戻る)

操作パネルの位置を切り換える

- ▲**を選ぶ
- 選ぶごとに切り換わります。



メニューなどをカーソルで操作する

- ▲ ▼ ◀ ▶**でカーソルを移動し、**●**(実行)を選ぶ



- DVD-Videoは、トップメニュー/タイトルメニューの画面を直接タッチして操作できます。(ダイレクトタッチ)

1つ前の画面に戻る

操作パネルから **リターン** を選ぶ

10キーで選ぶ

1 操作パネルから **10キー** を選ぶ

2 10キーで番号を入力する



- **◀**: タッチキーを画面左に移動
- **←**: 操作パネルを表示
- **×**: タッチキー消去

タイトル/チャプターを番号で選ぶ
(サーチ)

1 操作パネルから **サーチ** を選ぶ

2 番号を入力し、**実行** を選ぶ

- 選んだタイトル/チャプターに切り換わります。
- **切替**: タイトル/チャプターを切り換え
- **修正**: 1文字削除

項目を決定する

操作パネルから **エンター** を選ぶ

- 項目が決定されます。

早送り・早戻しする

◀◀ ▶▶ を押し続ける*1

- 5秒以上押し続けると、さらに高速で早送り・早戻しします。離すと、通常の再生に戻ります。

スロー再生する

一時停止中 (P.53) に **◀◀ ▶▶** を押し続ける*1

- 離すと、通常の再生に戻ります。
- **◀◀**: **[DVD-Video]** のみ

チャプターを頭出しする

◀◀ ▶▶ を押す*1

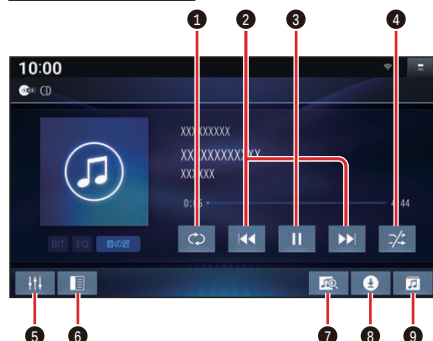
- *1 **[F1D9HD]** ステータスバーの表示を切り換えて (P.24)、**◀◀ ▶▶** を選んでください。

音楽CD (CD-DA) を再生する

CD、CD-R/RWのいずれかが本機に挿入された状態で、トップメニュー (P.16)、オーディオソース一覧 (P.43) または全機能一覧 (P.19) から **CD** を選ぶと、CDに切り換わります。

- ナビゲーション画面表示中にCDを挿入すると、ナビゲーション画面を表示したまま再生します。オーディオ画面に切り換えるには、**[AUDIO]** を押してください。
- 本機で再生できるディスクについて (P.113)

音楽CD再生画面



- ① 繰り返し再生 (リピート)
- ② 頭出し/早送り・早戻し
- ③ 再生/一時停止
- ④ 順不同に再生 (ランダム)
- ⑤ オーディオチューン
- ⑥ 音楽CD録音設定を表示 (P.58)
- ⑦ タイトルオンライン検索 (P.55)
- ⑧ 音楽CD録音画面を表示/録音停止 (P.59、P.59)
- ⑨ 曲のリストを表示

早送り・早戻しする

◀▶をタッチし続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。
- 曲の最後まで早送りした場合、通常の再生に戻り、次の曲を再生します。

曲を頭出しする

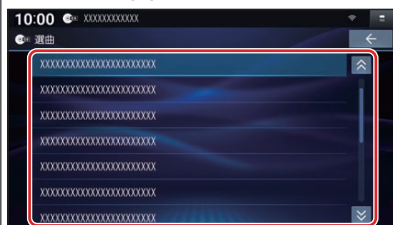
◀▶をタッチする

リストから選曲する

1 曲を選ぶ

- 曲のリストが表示されます。

2 リストから曲を選ぶ



- 選んだ曲の再生を開始します。

一時停止する

⏸を選ぶ

- ▶を選ぶと、再生を開始します。

繰り返し再生する(リピート)

🔄を選ぶ

- 再生中の曲を繰り返し再生します。
- 再度選ぶと、通常の再生に戻ります。

順不同に再生する(ランダム)

🎲を選ぶ

- 全曲を順不同に再生します。
- 再度選ぶと、通常の再生に戻ります。

お知らせ

- 録音中は、リストからの選曲、再生モードの切り換え、早送り・早戻し、曲の頭出しはできません。

タイトル表示について

本機にはGracenote 音楽認識サービスのタイトル情報(アルバム名・アーティスト名・曲名)が収録されており、楽曲データと情報が一致した場合に付与されます。

- CD-TEXT 情報がある場合は、CD-TEXT 情報が優先的に表示されます。
- 本機のGracenoteデータベースに一致する情報がないときは、タイトル情報は表示されません。異なるタイトル情報を表示する場合もあります。
- タイトルを表示して再生するまで、しばらく時間がかかる場合があります。
- Gracenoteデータベースは更新できません。(P.64)

スマートフォンでタイトルを検索する(オンライン検索)

タイトル情報が表示されなかったり、誤ったタイトルが表示される場合は、オンラインでタイトルを検索して取得できます。

準備

- タイトルを検索したいCDを本機に挿入してください。(P.48)
- スマートフォンを本機とWi-Fi接続してください。(P.74)

1 曲を選ぶ

2 はいを選ぶ

- タイトル情報の検索を開始します。
- 該当するタイトル情報が検索できた場合、アルバム情報が更新されます。

検索結果が複数ある場合は

タイトル候補選択画面が表示されます。

前へ 次へでタイトルを選び、更新を選ぶ

- 選んだ内容で、タイトル情報が更新されます。
- 候補に該当するタイトル情報が無い場合は、閉じるを選ぶと、更新せずにタイトル検索を終了します。

お知らせ

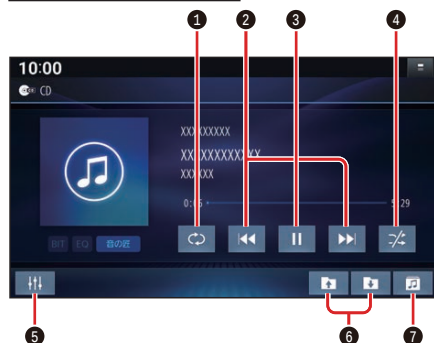
- Gracenote 音楽認識サービスによって提供されたデータについては、内容を100%保証するものではありません。

MP3/WMAを再生する

CD、CD-R/RWのいずれかが本機に挿入された状態で、トップメニュー(P.16)、オーディオソース一覧(P.43)または全機能一覧(P.19)から**CD**を選ぶと、CDに切り換わります。

- ナビゲーション画面表示中にCDを挿入すると、ナビゲーション画面を表示したまま再生します。オーディオ画面に切り換えるには、**AUDIO**を押してください。
- 本機で再生できるディスクについて(P.113)
- データ作成時の留意点について(P.117)

MP3/WMA再生画面



- 1 繰り返し再生(リピート)
- 2 頭出し/早送り・早戻し
- 3 再生/一時停止
- 4 順不同に再生(ランダム)
- 5 オーディオチューン
- 6 フォルダ頭出し
- 7 フォルダのリストを表示

早送り・早戻しする

⏮ ⏭をタッチし続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。
- 曲の最後まで早送りした場合、通常の再生に戻り、次の曲を再生します。

曲を頭出しする

⏮ ⏭をタッチする

フォルダを頭出しする

📁を選ぶ

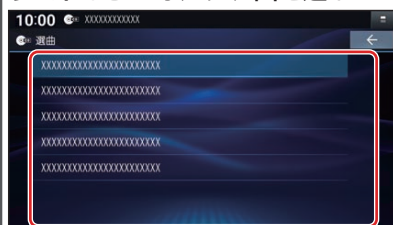
- 選んだフォルダの1曲目から頭出し再生を開始します。

リストから選曲する

1 **📁**を選ぶ

- フォルダのリストが表示されます。

2 リストからフォルダ▶曲を選ぶ



- 選んだ曲の再生を開始します。

一時停止する

⏮を選ぶ

- ▶を選ぶと、再生を開始します。

繰り返し再生する(リピート)

🔄を選ぶ

- 再生中の曲を繰り返し再生します。
- 選ぶごとに、下記のように切り換わります。
1曲リピート→フォルダリピート→通常再生→(1曲リピートに戻る)

順不同に再生する(ランダム)

🎲を選ぶ

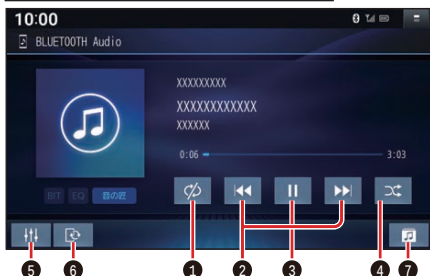
- リスト内の全曲を、順不同に再生します。
- 選ぶごとに、下記のように切り換わります。
フォルダランダム→通常再生→(フォルダランダムに戻る)

BLUETOOTH Audioを再生する

準備

- BLUETOOTH対応機器を本機に登録・接続してください。(P.72)

BLUETOOTH Audio再生画面



- 1 繰り返し再生(リピート)
- 2 頭出し/早送り・早戻し
- 3 再生/一時停止
- 4 順不同に再生(ランダム)
- 5 オーディオチューン
- 6 BLUETOOTH設定画面を表示(P.72)
- 7 フォルダからリストを表示

再生する

トップメニュー(P.16)、
オーディオソース一覧(P.43)
または全機能一覧(P.19)から
BLUETOOTH Audioを選ぶ



早送り・早戻しする

◀▶をタッチし続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。
- 曲の最後まで早送りした場合、通常の再生に戻り、次の曲を再生します。

曲を頭出しする

◀▶をタッチする

リストから選曲する

1 曲を選ぶ

- フォルダのリストが表示されます。

2 リストからフォルダ▶曲を選ぶ

- 選んだ曲の再生を開始します。

一時停止する

⏸を選ぶ

- ▶を選ぶと、再生を開始します。

繰り返し再生する(リピート)

🔁を選ぶ

- 再生中の曲を繰り返し再生します。
- 選ぶごとに、下記のように切り換わります。
1曲リピート→フォルダリピート→全曲リピート→通常再生→(1曲リピートに戻る)

順不同に再生する(ランダム)

🎲を選ぶ

- すべてのフォルダの全曲を対象に、順不同に再生します。選ぶごとに、下記のように切り換わります。
全曲ランダム→フォルダランダム→通常再生→(全曲ランダムに戻る)

お知らせ

- 接続機器や音楽再生アプリの説明などをご覧ください。
- 接続機器や接続状態によって、下記のようなことが発生する場合があります。
 - ・音声出力や画面表示に時間がかかる。
 - ・音楽プレーヤーを起動する必要がある。
 - ・音楽プレーヤー再生中でないと正しく操作できない。
 - ・画面表示が更新されない。
 - ・曲名、アーティスト名、アルバム名が表示されない。
 - ・本機で操作できない。(その場合は、接続機器で操作してください。)
- 接続機器で複数のアプリを起動している場合、本機から操作できなかったり、音声出力と画面表示される楽曲が異なる場合があります。その場合は、BLUETOOTH Audioに切り換える前にすべてのアプリを終了して、BLUETOOTH Audioを接続しなおしてください。
- BLUETOOTH Audio再生とハンズフリーを同時に使用すると、それぞれの通信の状態(接続や音声など)が不安定になることがあります。
- 接続機器や本機との接続状況によっては、BLUETOOTH Audioを使用する際に、接続機器側の音声出力先を本機に設定する必要がある場合があります。
- USB接続したiPodから音楽を再生することを選択している場合は、BLUETOOTH Audio接続は自動で行われません。
- アルバムアートの画像データのサイズが大きいと、表示されない場合があります。
- 接続機器にイコライザー機能がある場合には、イコライザーを「OFF」にしてください。音割れなどの原因となる場合があります。

SDメモリーカードに音楽CDを録音する

音楽CDをSDメモリーカードに録音し、再生することができます。

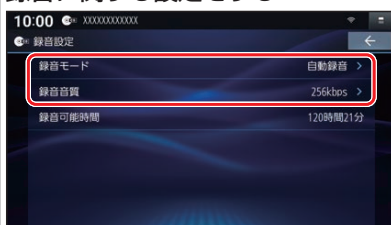
録音した音楽データを再生するときは、(P.61)をご覧ください。

録音に関する設定をする

- 1 CD、CD-R/RWのいずれかが本機に挿入された状態で、トップメニュー (P.16)、オーディオソース一覧 (P.43) または全機能一覧 (P.19) から **CD** を選ぶ

- 2 音楽CD再生画面から **目** を選ぶ

- 3 録音に関する設定をする



録音管理

- 1 **録音モード** を選ぶ

- 2 録音の仕方を設定する

- **自動録音** [お買い上げ時の設定]
録音していないCDを、自動的にすべて録音
- **手動録音**
曲を選んで録音

音質

- 1 **録音音質** を選ぶ

- 2 録音時の音質を選ぶ(録音曲数の目安*1)

[お買い上げ時の設定: 256 kbps]

- 96 kbps (約5 825曲)
- 128 kbps (約4 369曲)
- 192 kbps (約2 913曲)
- 256 kbps (約2 185曲)
- 320 kbps (約1 748曲)

- * 1 空き容量が16 GBのSDHCメモリーカードに、4分程度の曲を録音した場合（ファイル管理上は、最大10,000曲/10,000アルバムまで保存できます。）

録音する

準備

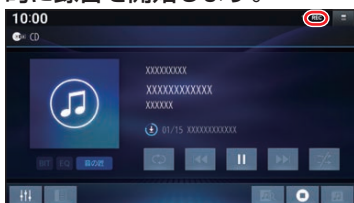
- 本機で初期化したSDメモリーカード(P.92)を挿入してください。(P.66)

1 音楽CDを挿入する (P.48)

2 録音方法を選ぶ

録音設定が「自動録音」の場合

音楽CDの再生とともに、自動的に録音を開始します。



- 録音中、**REC**が表示されます。

録音設定が「手動録音」の場合

■ 全曲を録音する場合

- 1 トップメニュー、オーディオソース一覧または全機能一覧から**CD**を選ぶ
- 2 音楽CD再生画面で**④**を選ぶ
 - 音楽CD録音画面が表示されます。
- 3 **録音方法 ▶ 全曲録音**を選び、**録音開始**を選ぶ
 - 未録音の曲をすべて録音します。

■ 選んだ曲を録音する場合

- 1 トップメニュー、オーディオソース一覧または全機能一覧から**CD**を選ぶ
- 2 音楽CD再生画面で**④**を選ぶ
 - 音楽CD録音画面が表示されます。
- 3 **録音方法 ▶ 選択曲録音**を選ぶ
- 4 リストから曲を選び、**決定**を選ぶ

 - 選んだ項目のチェックボックスがONになります。なお、すでに録音済みの曲はチェックボックスがONになっています。
- 5 **録音開始**を選ぶ

録音を停止するには

録音中画面から、**⑤**を選ぶ

- 録音を停止します。

お願い

- SDメモリーカードの「RECAUDIO」フォルダの内容を、変更・削除しないでください。録音したデータが正しく再生されない場合があります。
- 本機の故障、誤動作または不具合により記録できなかったデータ（録音内容など）、消失したデータ、SDメモリーカード内の保存データについては補償できません。
- 本機で録音した音楽データは、本機のみで再生可能な音楽データのため、本機以外の機器（パソコンなど）では再生できません。

音楽CDの録音について

- 1曲でも録音済みの曲がある場合は、録音設定にかかわらずその音楽CDの自動録音は行いません。録音を開始するには、手動録音の全曲録音 (P.59) を行ってください。
 - 録音中にCD以外のソースやAUDIO OFFに切り換えても録音は継続されます。その場合、本機の動作状態に応じて、録音速度は自動で切り換わります。(4倍速～8倍速)
 - CD以外のオーディオに切り換えた状態で録音しているときは、音楽CD再生の音声は聞こえません。
 - アルバム/曲の情報は、本機のGracenoteデータベースから検索したタイトル情報が付与されます。
 - 録音は本機で再生できる市販の音楽CDのみ可能です。
 - ・MP3/WMAファイルのあるCDは録音できません。
 - 録音した曲は本機のMEMORY MUSICソースでのみ再生できます。本機のSDソースでは再生できません。
 - 録音した曲は、オリジナルと音質が異なる場合や、ノイズが発生する場合があります。ご容赦ください。
 - 高温時は、録音できない場合があります。
 - 録音済みの曲は、録音の音質を変更しても、重複して録音できません。
 - DTS-CDは、再生はできますが、録音はできません。(ノイズが録音される場合があります。)*¹
 - 音楽CDの記録面の汚れなどの状況や録音(記録)内容によっては、録音に時間がかかったり、再生音が飛んだりすることがあります。
 - 録音中にキースイッチ(電源ポジション)を切り換えたり、本機に振動や衝撃を加えたりすると録音したデータの消失・故障の原因となるおそれがあります。
- * 1 (FIX10BHD)のみ。(FIX10HD) (F1D9HD)では再生/録音できません。

お願い

- 録音中にSDメモリーカードを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。

音楽CD録音時の制限について

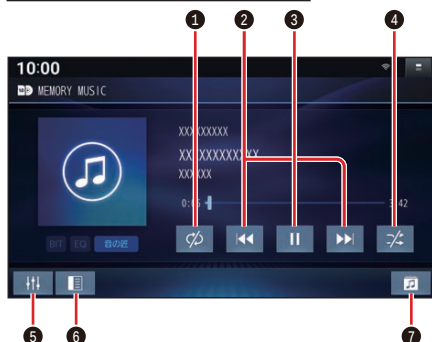
- 本機の動作が遅くなる場合があります。
 - 録音中に車のACCをOFFにすると、録音は停止されます。録音を停止された曲のデータは破棄されます。「自動録音」に設定している場合は、次回車のACCをONにすると、停止した曲から録音を再開します。
 - 録音中は音楽CDに対して下記の操作ができません。*¹
 - ・頭出し
 - ・再生モード(リピート/ランダム)の切り換え
 - ・早送り/早戻し
 - ・タイトル情報オンライン検索
 - ・録音設定
 - ・リスト表示
 - 連続複製防止システム(SCMS)の信号が付与された曲はCD-Rなどからは、録音できません。
- * 1 録音終了時点で再生されている曲が終わるまで、早送り/早戻し、再生モード(リピート/ランダム)の切り換えなどの操作はできません。

本機で録音した音楽データを再生する

準備

- 本機で音楽CDをSDメモリーカードに録音してください。(P.59)

MEMORY MUSIC再生画面



- ① 繰り返し再生(リピート)
- ② 頭出し / 早送り・早戻し
- ③ 再生 / 一時停止
- ④ 順不同に再生(ランダム)
- ⑤ オーディオチューン
- ⑥ 曲管理画面を表示(P.62)
- ⑦ 選曲モード設定画面を表示(P.62)

再生する

トップメニュー(P.16)、
オーディオソース一覧(P.43)
または全機能一覧(P.19)から
MEMORY MUSICを選ぶ

早送り・早戻しする

⏮ ⏭をタッチし続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。
- 曲の最後まで早送りした場合、通常の再生に戻り、次の曲を再生します。

曲を頭出しする

⏮ ⏭をタッチする

一時停止する

⏸を選ぶ

- **▶**を選ぶと、再生を開始します。

繰り返し再生する(リピート)

🔁を選ぶ

- 再生中の曲を繰り返し再生します。
- 選ぶごとに、下記のように切り換わります。
1曲リピート→フォルダリピート*1→通常再生→(1曲リピートに戻る)

順不同に再生する(ランダム)

🎲を選ぶ

- リスト内の全曲を、順不同に再生します。
- 選ぶごとに、下記のように切り換わります。
フォルダランダム*1→全曲ランダム→通常再生→(フォルダランダムに戻る)

* 1 フォルダの内容は、選曲モードによって異なります。(P.62)

選曲方法を選んで選曲する(選曲モード)

リストを絞って選曲することができます。

1 を選ぶ

2 選曲するリストを選ぶ

- **再生中のプレイリスト**:
再生中のリストを表示
- **アーティスト**:
アーティストのリストを表示
- **アルバム**:
アルバムのリストを表示
- **全曲**:
全曲を表示(リストを絞らない)
- **ジャンル**:
ジャンルのリストを表示

3 項目を選んでリストを絞る

- **ALL**: 選んだリストの全曲を表示
(リストを絞らない)

4 リストから曲を選ぶ

- 選んだ曲を再生します。

お願い

- MEMORY MUSIC再生中にSDメモリーカードを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。

お知らせ

- 本機のGracenoteデータベースから検索したタイトル情報がアルバムや曲に付与され、表示されます。
- タイトル情報が付与されない(本機のGracenoteデータベースにない)場合は、スマートフォンとWi-Fi接続して、オンラインで取得できます。(P.74)

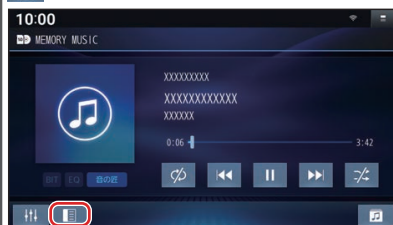
本機で録音した音楽データを管理する

- タイトルが付与されていなかったり、誤ったタイトルが付与されているアルバムは、パソコンやスマートフォンを使用してGracenoteデータベースを更新すると、正しい情報が付与される場合があります。(P.64)

曲管理画面の基本操作

本機で録音した音楽データ(アルバム・曲)のタイトルの更新や、データの削除などができます。

- 1 トップメニュー(P.16)、オーディオソース一覧(P.43)または全機能一覧(P.19)から**MEMORY MUSIC**を選ぶ

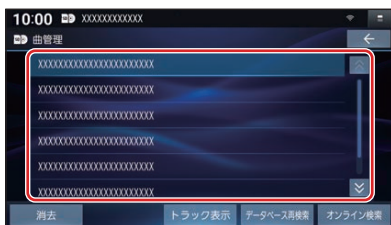
2 を選ぶ

3 曲管理 ▶ はいを選ぶ



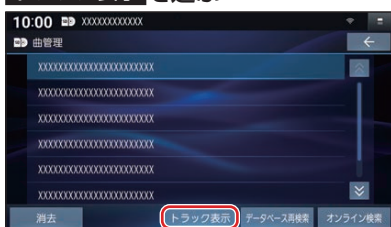
- アルバムのリストが表示されます。

4 リストからアルバムを選ぶ



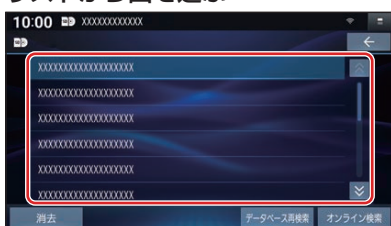
- 選択したアルバムの、オンライン検索、データベース再検索、削除ができます。

5 トラック表示を選ぶ



- 選択したアルバムの曲のリストが表示されます。

6 リストから曲を選ぶ



- 選択した曲の、オンライン検索、データベース再検索、消去ができます。
- オンライン検索(スマートフォンでタイトル情報を個別に更新する(P.63))
- データベース再検索(更新したGracenoteデータベースをタイトルに反映させる(P.64))
- アルバム・曲の消去

お知らせ

- アルバムや曲のタイトルは、手動で入力・編集できません。

スマートフォンでタイトルを更新する(オンライン検索)

タイトル情報が表示されなかったり、誤ったタイトルが表示される場合は、オンラインで検索して取得できます。

準備

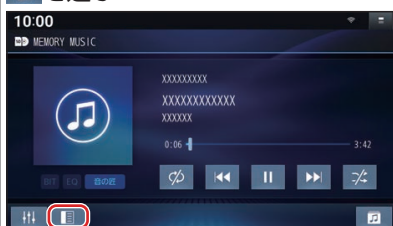
- スマートフォンを本機とWi-Fi接続してください。(P.74)

1 トップメニュー(P.16)、オーディオソース一覧(P.43)または全機能一覧(P.19)からMEMORY MUSICを選ぶ



オーディオ

2 曲管理を選ぶ

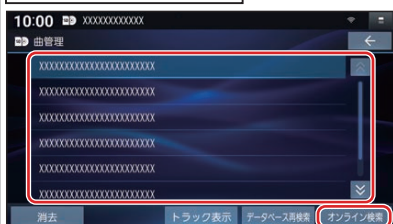


3 曲管理 ▶ はいを選ぶ

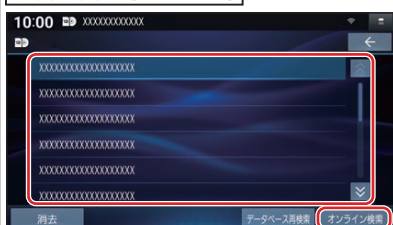


- 4** 曲管理画面(アルバム/トラック)から、検索したいアルバム・曲を選び、**オンライン検索**を選ぶ

曲管理画面(アルバム)



曲管理画面(トラック)



- 5** **はい**を選ぶ

- タイトル情報の検索を開始します。
- 該当するタイトル情報が検索できた場合、タイトルが更新されます。
- 検索結果が複数ある場合は、候補から選択してください。(P.65)

更新したGracenote®データベースをタイトルに反映させる(データベース再検索)

本機のGracenoteデータベースを更新して、タイトルを更新することができます。Gracenoteデータベース更新データは、Webサイトからダウンロードできます。詳しくは、下記サイトをご覧ください。

<https://panasonic.jp/navi/>



- 1** SDメモリーカードをパソコンに挿入する
- 2** Webサイトから更新データ(zipファイル)をダウンロードし、解凍してSDカードに保存する
- 3** SDメモリーカードをパソコンから取り出し、本機に挿入する

4 Gracenoteデータベースを更新する

- 1 システム情報・設定メニュー (P.18) から、**Gracenoteデータベース更新**を選ぶ
- 2 **はい**を選ぶ
 - 本機の Gracenote データベースが更新されます。
 - 更新中は、本機を操作できません。

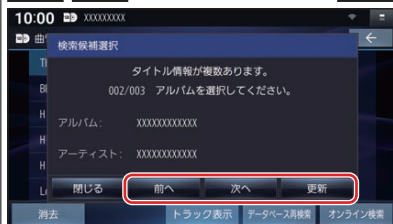
5 タイトル情報を更新する

- 1 トップメニュー (P.16)、オーディオソース一覧 (P.43) または全機能一覧 (P.19) から **MEMORY MUSIC** を選ぶ
- 2 **目**を選ぶ
- 3 **曲管理 ▶ はい**を選ぶ
- 4 曲管理画面 (アルバム/トラック) から、タイトル情報を更新するアルバム/曲を選び、**データベース再検索**を選ぶ

検索結果が複数ある場合は

タイトル候補選択画面が表示されます。

前へ **次へ**でタイトルを選び、**更新**を選ぶ



- 選んだ内容で、タイトル情報が更新されます。
- 候補に該当するタイトル情報が無い場合は、**閉じる**を選ぶと、更新せずにタイトル検索を終了します。

お願い

- Gracenote データベース更新中に他の操作をする、車のエンジンを切るなどはしないでください。故障の原因となります。
- エンジンを止めたまま使用し続けると、車のバッテリーが消耗します。必ずエンジンをかけてご使用ください。
- エンジンをかけたまま、換気の悪い場所 (周囲が囲まれた車庫など) で長時間使用しないでください。

お知らせ

- タイトルのデータが更新されます。
- 内容に変更が無い場合は、更新しても変化はありません。
- 更新すると、タイトルが表示されなくなる場合があります。そのときは、オンライン検索で再度検索して更新してください。(P.55)
- Gracenote 音楽認識サービスによって提供されたデータについては、内容を 100 % 保証するものではありません。

SDメモリーカード・USBメモリーを再生する

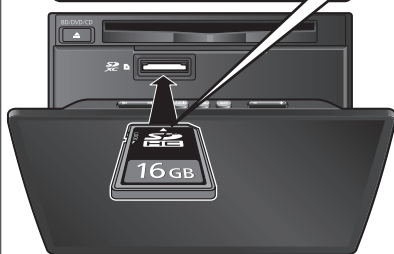
- 本機では、SDメモリーカード・USBメモリーを使用して、パソコンなどで保存した音楽(MP3/WMA/AAC/FLAC/WAV)、動画(MP4/AVI/MKV/ASF/WMV)の再生ができます。
- 本機では、SD-Audio規格準拠の音楽データは再生できません。
- 本機でSDメモリーカードに録音した音楽データを再生するときは、(P.61)をご覧ください。
- データ作成時の留意点については、(P.117)をご覧ください。

SDメモリーカードを挿入する

- 挿入する前に、他のカードが入っていないか確認してください。
- 正常に動作しないときは、再度カードを抜き差ししてください。

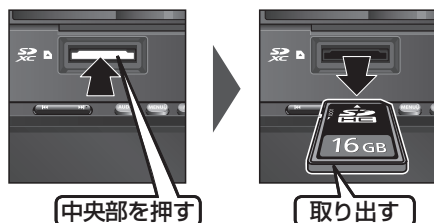
- 1 ディスプレイを十分に倒して、奥までまっすぐにカチッと音がするまで挿入する

ラベル面を上にし
角がカットされた側を右に



- 2 ディスプレイを起こす

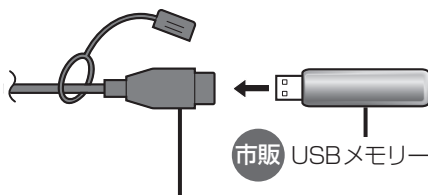
取り出すには



お願い

- 再生中にSDメモリーカードを抜かないでください。
データが破損するおそれがあります。

USBメモリーを本機と接続する



別売 iPod/USB接続用中継ケーブル
(CA-LUB200D)

お願い

- オーディオがUSBのときに、USBメモリーの取り付け・取り外しをしないでください。雑音が発生し、スピーカーやデータが破損する原因となる場合があります。
- コネクターは確実に差し込んでください。
- USBメモリーの取り付け・取り外しをするときにケーブルを引っ張らないでください。
- 正しく動作しないときは、USBメモリーを本機から外して、約10秒たってから再度接続してください。
- 本機でUSBメモリーを使用する場合は、取付時に正しく配線する必要があります。詳細については、取付説明書をご覧ください。

お知らせ

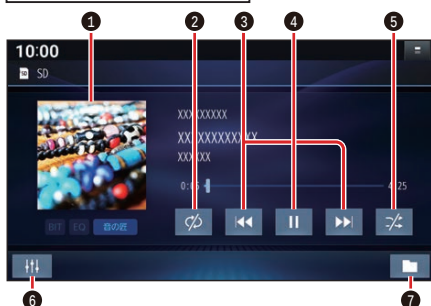
- USBメモリーとiPodは、同時には接続できません。
- 長時間使用すると、USBメモリーが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- 使用するUSBメモリーによって、正しく動作しない場合があります。
- 延長ケーブルを使用しないでください。
音が悪くなる(音飛びする)原因となります。

音楽(MP3/WMA/AAC/FLAC/WAV)を再生する

準備

- 音楽が保存されたSDメモリーカードを本機に挿入(P.66)するか、音楽が保存されたUSBメモリーを本機に接続(P.66)してください。
- トップメニュー(P.16)、オーディオソース一覧(P.43)または全機能一覧(P.19)から使用するメディアを選択してください。**SD**を選ぶとSDに、**USB**を選ぶとUSBに切り換わります。
- 動画が再生された場合は、**■**を選び、**音楽**を選んでください。

音楽再生画面(例:SD)



- 1 アルバムアートワーク
- 2 繰り返し再生(リピート)
- 3 頭出し/早送り・早戻し
- 4 再生/一時停止
- 5 順不同に再生(ランダム)
- 6 オーディオチューン
- 7 再生するファイルの切換画面を表示(P.68)

ジャケット写真を表示する

ジャケット写真が設定されたファイルを再生すると、ジャケット写真が表示されます。

- ジャケット写真未設定の場合、**■**のマークが表示されます。

早送り・早戻しする

◀▶をタッチし続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。
- 曲の最後まで早送りした場合、通常の再生に戻り、次の曲を再生します。

曲を頭出しする

◀▶をタッチする

一時停止する

⏸を選ぶ

- ▶を選ぶと、再生を開始します。

繰り返し再生する(リピート)

🔁を選ぶ

- 再生中の曲を繰り返し再生します。
- 選ぶごとに、下記のように切り換わります。
1曲リピート→フォルダリピート*1→通常再生→(1曲リピートに戻る)

順不同に再生する(ランダム)

🎲を選ぶ

- リスト内の全曲を、順不同に再生します。
- 選ぶごとに、下記のように切り換わります。
フォルダランダム*1→全曲ランダム→通常再生→(フォルダランダムに戻る)

*1 フォルダの内容は、選曲方法によって異なります。(P.68)

お願い

- SD/USB再生中にSDメモリーカード/USBメモリーを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。

お知らせ

- アルバムアートワークの画像データのサイズが大きいと、表示されない場合があります。

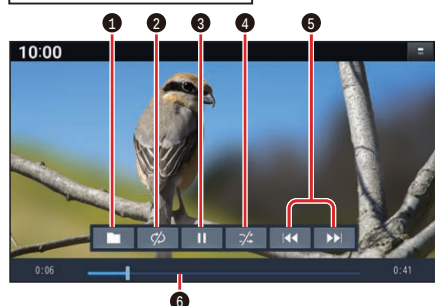
動画を再生する

準備

- 動画が保存されたSDメモリーカードを本機に挿入(P.66)するか、動画が保存されたUSBメモリーを本機に接続(P.66)してください。
- トップメニュー(P.16)、オーディオソース一覧(P.43)または全機能一覧(P.19)から使用するメディアを選択してください。**SD**を選ぶとSDに、**USB**を選ぶとUSBに切り換わります。
- 音楽が再生された場合は、**■**を選び、**動画**を選んでください。

動画再生中に画面にタッチする

動画操作画面(例:SD)



- ① 再生するファイルの切換画面を表示 (P.68)
- ② 繰り返し再生 (リピート)
- ③ 再生/一時停止
- ④ 順不同に再生 (ランダム)
- ⑤ 頭出し/早送り・早戻し
- ⑥ 経過時間・残り時間・タイムバー

早送り・早戻しする

⏮ ⏭ をタッチし続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。
- 動画の最後まで早送りした場合、通常の再生に戻り、次の動画を再生します。

動画を頭出しする

⏮ ⏭ をタッチする

一時停止する

⏸ を選ぶ

- ▶ を選ぶと、再生を開始します。

繰り返し再生する (リピート)

🔄 を選ぶ

- 再生中の動画を繰り返し再生します。
- 選ぶごとに、下記のように切り換わります。
1曲リピート→フォルダリピート→通常再生→(1曲リピートに戻る)

順不同に再生する (ランダム)

🎲 を選ぶ

- リスト内の全動画を、順不同に再生します。
- 選ぶごとに、下記のように切り換わります。
フォルダランダム→全曲ランダム→通常再生→(フォルダランダムに戻る)

お願い

- SD/USB再生中にSDメモリーカード/USBメモリーを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。

再生するファイルを選ぶ

音楽再生の場合、リストを絞って選曲することができます。(アーティスト別、アルバム別、ジャンル別など)

1 📁 を選ぶ

2 ファイルの種類を選ぶ

- **音楽**: 音楽再生
 - ・手順3へ
- **動画**: 動画再生
 - ・続けて再生したいフォルダ・ファイルを選ぶ

3 いろいろな方法で選曲する (音楽再生の場合のみ)

選曲するリストを選ぶ

- **アルバム**: アルバムのリストを表示
- **アーティスト**: アーティストのリストを表示
- **全曲**: 全曲を表示 (リストを絞らない)
- **フォルダ**: フォルダのリストを表示

4 項目を選んでリストを絞る

- **ALL**: 選んだリストの全曲を表示 (リストを絞らない)

5 リストから曲を選ぶ

- 選んだ曲を再生します。

お知らせ

- 全曲モードでは50音順に再生されます。アルバムごとの再生にはなりません。

iPodを再生する

本機で接続確認済みのiPod(2021年6月現在)

iPhone 12 Pro Max, iPhone 12 Pro, iPhone 12, iPhone 12 mini, iPhone SE 第2世代, iPhone 11 Pro Max, iPhone 11 Pro, iPhone 11, iPhone Xs Max, iPhone Xs, iPhone Xr, iPhone X, iPhone 8, iPhone 8 Plus, iPhone 7, iPhone 7 Plus, iPhone SE 第1世代, iPhone 6s, iPhone 6s Plus, iPod touch 第7世代

最新の適合機種および接続情報については、下記サイトをご覧ください。

<https://panasonic.jp/navi/>

※本書では特にことわりのない限り、上記のiPod/iPhoneを「iPod」と表記しています。

お願い

- iPodは、電源を入れたうえで本機と接続してください。
- iPodのリモコンやヘッドホンなどは、接続しないでください。正しく動作しない場合があります。
- オーディオがiPodのときに、iPodの取り付け・取り外しをしないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する原因となる場合があります。
- コネクターは確実に差し込んでください。
- iPodの取り付け・取り外しをするときにケーブルを引っ張らないでください。
- ACCをOFFにしたあとは、必ずiPodを取り外してください。iPodの電源が切れず、iPodの電池を消耗することがあります。
- iPodが正しく動作しないときは、本機からiPodを取り外してリセットし、再度接続してください。
- iPodに楽曲を追加する操作を行う場合は、iPodを本機から取り外してください。
- iPodの説明書もよくお読みください。
- 本機でiPodを使用する場合は、取付時に正しく配線する必要があります。詳細については、取付説明書をご覧ください。

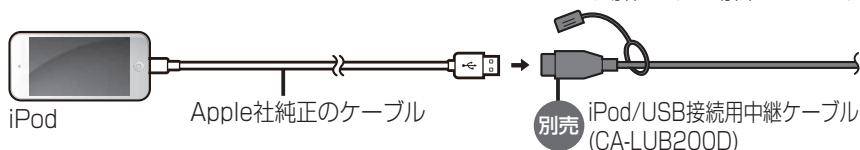
お知らせ

- iPodとUSBメモリーは、同時には接続できません。

- iPodの動作状態によっては、充電に時間がかかる、または充電されない場合があります。
- 使用する機器やケーブル、またはその組み合わせによって、正しく動作しない場合があります。
- 延長ケーブルを使用しないでください。音が悪くなる(音飛びする)原因となります。
- iPodの動作やバージョンアップされるiPod、ソフトへの対応は、保証いたしかねます。
- 本機と接続してiPodを使用中に、iPodのデータが消失した場合は、その補償はいたしかねます。
- iPodは、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- iPodまたはiPhoneをケーブル接続すると、そちらの接続が優先されるため、iPhoneでNaviCon®を利用することはできません。
- iPodビデオ再生には対応していません。

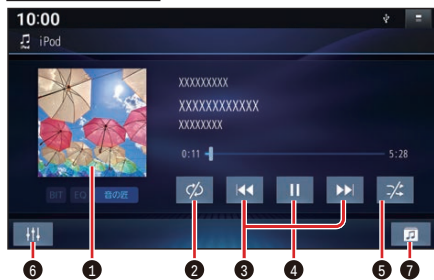
準備

- iPodを本機に接続してください。
- iPodの接続には、Apple社純正のLightning-USBケーブル(USB接続ケーブルに接続できる形状の接続口のもの)をお使いください。純正品以外を使用すると、正しく動作しない場合があります。



- iPhoneの初回接続時に、メッセージの内容を確認し、**いいえ**を選んでください。iPhoneがiPodとして本機に接続されます。

iPod再生画面



- ① アルバムアートワーク
- ② 繰り返し再生 (リピート)
- ③ 頭出し / 早送り・早戻し
- ④ 再生 / 一時停止
- ⑤ 順不同に再生 (ランダム)
- ⑥ オーディオチューン
- ⑦ 選曲モード設定画面を表示 (P.70)

再生する

トップメニュー (P.16)、オーディオソース一覧 (P.43) または全機能一覧 (P.19) から **iPod** を選んでください。



お知らせ

- ケーブルで接続した iPod を BLUETOOTH Audio 機器としても登録している場合は、USB 接続で iPod の音楽を再生するか、BLUETOOTH Audio 機器として接続するかを選んでください。BLUETOOTH Audio 機器として接続することを選んだ場合も充電されます。

アルバムアートワーク

表示サイズは、iPod の仕様により異なります。

- 下記の場合は表示されません。
 - ・アルバムアートワークがない
 - ・アルバムアートワーク取得中
 - ・本機でアルバムアートワークを表示できない iPod を接続している

※ 画像データのサイズが大きいと、表示されない場合があります。

選曲方法を選んで選曲する (選曲モード)

リストを絞って選曲することができます。

1 選ぶ

2 選曲するリストを選ぶ

- **再生中のプレイリスト**: 再生中のプレイリストから選曲
- **全曲**: 全アルバムの中から選曲
- **アルバム**: アルバム別で選曲
- **アーティスト**: アーティスト別で選曲
- **ポッドキャスト**: ポッドキャストから選曲
- **ジャンル**: ジャンル別で選曲
- **プレイリスト**: プレイリスト、またはラジオから選曲
- **作曲者**: 作曲者別で選曲
- **オーディオブック**: オーディオブックから選曲

3 リストから項目を選ぶ

- **ALL**: 選んだ選曲方法から全曲を表示

4 リストから曲を選ぶ

- 選んだ曲を再生します。

一時停止する

II を選ぶ

- **II** を選ぶと、再生を開始します。

繰り返し再生する (リピート)

II を選ぶ

- 選ぶごとに、下記のように切り換わります。
全曲リピート * 1 → 1 曲リピート → 通常再生 → (全曲リピートに戻る)

* 1 リピートのしかたは、選曲方法によって異なります。(P.70)

順不同に再生する (ランダム)

II を選ぶ

- リスト内 * 2 の全曲を順不同に再生します。
- 再度選ぶと、通常の再生に戻ります。

* 2 リストの内容は、選曲方法によって異なります。(P.70)

早送り・早戻しする

II II をタッチし続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。
- 曲の最後まで早送りした場合、通常の再生に戻り、次の曲を再生します。

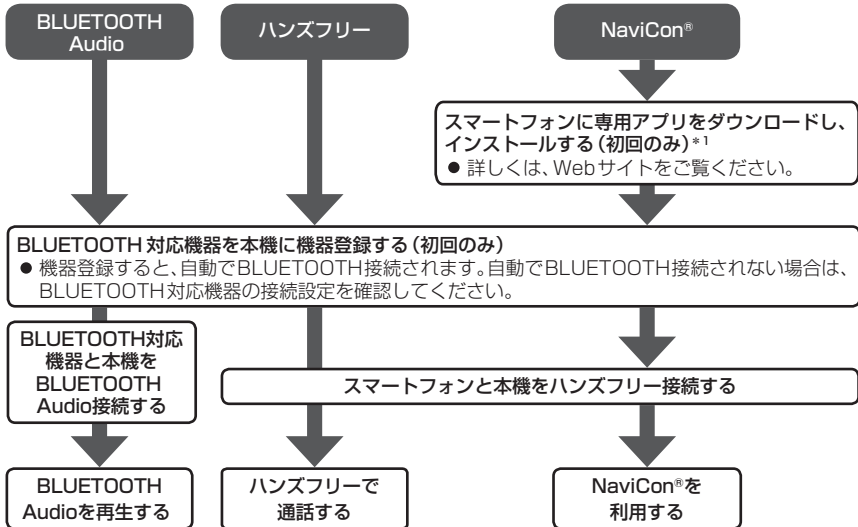
曲を頭出しする

II II をタッチする

BLUETOOTH®対応機器を利用する前に

BLUETOOTH通信を利用して、BLUETOOTH Audio (P.57)、ハンズフリー通話 (P.76)、NaviCon® (P.79) の機能を利用できます。

ご利用の流れ



- BLUETOOTH®対応機器は5台まで登録可能です。
接続台数は、使用する機器に「電話」/「オーディオ」を選んだ1台ずつです。
- すでに最大数登録しているときは、不要な登録機器を削除してください。(P.73)
- 適合機種については、Webサイト (<https://panasonic.jp/navi/>) をご覧ください。
※動作確認の対象は、国内3キャリア (docomo、au、SoftBank) の製品です。
一部、料金プランによってはスマートフォンの動作が変わるため対象外となる場合があります。
- ※すべての音楽再生アプリ、通話アプリでの動作を保証するものではありません。
ハンズフリーは、通常の音声通話のみ動作を保証しております。
- 操作方法は対応機器によって異なります。
詳しくは、BLUETOOTH対応機器の説明書をご覧ください。
- *1 アプリは、予告なく機能が変更されたり、サービスが終了となることがあります。

本機で利用できるプロファイルについて

サービス	プロファイル
ハンズフリー	Hands-Free Profile (HFP)
電話帳転送	Phone Book Access Profile (PBAP)
BLUETOOTH Audio	Advanced Audio Distribution Profile (A2DP) Audio/Video Remote Control Profile (AVRCP)
「NaviCon®」*1	Serial Port Profile (SPP)

*1 アプリは、予告なく機能が変更されたり、サービスが終了となることがあります。

BLUETOOTH対応機器を本機と接続する

「BLUETOOTHについて」(P.121)をよくお読みください。

お知らせ

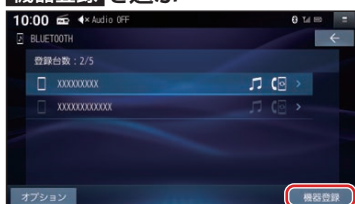
- 接続中の機器は、次回には自動的に接続されます。登録した別の機器を接続したい場合は、「BLUETOOTH接続する機器で使用する機能を変更する」を行ってください。(P.73)

BLUETOOTH対応機器を本機に機器登録する(初回のみ)

1 ナビゲーション側

- 1 スマートフォン接続設定メニュー(P.19)から、**BLUETOOTH 設定**を選ぶ

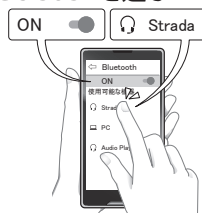
- 2 BLUETOOTH設定画面から**機器登録**を選ぶ



- 本機がBLUETOOTH接続待機状態になります。
- すでに5台登録されているときは登録できません。メッセージが表示された場合は、**はい**を選んで登録済みの機器を消去してください。

2 スマートフォン・オーディオ機器側

- 1 表示されたデバイスリストの中から**“Strada”**を選ぶ



- 2 表示された内容を確認してペア設定する

- お使いのスマートフォンによっては、連絡先の同期を許可するかどうかの確認メッセージが表示されます。連絡先を本機に同期する場合には許可を設定してください。

3 ナビゲーション側

使用する機能を選び、**決定**を選ぶ

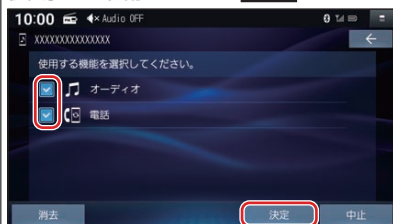


オーディオ: BLUETOOTH Audio 接続 (BLUETOOTH Audio再生を使用する)
電話: ハンズフリー 接続 (ハンズフリー通話、NaviCon®を使用する)

- スマートフォン・オーディオ機器がBLUETOOTH機器登録され、選んだ機能で本機と接続されます。
※BLUETOOTH接続中の機器がある場合は、そちらの接続は解除されます。(登録は削除されません。)
- 再度選ぶと、接続が解除されます。
- NaviCon®を使用する場合は「電話」を選んでハンズフリー接続してください。
- ハンズフリー接続をした場合は、スマートフォンの電話帳と発着信履歴の情報が、本機に転送されます。

BLUETOOTH接続する機器で使用する機能を変更する

- 1 スマートフォン接続設定メニュー(P.19)から、**BLUETOOTH 設定**を選ぶ
- 2 BLUETOOTH設定画面から、変更したい機器を選ぶ
- 3 使用する機能を選び、**決定**を選ぶ



オーディオ：BLUETOOTH Audio 接続 (BLUETOOTH Audio再生を使用する)
電話：ハンズフリー接続 (ハンズフリー通話、NaviCon®を使用する)

- 設定した内容で本機とBLUETOOTH接続されます。
※接続中の機器がある場合は、そちらの接続は解除されます。(登録は削除されません。)
- 再度選ぶと、接続が解除されます。
- ハンズフリー接続する機器を変更した場合、前の機器の電話帳と発着信履歴は消去され、新しく接続したスマートフォンの電話帳と発着信履歴の情報が、本機に転送(上書き)されます。

BLUETOOTH対応機器の登録データを削除する

一度削除するとともに戻せません。(再度登録が必要になります。)
削除は十分確認のうえ行ってください。

- 1 スマートフォン接続設定メニュー(P.19)から、**BLUETOOTH 設定**を選ぶ
- 2 BLUETOOTH設定画面から、削除したい機器を選ぶ

- 3 消去 ▶ **はい**を選ぶ



- 選んだ機器の登録が消去されます。

本機のBLUETOOTH機能のOFF/ONを切り換える

- 1 スマートフォン接続設定メニュー(P.19)から、**BLUETOOTH 設定**を選ぶ
- 2 BLUETOOTH設定画面から、**オプション**を選ぶ
- 3 **設定**を選ぶ
- 4 **OFF**を選ぶ

- BLUETOOTH機能がOFFになります。
- ON**を選ぶと、BLUETOOTH機能がONになります。

スマートフォンのWi-Fiネットワークに本機を接続する

スマートフォンを本機とWi-Fiネットワーク登録する

スマートフォンを本機とWi-Fiネットワーク登録すると、下記の機能を利用できます。

※テザリングのご利用には事前のお申し込みが必要となり、利用料金は有料場合があります。(キャリアや契約状況によって異なります)

※スマートフォン側の操作はスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

- 音声認識での目的地検索(行き先設定)(P.79)
- タイトルの更新(音楽CD、MEMORY MUSIC)(P.55、P.63)

1 スマートフォン側

Wi-Fiテザリング(APモード)の設定をする

- 1 Wi-Fiテザリング(APモード)をONにする
- 2 Wi-Fiテザリング設定から、ネットワーク名(SSID)とパスワードを確認する

2 ナビゲーション側

- 1 スマートフォン接続設定メニュー(P.19)から、**Wi-Fi 設定**を選ぶ

- 周辺のWi-Fi機器を検索し、検索結果がリストで表示されます。

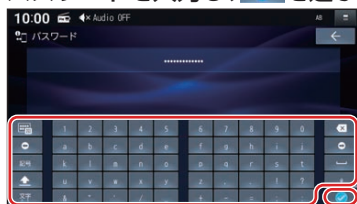
- 2 Wi-Fi設定画面から接続する機器を選ぶ



- 手順1で確認したネットワーク名(SSID)を選択してください。

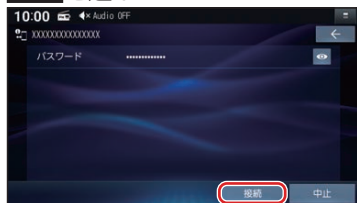
- 3 パスワードを選ぶ

4 パスワードを入力し、**✓**を選ぶ



- 手順1で確認したパスワードを入力してください。

5 接続を選ぶ



- スマートフォンがWi-Fiネットワーク登録され、Wi-Fi接続されます。
※Wi-Fi接続中の機器がある場合は、そちらの接続が解除されます。(登録は削除されません。)
- ✓**を選ぶと、パスワードの文字を表示します。

Wi-Fi接続する機器を変更する

- 1 スマートフォン接続設定メニュー(P.19)から、**Wi-Fi 設定**を選ぶ

- 周辺のWi-Fi機器を検索し、検索結果がリストで表示されます。

2 Wi-Fi設定画面から接続する機器を選ぶ



- 選んだ機器が本機に登録されていない場合はネットワーク登録を行います。ネットワーク登録が完了すると、選んだ機器に切り換わります。詳しくは、スマートフォンを本機とWi-Fiネットワーク登録するの手順2 (P.74) をご覧ください。

3 決定を選ぶ

- 選んだ機器が本機とWi-Fi接続されます。
※ Wi-Fi接続中の機器がある場合は、そちらの接続は解除されます。(登録は削除されません。)

Wi-Fiネットワーク登録を消去する

1 スマートフォン接続設定メニュー (P.19) から、Wi-Fi 設定を選ぶ

- 周辺のWi-Fi機器を検索し、検索結果がリストで表示されます。

2 Wi-Fi設定画面から、オプションを選ぶ



3 登録ネットワーク一覧を選ぶ

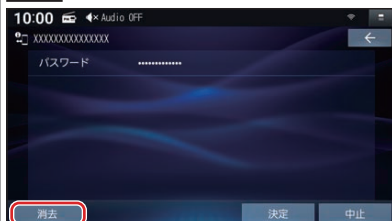


- **新規ネットワーク登録** : スマートフォンを本機にWi-Fiネットワーク登録できます。

4 消去したい登録ネットワークを選ぶ



5 消去を選ぶ



- 選んだ機器のWi-Fiネットワーク登録が消去されます。

本機のWi-Fi機能のOFF/ONを切り換える

1 スマートフォン接続設定メニュー (P.19) から、Wi-Fi設定を選ぶ

2 Wi-Fi設定画面から、モード変更を選ぶ

3 OFFを選ぶ

- Wi-Fi機能がOFFになり、接続が解除されます。
- **ネットワーク** を選ぶと、Wi-Fi機能がONになります。

ハンズフリーで通話する

安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてご使用ください。

準備

- スマートフォンを本機に登録し、ハンズフリー接続してください。(P.72)

お知らせ

- 通話が聞き取りやすいように、車の窓を閉めてください。
- マイクに向かって大きな声ではっきりと話してください。
- スマートフォンを待受画面にしないとハンズフリー通話ができない場合があります。
- スマートフォンによっては、本書の説明どおりに動作しない場合があります。
- スマートフォンによっては、本機とBLUETOOTH接続中に、スマートフォンを操作して電話をかけても(電話に出ても)ハンズフリー通話になる場合があります。
- BLUETOOTH Audio再生とハンズフリーを同時に使用すると、それぞれの通信の状態(接続や音声など)が不安定になることがあります。

■ 本機に登録された電話帳・発着信履歴について

- スマートフォンを本機とハンズフリー接続すると、その時点の電話帳と発着信履歴の情報が、自動的に本機に転送されます。
- 手動で個別に選んで登録することはできません。
- 本機に登録した電話帳の内容(電話帳、氏名など)は、編集できません。電話帳の内容を変更するときは、スマートフォン側で編集してください。
- 電話帳は、2 000件まで表示できます。また、電話番号は1件につき5つまで表示できます。
- 発着信履歴は、発信履歴・着信履歴・不在着信を合わせて100件まで表示できます。
- 本機と接続しているときに、電話帳の更新や電話の発着信を行った場合は、本機側の電話帳や発着信履歴には反映されません。一度接続が解除され、再度電源を入れたときなどに反映されます。

電話がかかってきたら

自動的に着信画面に切り換わります。



- ① 電話に出る
- ② 電話を切る

電話に出る

電話に出る を選ぶ

- 通話を開始します。

電話に応答せずに切る

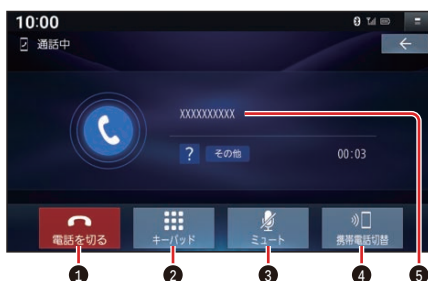
電話を切る を選ぶ

- 着信が切れます。

お知らせ

- スマートフォンの機種によっては、着信中に「電話を切る」を選んでも電話に出る場合があります。

通話中の操作



- ① 電話を切る
- ② キーボード(10キー)を表示
- ③ ミュート
- ④ 通話の切り換え
- ⑤ 通話相手の氏名

トーン信号を送る

トーン信号(ビブoppa)を送り、プッシュホンサービスなどを利用できます。

1 キーパッドを選ぶ

2 数字を選ぶ

ミュートする

送話音を消音します。

ミュートを選ぶ

- 再度選ぶと、解除されます。

通話を切り換える

通話をスマートフォンに切り換えます。

携帯電話切替を選ぶ

- ハンズフリー切替を選ぶと、ハンズフリー通話に戻ります。

電話を切る

電話を切るを選ぶ

- 通話を終了します。

電話をかける

電話帳から電話する

1 トップメニュー(P.16)または全機能一覧(P.19)からハンズフリーを選ぶ

- ハンズフリー画面が表示されます。

2 ハンズフリー画面から、電話帳を選ぶ

3 電話帳から、電話番号を選ぶ



- 選んだ電話番号に電話をかけます。

電話番号を入力して電話をかける

1 トップメニュー(P.16)または全機能一覧(P.19)からハンズフリーを選ぶ

- ハンズフリー画面が表示されます。

2 ハンズフリー画面から、ダイヤルを選ぶ



3 電話番号を入力し、発信を選ぶ



- 電話をかけます。
- ☎: 1文字削除

発信履歴から電話をかける

1 トップメニュー(P.16)または全機能一覧(P.19)からハンズフリーを選ぶ

- ハンズフリー画面が表示されます。

2 ハンズフリー画面から、履歴を選ぶ

3 発信履歴 / 不在着信 / 着信履歴を選ぶ

- 発信履歴/不在着信/着信履歴のリストが表示されます。

4 リストからかける相手を選ぶ



- 選んだ相手に電話をかけます。

スマートフォン連携

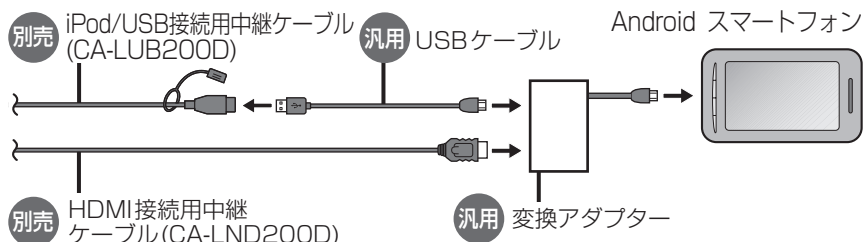
スマートフォンと本機をケーブルで接続する

HDMI出力が可能なスマートフォン*1の映像を、本機に表示できます。

- 本機とスマートフォンを連携する場合は、取付時に正しく配線する必要があります。詳細については、取付説明書をご覧ください。
- 下記以外の方法では接続できません。

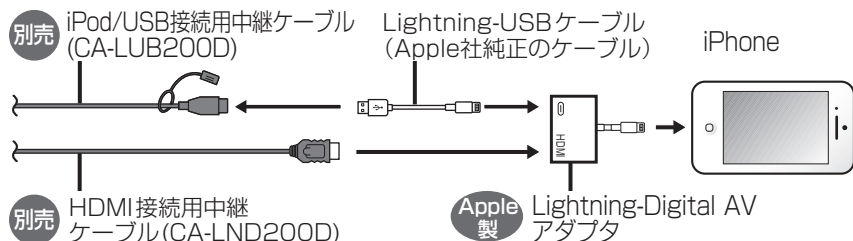
*1 ミラーリング(画面が共有できる機能)に対応しているスマートフォン
使用する機器やケーブル、またはその組み合わせによって、正しく動作しない場合があります。

Android™ スマートフォンを接続する場合



- 接続するスマートフォンに適合した変換アダプターやUSBケーブルをご使用ください。

iPhone を接続する場合



お願い

- スマートフォンは、電源を入れたうえで本機と接続してください。
- スマートフォンのヘッドホンなどは、接続しないでください。正しく動作しない場合があります。
- コネクターは確実に差し込んでください。
- スマートフォンの取り付け・取り外しをするときにケーブルを引っ張らないでください。
- ACCをOFFにしたあとは、必ずスマートフォンを取り外してください。
- スマートフォンが正しく動作しないときは、本機からスマートフォンを取り外して電源を入れなおし、再度接続してください。
- スマートフォンに楽曲を追加する操作を行う場合は、スマートフォンを本機から取り外してください。
- スマートフォンの説明書もよくお読みください。

NaviCon[®]とは

株式会社デンソーが提供するスマートフォン向けアプリです。

NaviCon[®]は多彩な連携アプリで探した行き先を、ワンタッチで本機に転送し目的地に設定できるおでかけサポートアプリです。無料でご利用いただけます。

- NaviCon[®]アプリ(iOS版/Android版)のインストール方法や対応スマートフォンなど、詳細はNaviCon[®]サポートサイト(<https://navicon.com/>)をご覧ください。



準備

- スマートフォンにNaviCon[®]アプリをインストールしてください。
- スマートフォンを本機に機器登録し、ハンズフリー接続してください。(P.72)

お知らせ

- ご利用時には通信費用がかかります。
- iPodまたはiPhoneと本機をケーブルで接続すると、ケーブルでの接続が優先されるため、iPhoneでNaviCon[®]を利用することはできません。iPhoneでNaviCon[®]を利用する場合は、iPodまたはiPhoneを本機にケーブルで接続しないでください。

音声認識で目的地を検索する

音声で入力された施設などをクラウド上のデータベースから検索し、「**行き先を設定できる**」機能です。

準備

- スマートフォンを本機にWi-Fiネットワーク登録してください。(P.74)
- スマートフォンと本機をWi-Fi接続してください。(P.74)

1 音声認識を起動する

下記のいずれかの操作で起動できます。

- トップメニュー**(P.16)または**全機能一覧**(P.19)から **音声認識**を選ぶ
- [MENU]**を0.5秒以上押す

2 マイクに発声して、音声で操作する

- 効果音が鳴ってから、続けて発声してください。

凡例



本機の音声案内

利用者の音声操作



例:



こんにちは。
行きたいところをお話ください。

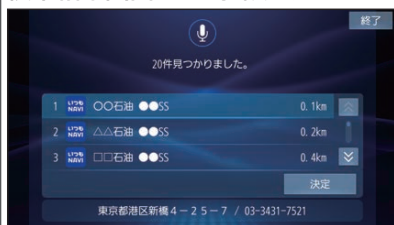
近くのガソリンスタンド



20件のガソリンスタンドが見つかりました。近い順に
1. ○○石油××SS
2. △△石油××SS
3. □□石油××SS です。

- 検索結果画面が表示されます。

3 検索結果画面から、施設を選ぶ



3番*1



□□石油××SSを目的地に
設定しますか？

はい、一般優先で



一般優先でルート探索します。
お気をつけて。

現在地から行き先までのルートが探索され、全ルート図が表示されます。

* 1 「□□石油××SS」と、名称でも選択できます。

検索結果画面のその他の操作

■ 施設の詳細情報を聞く

3番の詳細情報

- 施設名称・住所・情報が案内されます。
- 番号で選択してください。(詳細情報を聞く施設は、名称では選択できません。)

■ 次の候補に切り換える

次のページ

- 次の候補を3件表示します。

■ 選択した施設に電話する

電話をかける

- 選んだ施設に電話をかけます。
(ハンズフリー接続時のみ)

■ タッチで操作する

リストから施設を選び、**決定**を選ぶ

- タッチ操作すると音声認識は終了します。以降の操作はタッチで行ってください。

いろいろな音声認識(例)

■ 周辺の施設を検索する

新横浜駅周辺のファミレス

■ 住所から検索する

神奈川県横浜市中区
池辺町4261

■ 施設の名称から検索する

パナソニックセンター東京

■ 自宅を検索する

自宅に帰る

- 本機に登録した自宅を検索できます。

■ ルート沿いの施設を検索する

ルート沿いのコンビニ

■ 条件を詳細に設定する

横浜で
駐車場のあるイタリアンを
経由地に、一般道優先で

■ 検索をやりなおす

やりなおし

- 番号の選択をやりなおすときは、番号を言いなおしてください。

認識率を良くするために

適正な音量で、はっきりと発声してください。

- 発声の音量によって、音声認識アイコンが下記のように変化します。
 - : 声が非常に大きい
 - : 声が大きい
 - : 適正な音量
 - : 声が小さい
- 車の窓を閉めてください。(周囲の雑音による誤認識を防ぐため)
- 同乗者に会話を控えてもらってください。(同乗者の声による誤認識を防ぐため)

本機の情報を確認する

製造番号・バージョン・更新期限 などを確認する

本機の子載器ID・製造番号や、各種ソフトウェアのバージョンを確認できます。

1 システム情報・設定メニュー (P.18) から、バージョン情報を 選ぶ

2 各種情報を確認する



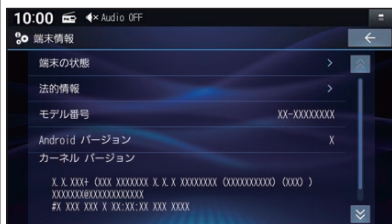
- 車載器ID
- 製造番号
- ソフトウェアバージョン
- 地図データバージョン
 - ・道路地図：道路地図データ
 - ・画像：案内画像データ
 - ・音声：音声案内データ
 - ・索引：索引データ（地点検索）
 - ・市街図：市街地図データ
- 地図更新期限
- Gracenoteデータベース
- ドライブレコーダーバージョン

端末情報を確認する

本機の端末情報を確認できます。

1 システム情報・設定メニュー (P.18) から、端末情報を選ぶ

2 端末情報を確認する



- 端末の状態
 - ・ IPアドレス
 - ・ Wi-Fi MACアドレス
 - ・ 稼働時間
 - ・ 位置情報
- 法的情報：各種ライセンス情報など
- モデル番号：本機の機種品番
- Android バージョン
- カーネルバージョン
- ビルド番号

本機のデータを更新する

有償地図更新のご案内

本機は、年度更新地図（有料）で地図の更新ができます。

年度更新地図の発売時期・販売方法などについては、決定しだい、下記サイトにのご案内します。

<https://panasonic.jp/navi/>



■ 更新内容

- 道路地図（縮尺 50 m ～ 250 km）※ 細街路含む。
- 案内画像（リアル 3D 表示・ジャンクションビュー・方面看板など）
- 音声案内
- 地点検索データ（施設情報・電話番号情報など）
- 逆走検知データ
- 市街地図

無料地図更新サービス

準備

- 地図更新アプリを専用サイトからダウンロードして、パソコンにインストールしてください。
- 無料地図更新のご利用には、ユーザー登録が必要となります。ユーザー登録は地図更新アプリから行ってください。
- SD規格に準拠した 16 GB以上のSDメモリーカードをご用意ください。

■ 地図更新アプリ

- 対応OS: Windows 8.1/Windows 10
※ 地図更新アプリを使用するには、.NET Framework 4.8のインストールが必要です。
- ダウンロードURL:
<https://panasonic.jp/car/navi/freemap/>
- インターネットを利用できる環境などが必要です。詳しくは、当社サイトをご覧ください。（通信費用はお客様のご負担となります。スマートフォンでのご利用はできません。）

有効期間と更新範囲

【申込受付期限】 本製品の使用開始日から最大3年後まで

【利用可能期間】 本製品の使用開始日から最大3年間

【データ提供期間】 2021年12月下旬～2024年12月15日まで（予定）

全地図更新：2022年9月上旬から、期間内に1回限り

部分地図更新：最大3年間（道路データは2カ月毎更新、索引データは4カ月毎更新）*1

※ 配信は延期・中止される場合があります。更新データの配信予定時期については、Webサイトをご覧ください。

※ 上記期間以降の更新は、年度更新地図の販売をご利用ください。

（発売時期・販売方法については、決定しだい当社サイトにのご案内いたします。）

○ 更新されます × 更新されません

内容	方法	
	全地図更新 （地図の全データ）	部分地図更新*1 （市街地図を除くデータ）
道路地図（縮尺 50 m ～ 250 km）※ 細街路含む。	○	○
案内画像（リアル 3D 表示・ジャンクションビュー・方面看板など）	○	○
音声案内	○	○
地点検索データ（施設情報・電話番号情報など）	○	○
逆走検知データ	○	○
市街地図	○	×

*1 FIX10BHD FIX10HDのみ

パソコンを使用してソフトウェア・地図を更新する

準備

- SDメモリーカードはパソコンで初期化したものを使用してください。初期化にはSD File System Specification準拠のSDメモリーカードフォーマッターを使用してください。

SDメモリーカードフォーマッターダウンロードWebサイト
<https://www.sdcard.org/ja/downloads-2/formatter-2/>



- 1 ナビゲーションにSDメモリーカードを挿入し、システム情報・設定メニュー (P.18) から、**ソフトウェア・地図 更新 ▶ 更新用SDカード作成 ▶ はい**を選ぶ
●更新用SDメモリーカードが作成されます。
- 2 更新用SDメモリーカードをナビゲーションから取り出し、パソコンに挿入する
- 3 地図更新アプリを起動し、更新データをダウンロードして更新用SDメモリーカードに保存する
- 4 更新用SDメモリーカードをパソコンから取り出し、ナビゲーションに挿入する
●ステータスバーにが表示されます。
- 5 システム情報・設定メニュー (P.18) から、**ソフトウェア・地図 更新 ▶ 更新 ▶ はい ▶ 更新する**を選ぶ
●データの更新を開始します。(更新中に本機が再起動する場合があります。)
●更新に要する時間は、更新データの容量により異なります。
●更新中は、本機を操作できません。

お願い

- 更新中に他の操作をする、車のエンジンを切るなどはしないでください。故障の原因となります。
- エンジンを止めたまま使用し続けると、車のバッテリーが消耗します。必ずエンジンをかけてご使用ください。
- エンジンをかけたまま、換気の悪い場所(周囲が囲まれた車庫など)で長時間使用しないでください。

後席用モニターと組み合わせる

接続する各機器の説明書もよくお読みください。

本機の映像（TV、Blu-ray Disc*1、DVD、SD（動画）、USB（動画））を、後席用モニターに表示できます。

準備

- 後席用モニターの入力モード（「ビデオ」など）を、本機と後席用モニターとの接続方法にあわせて切り換えてください。

オーディオを切り換える（P.43）

- 本機および後席用モニターに、選んだオーディオが表示されます。
- [MAP]を押すと、後席用モニターに映像を出力したまま、本機のディスプレイを現在地画面に切り換えることができます。
- 後席用モニターには、走行中でも映像が出力されます。

*1 [FIX10BHD]のみ
HDMIでのみ出力できます。
後席用モニターをHDMI入力モードに切り換えてください。（VTRでは視聴できません。）

お願い

- 本機とHDMI接続した後席用モニターで映像を見るときは、後席用モニターの映像入力モードを切り換えしないでください。HDMIで入力した映像が見られなくなる場合があります。
- 本機で後席用モニターを使用する場合は、取付時に正しく配線する必要があります。詳細については、取付説明書をご覧ください。

お知らせ

- HDMI接続用中継ケーブルの抜き差しをしたり、後席用モニターの電源をOFF/ONすると、画面が乱れる場合があります。
- 本機のHDMI出力端子と映像出力コードは、必ず1台の後席用モニターに接続してください。別のモニターに接続しても、本機の映像を同時に複数のモニターで視聴することはできません。
- TVなど、後席用モニター以外の機器を接続することは出来ません。
- コピーガードがかかっている番組やDVDは、録画機器を経由してモニターで視聴すると正常に受像できません。コピーガードがかかっている番組やDVDを視聴する場合は、録画機器を経由しないで本機とモニターを直接接続してください。

ETC2.0車載器と接続して使う

接続する各機器の説明書もよくお読みください。

ETC2.0車載器を接続すると、VICSの情報提供サービスを受けたり、ETCとして有料道路で料金の自動支払いや通行ができます。機種によっては、ETC2.0車載器側の機能が一部制限されます。

- ETC2.0車載器の一部のボタンは操作できません。
- ETC2.0車載器からの音声案内は行いません。
ナビゲーションから音声または画面表示で案内されます。

お知らせ

- 機種によっては、ETC2.0車載器から音声案内される場合があります。
 - ・ ETCカードを入れたままエンジンをかけた（ACCをONにした）とき
 - ・ ETCカードを入れたままエンジンを止めた（ACCをOFFにした）とき

信号情報活用運転支援システム（TSPS）による情報提供サービス

道路に設置された光ビーコンから取得する信号情報および車の走行情報を用いて、信号交差点を円滑に通行するための情報を表示と音声で案内します。

表示例

状況	表示	音声
前方の信号交差点の案内ができるとき		なし
現行速度で走行すれば、前方の信号機を通過できると予測したとき（信号通過支援）*1		なし
現行速度で走行すれば、前方の信号機が赤になると予測したとき（赤信号減速支援）*1		この先、信号機があります。ご注意ください。
停車中、前方の信号機が青になるときの（発進遅れ防止支援）		なし

状況	表示	音声
停車中、前方の信号機が、あと5秒で青に変わるとき（発進遅れ防止支援）		まもなく青信号です。
前方の信号交差点の案内ができないとき		なし

- * 1 通過時の灯色の予測が変わったとき、または交差点を通過するときは「支援あり」の表示に変わります。

お知らせ

- 各支援の設定について、詳しくは(P.89)をご覧ください。
- 本機能はあくまでも補助機能です。実際の信号機の点灯状況と異なる場合は信号機の表示に従ってください。案内を過信せず、常に実際の道路状況や道路標識、前方の信号表示を優先して運転してください。
- 常に前方の交差点を直進方向に走行すると想定して案内を行います。矢印信号のある交差点では、点灯状態と異なる案内をする場合があります。
- 受信時点の情報のため、その後の状況の変化により、実際の信号機の灯色と合わない場合があります。
- 支援ありアイコン表示のまま、案内を行わない場合があります。
 - ・提供対象外の信号機があるか、地図に無い信号機があるとき
 - ・信号機の色が変わる直前るとき
 - ・対象となる交差点までの距離が短いとき
 - ・高速走行しているときや低速走行しているとき
- 支援なしアイコンが表示される場合があります。
 - ・信号機のサイクルに応じた有効時間があります。有効時間が経過すると案内ができなくなります。
 - ・信号機の制御方式（押しボタン式、感應式など）により、信号情報が不確定なため、案内しない交差点があります。
- ご利用には、TSPSに対応したETC2.0車載器が必要です。
- すべての光ビーコンでTSPSの情報を提供しているわけではありません。対象路線情報についてはVICSセンターのWebサイト(<https://www.vics.or.jp/>)をご覧ください。

リアビューカメラと組み合わせる

接続する各機器の説明書もよくお読みください。

リアビューカメラに切り換える

カメラの映像は、視野・距離感が目視時とは異なります。車両を移動させる際には、必ず目視でも確認してください。

準備

- カメラ設定をしてください。

車のシフトレバーを「R(リバース)」に入れる

- カメラの映像が表示されます。



お知らせ

- 車のシフトレバーを「R」に入れないと、カメラの映像は表示されません。
- カメラ映像が見にくいときは、カメラの映像を表示して画質を調整してください。
- ドライブレコーダー(CA-DR03HTD)を接続している場合、ドライブレコーダーのリアカメラの映像を表示します。

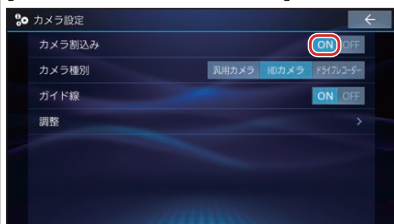
リアビューカメラの設定をする

リアビューカメラをご利用になる前に、下記設定を行ってください。

1 システム情報・設定メニュー (P.18) から **カメラ設定** を選ぶ

2 カメラ割込み **ON** を選ぶ

- カメラ設定がONになります。
[お買い上げ時の設定：OFF]



3 カメラ種別からリアビューカメラの種類を選ぶ

[お買い上げ時の設定：汎用カメラ]

- ドライブレコーダー (CA-DR03HTD) を接続している場合、**ドライブレコーダー** を選ぶと、ドライブレコーダーのリアカメラの映像を表示します。

4 ガイド線表示の **ON** を選ぶ

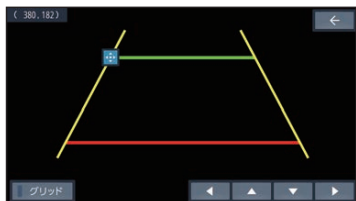
[お買い上げ時の設定：ON]

5 ガイド線表示の **調整** を選ぶ

- カメラの映像が表示されない場合は、手順3でカメラ種別を変更してください。

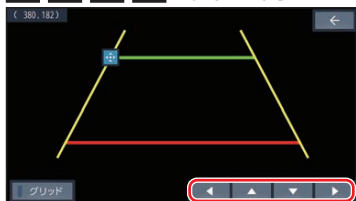
6 ガイドラインを調整する

1 ガイドラインの調整したい点を **タッチ** する



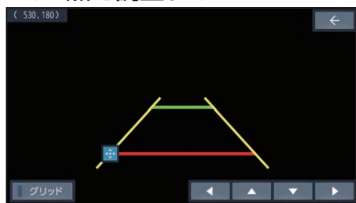
- タッチした場所が **MAP** で表示されます。
- MAP** を2秒以上押すと、画質調整画面が表示されます。

2 ◀ ▶ ▲ ▼ で位置を調整する



- **グリッド**
調整の目安となるグリッドの表示/非表示を切り換えます。

3 上記手順6-1～6-2を繰り返して、4点を調整する



4 調整が完了したら、**←** を選ぶ

お知らせ

- ドライブレコーダー (CA-DR03HTD) のリアカメラ映像を表示する場合は、リヤカメラ録画を「する」に設定してください。

その他の外部機器と接続して使う

ビデオカメラやドライブレコーダーなどを本機と接続し、操作することができます。

接続する各機器の説明書をよくお読みください。

ビデオカメラと接続する

トップメニュー (P.16)、
オーディオソース一覧 (P.43)
または全機能一覧 (P.19) から
HDMI を選ぶ

- 接続した機器の映像と音声が出力されます。

お願い

- 本機にビデオカメラを接続する場合は、取付時に正しく配線する必要があります。詳細については、取付説明書をご覧ください。

ドライブレコーダーと接続する

別売のドライブレコーダーを本機と接続して、運転の状況を記録できます。
録画した動画・撮影した静止画は、本機で確認できます。

ドライブレコーダーのリアカメラで後方確認する

- ドライブレコーダー (CA-DR03HTD) を接続している場合のみ本機能が使えます。

準備

- 「ダイレクトボタン設定」を「カメラモニター」に設定してください。(P.91)

現在地画面で **2** を選ぶ

- ナビ画面がリアカメラの映像に切り換わります。



解除するには、画面をタッチしてください。

保存したファイルを選んで消去する

消去したいファイルを再生し、動画再生画面/静止画再生画面から

消去 ▶ はい を選ぶ



- 選んだファイルが消去されます。

お知らせ

- ファイルを消去すると、動画/静止画は前後両方とも消去されます。どちらか一方のみを消去することはできません。

利用に応じた設定に変える

地図表示に関する設定

1 ナビ情報・設定メニュー (P.19) から **ナビ設定** を選ぶ

2 **表示設定** を選び、各項目を設定する

[太字：お買い上げ時の設定]

項 目	設定内容
ランドマーク設定	地図画面に表示するランドマークを選択できます。
50m市街地図表示	「ON」： 50 m縮尺のとき、市街地図で表示する 「OFF」： 50 m縮尺のとき、広域地図で表示する
走行軌跡を表示	「ON」： 走行軌跡を表示する 「OFF」： 走行軌跡を表示しない
走行軌跡の記録を消去する	走行軌跡の記録を消去する ▶ はい ：走行軌跡の記録を消去する
目的地方向を表示 (P.26)	「ON」： 目的地方向直線を表示する 「OFF」： 目的地方向直線を表示しない
自車位置修正	自車位置を修正できます。(通常は、この操作は必要ありません)

ルート探索に関する設定

1 ナビ情報・設定メニュー (P.19) から **ナビ設定** を選ぶ

2 **探索設定** を選び、各項目を設定する

[太字：お買い上げ時の設定]

項 目	設定内容
新旧ルート比較画面を表示	「ON」： VICS自動再探索でルートが再探索されたとき、変更前のルートも通行可能であれば、新旧ルート比較画面を表示する 「OFF」： 新旧ルート比較画面を表示しない
新旧ルート自動選択	「 新ルート 」： 新旧ルート画面で約8秒間操作しないと、新ルートで再探索 「元ルート」： 新旧ルート画面で約8秒間操作しないと、旧ルートのままとする
到着予想時刻の計算方法	「自動」： VICS情報や統計交通情報を考慮して、自動的に到着予想時刻を計算する 「手動」： 一般道・有料道路の平均速度を手動で入力し、その数値をもとに到着予想時刻を算出する 「手動」を選んだ場合、+/-で設定する ● 一般道：5～50～80 km/h ● 有料道路：5～ 80 ～100 km/h ● 「自動」「手動」を切り換えても、手動で入力した数値は保持されます。 ● 「自動」を選んでいる場合、手動で入力した数値は無視されます。
ルート学習結果の初期化	ルート学習結果の初期化 ▶ はい ▶ はい ：本機のルート学習機能を初期化する

ルート案内に関する設定

1 ナビ情報・設定メニュー (P.19) から **ナビ設定** を選ぶ

2 **案内設定** を選び、各項目を設定する

[太字：お買い上げ時の設定]

項 目	設定内容
案内拡大図の表示	「ON」： 案内拡大図を表示する 「OFF」： 案内拡大図を表示しない
ETCレーンの表示	「ON」： ETCレーン案内を表示する 「OFF」： ETCレーン案内を表示しない
方 面 看 板 の 表 示 (P.23)	「ON」： 方面看板を表示する 「OFF」： 方面看板を表示しない
ハイウェイモードの表示	「ON」： ハイウェイマップを表示する 「OFF」： ハイウェイマップを表示しない
Audio画面中の案内割込み	「ON」： オーディオ画面を表示中に割り込んでルート案内する 「OFF」： オーディオ画面を表示中に割り込んでルート案内しない
逆 走 注 意 ア ラ ム (P.28、P.29)	「ON」： 逆走検知警告、および逆走注意アラームを案内する 「OFF」： 逆走検知警告、および逆走注意アラームを案内しない
VICS案内	「ON」： ルート案内中にVICSの渋滞/規制情報がある区間に近づくと、音声で案内する 「OFF」： 渋滞/規制情報を音声で案内しない

■ 信号情報活用運転支援設定*1

[太字：お買い上げ時の設定]

項 目	設定内容
光ビーコンアップリンク	「ON」： 本機で収集した情報を光ビーコンに送信し、信号情報を受信する 「OFF」： 本機で収集した情報を光ビーコンに送信しない(信号情報を受信しない)
赤 信 号 減 速 支 援 (P.84)*2	「ON」： 前方の信号機が赤信号に変わると予測したことをアイコンで表示する 「OFF」： アイコンを表示しない
信 号 通 過 支 援 (P.84)*2	「ON」： 前方の信号機を青で通過できると予測したことをアイコンで表示する 「OFF」： アイコンを表示しない
発進遅れ防止支援 (P.84)*2	「ON」： 前方の信号機が青になるまでの残り時間をアイコンで表示する 「OFF」： アイコンを表示しない
支 援 音 声 ガ イ ド (P.84)*2	「ON」： 赤信号減速支援、発進遅れ防止支援を音声で案内する 「OFF」： 音声で案内しない

*1 高度化光ビーコン対応のETC2.0車載器キット(別売品)が必要です。

*2 「光ビーコンアップリンク」が「ON」の場合のみ、設定できます。

渋滞情報案内(VICS)に関する設定

1 ナビ情報・設定メニュー(P.19)から**ナビ設定**を選ぶ

2 **渋滞設定**を選び、各項目を設定する

■ FM VICS周波数

[太字：お買い上げ時の設定]

項 目	設定内容
受信周波数	現在の周波数がFM多重放送の放送局の場合、放送局名を表示する
周波数の選局方法	「自動選局」： 自車位置に応じて、FM多重放送を受信する放送局を自動的に切り換える 「手動選局」： FM多重放送を受信する周波数を手動で設定する
手動選局	— + ： 周波数を設定する ※周波数の選局方法が「手動選局」のときのみ設定できます。
エリア選局	FM VICSを受信したいエリア(放送局)を選ぶ ※周波数の選局方法が「手動選局」のときのみ設定できます。

■ ビーコン割込み設定*1

[太字：お買い上げ時の設定]

項 目	設定内容
ビーコン受信音	「ON」： 情報を受信すると、受信音を鳴らす 「OFF」： 情報を受信しても、受信音を鳴らさない
ビーコン割込み	「ON」： 情報を受信すると、自動的に表示される 「OFF」： 情報が自動的に表示されない

■ ETC2.0割込み設定*2

[太字：お買い上げ時の設定]

項 目	設定内容
ETC2.0受信音	「ON」： 一般情報を受信すると、受信音を鳴らす 「OFF」： 一般情報を受信しても、受信音を鳴らさない
ETC2.0割込み	「ON」： 一般情報を受信すると、自動的に表示される 「OFF」： 一般情報は自動的に表示されない
ETC2.0自動音声再生	「ON」： 情報を受信すると、自動的に音声案内される 「OFF」： 情報は自動的に音声案内されない
ETC2.0アップリンク	「ON」： 本機で収集した情報を、ITSスポットに自動的に送信する 「OFF」： 本機で収集した情報を、ITSスポットに送信しない

* 1 高度化光ビーコン対応のETC2.0車載器キット(別売品)が必要です。

* 2 ETC2.0車載器キット(別売品)が必要です。

ETC情報の案内に関する設定

1 ナビ情報・設定メニュー(P.19)からナビ設定を選ぶ

2 ETCの音声案内設定を選び、各項目を設定する

[太字：お買い上げ時の設定]

項 目	設定内容
ETC 音声案内	「ON」： 利用料金などを、本機から音声で案内する 「OFF」： ETC 音声案内しない
カード入れ忘れ案内	「ON」： 本機の電源がONになったときにETCカードが挿入されていない場合、本機から音声で案内する*1 「OFF」： カード入れ忘れ案内しない
カード抜き忘れ案内	「ON」： 本機の電源がOFFになったときにETCカードが取り出されずに車載器に残っている場合、本機から音声で案内する*1 「OFF」： カード抜き忘れ案内しない

* 1 ETC 音声案内を「OFF」に設定しても案内します。

本機のシステムに関する設定・確認

システム情報・設定メニュー(P.18)から、各項目を設定・確認する

[太字：お買い上げ時の設定]

項 目	設定内容
操作音	「ON」： 操作音を鳴らす 「OFF」： 操作音を鳴らさない
時計表示	「ON」： 画面に時計を表示する 「OFF」： 画面に時計を表示しない ● 本機はGPSアンテナで受信した時刻を表示しているため、テレビ番組の時刻表示とは異なる時刻が表示される場合があります。

■ 案内音声設定

[太字：お買い上げ時の設定]

項 目	設定内容
本体音量スイッチ操作で案内音量調整を優先	「ON」： ナビゲーションの音声案内中に、 ☐ ☒ で案内音量を調整できる 「OFF」： ナビゲーションの音声案内中に、 ☐ ☒ で案内音量を調整できない
案内音量の車速連動	「ON」： ナビ案内音量を車速連動する（走行速度によって自動的に音量を上げる） 「OFF」： ナビ案内音量を車速連動しない
案内出力スピーカー	「左前」： 案内音声を左のフロントスピーカーから出力する 「右前」： 案内音声を右のフロントスピーカーから出力する
案内時のAudio音量消音	「ON」： 音声案内時にオーディオ音声を消音する 「OFF」： 音声案内時にオーディオ音声を消音しない ※「OFF」に設定されている場合も、音声案内時はオーディオの音量が下がります。

[太字：お買い上げ時の設定]

項 目	設定内容
音量設定 (P.15)	ナビゲーションの案内音、ハンズフリー着信音などを調整することができます。
画質調整	画面の明るさやコントラストなどを調整することができます。
画面OFF	画面を一時的に消すことができます。
トップメニューカスタマイズ (P.20)	トップメニューを編集することができます。
セキュリティ設定 (P.21)	「ON」： セキュリティ機能を使用する 「OFF」： セキュリティ機能を使用しない
盗難多発地点 表示案内 (P.22)	「ON」： 盗難多発地点を地図に表示する 「OFF」： 盗難多発地点を地図に表示しない
市街地図での盗難多発地点表示案内 (P.22)	「ON」： 盗難多発地点を市街地図に表示する 「OFF」： 盗難多発地点を市街地図に表示しない ※ 盗難多発地点 表示案が「ON」のときのみ設定できます。
車種設定 (P.15)	使用しません。（販売店が設定します。）
カメラ設定 (P.86)	リアビューカメラの設定ができます。
ドライブレコーダー設定	ドライブレコーダーの設定ができます。
ステアリングスイッチ設定 (P.43)	ステアリングスイッチに機能を登録することができます。
ダイレクトボタン設定 (P.87)	「ドライブレコーダー動画録画」： 動画録画タッチキーを表示する 「ドライブレコーダー静止画撮影」： 静止画撮影タッチキーを表示する 「カメラモニター」*1：ドライブレコーダーのリアカメラタッチキーを表示する 「表示しない」： ダイレクトボタンを表示しない
休憩案内	「ON」： 休憩を促す音声案内を行う 「OFF」： 休憩案内しない
バージョン情報 (P.81)	車載器ID、製造番号、ソフト・地図・Gracenoteデータベースのバージョンなどを確認できます。
車両信号情報	車両信号情報を確認できます。
拡張ユニット情報	iPod、USB、ETC2.0車載器、ドライブレコーダーの接続状態を確認できます。
ナビヘルプ	ナビヘルプダウンロード先の二次元コードを表示します。
ソフトウェア・地図 更新 (P.83)	本機のソフトウェアや地図データの更新ができます。
Gracenoteデータベース更新 (P.64)	Gracenoteデータベースを更新できます。
初期化 (P.92)	本機の各種設定をお買い上げ時の状態に戻します。
端末情報 (P.81)	本機の端末情報を確認できます。

* 1 ドライブレコーダー（CA-DRO3HTD）を接続の場合のみ表示されます。

各種設定をお買い上げ時の状態に戻す

1 システム情報・設定メニュー (P.18) から **初期化** を選ぶ

2 初期化する項目を選ぶ

3 はい ▶ はい を選ぶ

- 選んだ項目が初期化されます。
※「キーボード学習結果の初期化」を選んだ場合は、1 回目の **はい** で初期化されます。
- **初期化 (削除) した項目は、もとに戻せません。**
誤って大切なデータを削除することがないように、ご注意ください。
- TV の初期化を行った場合は、車のエンジンを止め (ACC OFF)、ボタン照明が消えて約 10 秒経過してから、再度車のエンジンをかけてください (ACC ON)。

項 目	設定内容
SD カードの初期化	SD メモリーカードを初期化する (NTFS ファイルシステムは初期化できません) ● 録音した音楽データも削除されます。
TV の初期化	TV で設定した内容を初期化する
キーボード学習結果の初期化	キーボードの学習機能を初期化する
出荷状態に戻す	本機のすべての設定をお買い上げ時の状態に戻す ● オーディオが OFF に切り換わります。 ● ドライブレコーダーの設定がお買い上げ時の状態に戻ります。

お 願 い

- 初期化中は他の操作 (オーディオを切り換えるなど) をしないでください。
故障の原因となります。

お 知 ら せ

- SD メモリーカードから録音データのみを消去する場合は、MEMORY MUSIC 再生画面 (P.61) から **▶ 録音データ初期化** を選んでください。
- 他人に譲渡または処分などされる際は、お客様が入力された個人情報 (登録地の住所や電話番号など)、自宅などの登録情報を必ず削除してください。
- 本機を別の車に載せかえた場合や、タイヤを交換またはローテーションした場合は、システム情報・設定メニュー (P.18) から、**車両信号情報 ▶ センサー学習値初期化** を選んでセンサー学習値を初期化してください。
- バッテリー交換をした際には、下記の設定が初期化されます。
 - ・ オーディオ OFF/ON
 - ・ AM・FM の周波数、エリアプリセット / ユーザープリセットの選択
 - ・ ディスク・MEMORY MUSIC・USB/SD (音楽 / 動画) の再生位置
 - ・ CD 録音設定
 - ・ CD・Blu-ray Disc*1・DVD・USB・SD・MEMORY MUSIC の再生モード
 - ・ テレビの主番組 / 副番組、マルチチャンネルの設定

* 1 **(FIX10BHD)** のみ

よくあるお問い合わせ

斜体の項目の確認には、専門の技術と経験が必要です。
安全のため、お買い上げの販売店にご相談ください。

自車マークが表示されない

- 地図モード画面になっている。
→ [MAP]を押してください。(P.23)

自車位置が正しく表示されない

- ACC OFFの状態 で車を移動した。(フェリーボート、駐車場のターンテーブルなど)
→ しばらく見晴らしの良い道路を走行してください。
- 立体駐車場などの、GPS信号を受信できない場所を走行した。
→ しばらく見晴らしの良い道路を走行してください。
- GPS衛星からの信号の誤差が大きい。
→ しばらく見晴らしの良い道路を走行してください。
- GPS信号を妨げる障害物などがいないか確認してください。
- **GPSアンテナが、受信しにくい場所に付いていないか確認してください。**(取付説明書)
- 距離、回転、3Dの補正が完了していない。
→ システム情報・設定メニュー(P.18)から、**車両信号情報**を選んで学習レベルを確認してください。学習レベルが1の場合は、しばらく見晴らしの良い道路を走行してください。
- **GPSアンテナのコードや、車速信号コード、リバースコードなどが、正しく接続されているか確認してください。**(取付説明書)
- GPSアンテナが、ナビゲーションユニットや別売のETC2.0車載器のアンテナの近くに取り付けられている。
→ **GPSアンテナは、ナビゲーションユニットから20 cm以上、ETC2.0車載器のアンテナユニットから15 cm以上離して取り付けてください。**(取付説明書)
- 本機を別の車に乗せかえた。タイヤをローテーションした。
→ センサー学習値の初期化を行ってください。

縮尺を切り換えたのに、もとの縮尺に戻る

- 地図モード画面で縮尺を切り換えている。
→ 地図モード画面で切り換えた縮尺は、現在地画面に反映されません。
現在地画面で/を選び、縮尺を切り換えてください。(P.32)

ディスクやSDメモリーカードが正しく読めない

- ディスクやSDメモリーカードが汚れている。
→ 汚れを取り除いてください。
- ディスクを表裏逆に挿入した。
→ 正しい面で挿入しなおしてください。

地図の年度更新の方法について知りたい

- 年度更新地図の発売時期・販売方法については、決定しだい、下記サイトにてご案内します。
<https://panasonic.jp/navi/>

故障かな!?

斜体の項目の確認には、専門の技術と経験が必要です。
安全のため、お買い上げの販売店にご相談ください。

電源・共通

■ 動作

内 容	ページ
電源が入らない/起動が遅い	
車のエンジンがかかっていない。 ● エンジンをかけて (ACCをONにして) ください。	(P.14)
低温状態または高温状態になっている。 ● 故障ではありません。内部の温度が正常になると、自動的に起動します。(オーディオに関する一部の情報や設定はお買い上げ時の状態に戻ります。)	—
ナビゲーションの電源を切った直後にもう一度起動すると、起動に時間がかかる場合があります。	—
ハイブリッド車などの特定の車種ではナビゲーションの起動に時間がかかる場合があります。	—
電源が落ちる	
バッテリー電圧が低くなっている。 ● バッテリー電圧を確認してください。バッテリー電圧が11 V以下の場合、ナビゲーションの電源が落ちる場合があります。	—
● アイドリングストップ車の場合は、アイドリングストップ中のバッテリー電圧を確認してください。バッテリー電圧が11 V以下の場合、車両メーカーにお問い合わせください。	—
ディスプレイの上下位置や角度が調整できない	
障害物などに当たっていたり、コードを挟み込んでいないかを確認してください。	—
タッチパネルの反応が悪い/反応しない	
アースコードがしっかりと車体の金属部に接続されていることを確認してください。	取付説明書
フリック/ドラッグ/ピンチ/2点タッチ/ダブルタップ/2点ドラッグ/回転ドラッグ操作をしている。 ● 画面によっては、上記の操作ができません。	—
指の腹でタッチすると、2点タッチとして誤動作することがあります。必ず、指の先でタッチしてください。	—
爪でタッチすると、反応しない場合があります。必ず、指の先でタッチしてください。	—
指の動きより遅れて反応する場合がありますが、故障ではありません。	—
ステアリングスイッチが正しく動作しない	
ステアリングスイッチ設定が、正しく完了していない。 ● ステアリングスイッチ設定画面で、登録可能なすべてのステアリングスイッチを登録後、 戻る を選んで設定を完了してください。	取付説明書
本機が温かくなる	
長時間連続して使用している。 ● 正常に機能している場合は、故障ではありません。	—

内 容	ページ
SDメモリーカードを挿入しても本機が認識しない	
● 本機または専用フォーマッター以外でフォーマットしたSDメモリーカードは、本機では認識しない場合があります。SDメモリーカードを本機で初期化するか、専用フォーマッターでフォーマットしてください。	(P.92、P.116)
● SDメモリーカードによっては認識しないものもありますので、別のカードをお試しください。	—
ディスクが排出されない	
録音中などの場合、ディスクが排出できない場合があります。	
● 時間をおいて、再度 $\blacktriangle$ を押してください。	—
本機で再生できないディスクを使用したり、ディスクに汚れ、指紋が付いている場合、ディスクが排出できない場合があります。	
● $\blacktriangle$ を10秒以上押してください。	—
ディスクを挿入できない	
すでにディスクが挿入されていて2枚目を挿入しようとしている。	
● 挿入されているディスクを取り出してから、次のディスクを挿入してください。	—
勝手に地図が動き始めたり、映像が再生されたりする	
本機にはデモモードとして、ルート案内のデモ走行や本機に挿入されているディスクの映像を再生する機能があります。	
● ルート案内のデモ走行が動作している場合は、 デモ走行中止 を選んでください。	—
● 映像が再生されている場合は、画面をタッチし、 $\blacksquare$ を選んでください。	(P.50、P.53)
● ルート案内のデモ走行、または映像再生の停止後、GPSを受信するかしばらく走行してください。以降はデモモードは動作しません。	—
停車時に「走行中は映りません。」と表示される	
電子パーキングブレーキ搭載車では停車中であっても操作制限がかかる場合があります。	
● お買い上げの販売店にご相談ください。	—

■ 画面／映像

内 容	ページ
映像が暗い／白っぽい／色あいが悪い／色が薄い	
画質調整が適切でない。	
● [MAP] を2秒以上押して画質調整画面を表示させ、各項目を調整してください。	—
本機が高温になると、画面の明るさを自動調整したり、画面の表示を停止する場合があります。	
● 本機の温度が下がるまでお待ちください。	—
(FID9HD) 本機が低温になっている場合、画面が白っぽくなる場合があります。	
● 車の暖房を使用して、室温を上げ、本機の温度が上がるまでお待ちください。	—
画面が曇る	
冷暖房を使用した直後などには、結露のため画面が曇ったり、正しく表示されない場合があります。	
● 結露が解消するまでお待ちください。	—
画面の明るさにむらがある／画面にモアレが出る	
有機ELディスプレイ* ¹ 特有の現象です。故障ではありません。	—
画面に赤、青または緑の点が表示される	
有機ELディスプレイ* ¹ /液晶ディスプレイ* ² 特有の現象です。故障ではありません。	—

内 容	ページ
画面に焼き付きが発生している	
有機ELディスプレイ* ¹ は材料の特性上、画面に焼き付きが発生する場合があります。故障ではありません。	—
文字の周囲などに、赤、青または緑の線が表示される	
有機ELディスプレイ* ¹ 特有の現象です。故障ではありません。	—
ディスプレイに何も表示されない/表示されるのが遅い	
本機が低温になっている場合、映像の表示に時間がかかる場合があります。 ●車の暖房を使用して、室温を上げ、本機の温度が上がるまでお待ちください。	—
オーディオのソースがHDMIになっている。 ●他のソースに切り換えるなどして、HDMI以外の画面を表示させてください。	(P.43)
一時的に画面を消している。(画面 OFF) ●[AUDIO]/[MENU]/[MAP]/[▲]のいずれかを押すか、画面をタッチしてください。	—
電源コード/接続ハーネスの接続をご確認ください。	取付説明書
電源コネクターのヒューズが切れている。 ●お買い上げの販売店またはお近くの「サービス相談窓口」にご相談ください。	取付説明書
ディスプレイがゆれる/異音がする/映像が表示されない/映像が乱れる	
推奨車種以外に取り付けている。 ●推奨車種以外に取り付けた場合、走行中にディスプレイのゆれが発生する場合があります。本機の推奨車種については、下記のWebサイトをご覧ください。 https://panasonic.jp/car/navi/fl d-taiousshushu/list.html	—
ディスプレイを外し端子部分に異物が無いことを確認してください。 ディスプレイ取付部のねじをしっかりと取り付けてください。	取付説明書
音声は出るが、映像が出ない	
一時的に画面を消している。(画面 OFF) ●[AUDIO]/[MENU]/[MAP]/[▲]のいずれかを押すか、画面をタッチしてください。	—
パーキングブレーキをかけていない。 ●安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてください。	—
サイドブレーキコードの接続が外れていないか確認してください。	取付説明書
* 1 (FIX10BHD) (FIX10HD)のみ * 2 (FID9HD)のみ ■ 音声	
内 容	ページ
ステレオのとき左右の音が逆になる	
スピーカーコードの接続を確認してください。	取付説明書
左右前後のいずれかの音が出ない	
フェーダー/バランスの設定を確認してください。	—
各コードの接続を確認してください。	取付説明書
音が悪い(音が飛ぶ)	
Blu-ray Disc* ¹ ・DVD・CDなどの場合は、ディスクの汚れをクリーニングしてください。	(P.115)
iPod・スマートフォン・USBメモリーなどの場合は、延長ケーブルを使用せずに接続してください。	—
本機の取り付けを確認してください。 ●角度を40°以内に調整し、振動しないようにしっかりと取り付けてください。	取付説明書

内 容	ページ
雑音が出る	
スマートフォンなどを本機から離してください。	—
アースコードがしっかりと車体の金属部に接続されていることを確認してください。	取付説明書
オーディオの音量が変わる	
オーディオ情報・設定メニューからオーディオチューンを選び、車速連動音量の補正量を「OFF」にしてください。	—

* 1 (FIX10BHD)のみ

ナビゲーション

■ 案内

内 容	ページ
音声案内されない/オーディオの音声は出力されるのに、ナビゲーションの音声案内が出力されない	
音量設定で、「ナビ案内音」の音量が「0」に設定されている。 ●「ナビ案内音」の設定を調整してください。	(P.14)
フェーダー/バランスの出力レベル設定を確認してください。 ●センターから離しすぎると音声案内が小さくなりすぎることがあります。	—
ルートから外れている。 ●現在地画面で自車がルート上にあるかを確認し、ルートに戻ってください。 ●再探索してください。	(P.23) —
ルートに対して逆走行している。 ●目的地の方向を確認してください。 ●再探索してください。	(P.26) —
各コードの接続を確認してください。	取付説明書
ルート案内中に料金案内されない	
ルートが有料道路上から始まっている。 ●有料道路上で自動再探索や再探索してルートが有料道路上から始まっているときは、料金案内されない場合があります。	—
有料道路以外で有料案内する	
地図データで有料道路判定をするため、最近無料化された道路などは、実際と異なり有料案内することがあります。	—
料金所が入口付近になくても、有料道路の手前で音声案内します。	—
高速道路を走行中に一般道路の案内をする/一般道路を走行中に高速道路の案内をする	
高速道路と一般道路が隣接しているときは、誤った道路が案内される場合があります。 ●ランチャーから、 道路切替 を選んでください。	—
一般道優先で探索しているのに、有料道路上にルートを作る	
現在地と目的地の場所によっては、一般道優先で探索しても有料道路上にルートを作ることがあります。(故障ではありません) ●通りたい一般道路上に経由地を設定してください。	(P.40)

■ 動作

内 容	ページ
登録地が登録されない/設定が変更されない/探索したルートが削除された	
操作のあと、すぐに電源を切った。 ●再度操作してください。	—
←を選んで、前の画面に戻らない	
画面によっては、←を選んで前の画面に戻らない場合があります。	—
地図画面上でフリック/ドラッグ以外の操作ができない	
フリック/ドラッグ操作でスクロール中は、画面上でそれ以外の操作はできません。 ●約1秒間何も操作せずに、地図モード画面になってから操作してください。	—
バック時にバックモニターの映像が映らない	
リアビューカメラが正しく設定されていない。 ●カメラ設定の「カメラ割込み」を「ON」にしてください。 ●カメラ設定の「カメラ種別」でリアビューカメラの種類を正しく選んでください。	(P.86) (P.86)
リバース信号が検出できていない。 ●車両信号情報の「リバース信号」が正常か確認してください。	—

■ 表示

内 容	ページ
VICS情報が表示されない(FM VICS)	
VICSを放送している放送局を受信しているか確認してください。	—
FMの電波が弱い。 ●障害物(トンネルやビルの陰など)のない場所に移動してください。 ●電波の強い周波数の放送局を選局してください。	— —
VICS情報の保持時間が過ぎた。 ●新しい情報を再度受信するまでお待ちください。	—
VICSのサービス外の地図を表示している。 ●VICSのサービスを行っている圏内の地図を表示し確認してください。	—
ラジオアンテナの接続を確認してください。	取付説明書
VICS情報が表示されない(光ビーコン/ETC2.0) ※ 別売のETC2.0車載器が必要です。	
ETC2.0車載器の取り付け状態が悪く受信できない。 ●アンテナの上に物を置かないでください。 ●極端にフロントガラスが汚れている場合は、きれいにしてください。 ●取り付け位置や接続を確認してください。	— — 取付説明書
電波不透過ガラスや赤外線反射ガラス装着車両では、受信できない場合があります。 ●お買い上げの販売店にご相談ください。	—
TSPSアイコンが表示されない ※別売のTSPS対応ETC2.0車載器が必要です。	
路側装置の機器メンテナンス作業や故障などにより、終日または時間帯によって、情報が提供されない場合があります。	—
地図データに対象交差点の情報がないときはTSPSアイコンは表示されません。	—
地図画面が黄色く表示される	
表示中の地図全体に気象・災害情報がある場合は、地図画面全体が薄い黄色で表示されます。	—

オーディオ [TV]

■ 映像／音声

内 容	ページ
映像も、音声も出ない	
本機が異常に高温になっている。 ● 車内の温度を下げてから、本機の電源を入れなおしてください。	—
受信状態が悪い。 ● 車のある場所や方向により、受信状態が変化します。受信状態の良い場所に移動してください。	—
電源を入れても映像がすぐに出ない	
ソフトウェアが起動して映像を表示するまでに時間がかかる場合がありますが、故障ではありません。	—
映像や音声(ときどき)出なくなる/静止する、音声が遅れて聞こえる	
車のある場所や方向により受信状態が変化します。視聴中に、受信状態により「黒色」画面になることがあります。故障ではありません。	—
車両の搭載機器(電動ドアミラー、パワーウィンドウ、エアコン、HIDランプなど)の動作によってノイズが発生し、アンテナレベルが低下することがあります。	—
自動車/バイク/高圧線/ネオンサイン等の近くを車が通過したとき、アンテナレベルが低下することがあります。	—
地上デジタル放送の受信状態が良くないときに、受信モードが「地上D」になっている。 ● 地上デジタル放送の電波が弱い地域では、受信モードを「ワンセグ」に切り換えてください。(ワンセグに切り換わるときに、映像や音声が一時的にとぎれたり、遅れたりする場合があります。)	—
地上デジタル放送が受信できない/受信状態が悪い	
地上デジタル放送の放送エリア外にいる場合、受信できません。また、受信障害がある環境では放送エリア内でも受信できない場合があります。	—
長距離移動などで現在のチャンネル設定では受信できない場所にいる。 ● ユーザープリセットのスキャンを行ってください。	—
フロントガラスに車載カメラ装置(自動ブレーキシステムやドライブレコーダーなど)が装備されている場合は、カメラから地上デジタルアンテナを離して取り付けてください。	取付説明書
地上デジタルアンテナの接続を確認してください。	取付説明書

オーディオ [FM/AM]

■ 動作

内 容	ページ
エンジンをかけると、車のラジオアンテナが上下する	
エンジンをかけるタイミングにより、上下する場合がありますが、故障ではありません。	—

■ 音声

内 容	ページ
ラジオが受信できない/ノイズが多い	
放送局の電波が弱い。 ● 放送局を変えてください。	(P.47)
ラジオアンテナが十分に伸びているか確認してください。	—
周波数再編が実施された。(これまで受信できた放送局が受信できなくなった。) ● 新しい周波数をプリセットのリストに記憶させてください。	(P.47)
ワイドFM非対応のラジオアンテナでFM補完放送を受信しようとした。 ● ラジオアンテナがワイドFMに対応していない場合は、FM補完放送を受信できません。	—
● ラジオアンテナおよび、アンテナコントロールコードの接続・設定を確認してください。 ● ラジオアンテナのケーブルを他のコードと束ねたり・重ねたり・交差させたりせず、できるだけ離してください。	取付説明書

オーディオ [Blu-ray Disc] [DVD]

■ 動作

内 容	ページ
ディスクが再生できない	
ディスクを正しい面で挿入しなおしてください。	(P.48)
再生できないディスクを挿入した。 ● 再生できるディスクを使用してください。	(P.113、 P.115)
長時間の車内環境におかれることにより、ディスクが劣化し再生できなくなる場合があります。 特にBD-R/RE・DVD-R/RW・CD-R/RWは高温多湿環境に弱いため、劣化が起こりやすくなります。	(P.114、 P.115)
ディスク挿入後、またはBlu-ray Disc* ¹ /DVDに切り換えたあとに、フォーマットが識別される少しの間、音が途切れることがあります。	—
タッチパネルを操作しても、動作しない	
ディスクによっては、その操作を禁止している場合があります。(故障ではありません。)	—
BD-Jディスクは、メニュー画面を直接タッチして項目を選択できません。* ¹ ● カーソルで項目を選んでください。	(P.51)
設定した字幕言語/音声言語/アングルが切り換わらない	
複数の字幕/音声/アングルが記録されていないディスクでは、切り換えられません。 ● トップメニューなどで切り換えたり、特定の映像のみアングルなどを切り換えられるディスクもあります。ディスクの説明書をご覧ください。	—
設定した字幕言語/音声言語で再生されない	
設定した字幕/音声/アングルが記録されていないディスクでは、設定どおりの字幕/音声で再生されません。 ● トップメニューなどで切り換えられるディスクもあります。ディスクの説明書をご覧ください。	—
メニュー画面のメッセージが希望の言語にならない	
操作パネルから 設定 ▶ 言語設定 を選び、メニュー言語の設定を確認してください。	—

■ 音声

内 容	ページ
再生中に小さい音が聞き取りにくい	
操作パネルから 設定 ▶ ダイナミックレンジ圧縮 を選び、「ON」に設定してください。	—
Blu-ray Disc ^{*1} /DVD再生の音量が小さい	
音楽CDとBlu-ray Disc/DVDの録音レベルには差があります。 ●Blu-ray Disc/DVD再生時には、音楽CD再生時よりも音量を上げてください。	(P.14)
音質が悪い(音が飛ぶ)	
ディスクの汚れをクリーニングしてください。	(P.115)
本機の取り付けを確認してください。 ●角度を40°以内に調整し、振動しないようにしっかりと取り付けてください。	取付説明書
ディスクを取り出そうとすると、ディスプレイを十分に倒すよう音声案内される	
ディスプレイを十分に倒してください。 ●ディスプレイを十分に倒していても音声案内される場合は、エンジンを止め(ACC OFF)、約30秒後に再度エンジンをかけて(ACC ON)ください。	—

* 1 (F1X10BHD)のみ

オーディオ [MP3/WMA (CD-R/CD-RW)]/[SD]/[USB]

■ 動作

内 容	ページ
再生するまで時間がかかる	
記録されているフォルダ/ファイル階層が多い。 ●MP3/WMA以外のファイルや必要ないフォルダなどは、書き込まないようにしてください。	—
ファイルのサイズが大きすぎる。 ●サイズが大きいファイルは、読み込みに時間がかかります。	—
順番どおりに再生されない	
書き込んだ順番に再生されます。 ●再生したい順番に、書き込んでください。 ●ファイル名の頭に「001」～「254」などと入力することで順番を設定できるライティングソフトもあります。	— —
再生できない	
本機に対応したメディアを再生してください。 ●SDメモリーカード・USBメモリーによっては、認識しないものもあります。別のSDメモリーカード・USBメモリーをお試しください。	(P.113、P.116) —
使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって、正しく再生されない場合があります。	—
ビットレート/サンプリング周波数を確認してください。	(P.117)
ファイルが破損している。 ●本機が再生できる形式で、ファイルを作りなおしてください。	(P.117)
ファイルには以下の拡張子を必ず付けてください。 ●MP3 ファイル: 拡張子「mp3(MP3)」 ●WMA ファイル: 拡張子「wma(WMA)」 ●AAC ファイル: 拡張子「m4a(M4A)」 「aac(AAC)」 ●WAV ファイル: 拡張子「wav(WAV)」 ●FLAC ファイル: 拡張子「flac(FLAC)」 「fla(FLA)」	— — — — —

■ 音声

内 容	ページ
音質が悪い(音が飛ぶ)	
ディスクの汚れをクリーニングしてください。	(P.115)
音質は、使用したエンコーダソフトやビットレートの設定などにより異なります。詳しくは、エンコーダソフトの説明書をご覧ください。	—
低倍速で、再度データを書き込んでください。	—
再生経過時間は表示されているが、音が出ない	
ミックスモード(第1トラックに音楽以外のデータ、第2トラック以降に音楽データが、1セッションで記録されているフォーマット)のディスクの第1トラックを再生した。 ●ミックスモードで再生しようとした場合、MP3/WMA ファイルが無音で再生されることがあります。	—

■ 表示

内 容	ページ
ファイル名・フォルダ名が正しく表示されない/曲情報が正しく表示されない	
規格に準拠した文字種・文字数で入力してください。	(P.117)
使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって文字などが正しく表示されない場合があります。	—
再生経過時間の表示が実際と一致していない	
再生中、ACCをOFFにした。 ●他のファイルを選んで再生すると、正常に戻ります。	—
可変ビットレート(VBR)で記録されたファイルは、再生経過時間が正しく表示されない場合があります。	—

オーディオ [MEMORY MUSIC]

■ 録音

内 容	ページ
録音設定の切り換えができない	
録音中の場合は、録音を停止してください。	(P.59)
音楽CDを再生しても、自動で録音されない	
録音設定が「 手動録音 」に設定されている。 ●録音設定を「 自動録音 」に設定してください。	(P.58)
MP3/WMA ファイルを再生している。 ●MP3/WMAは録音できません。	—
録音できない	
ディスクにキズが付いていると、録音できません。 ●キズがあるディスクは使用できません。	(P.115)
録音済みのディスクである。 ●1曲でも録音済みのディスクは自動で録音しません。手動で録音してください。	(P.58)
録音中に車両のキースイッチ(電源ポジション)を切り換えてエンジンを始動した。 ●別のSDメモリーカードに交換して使用してください。(録音中のエンジン始動の影響などでSDメモリーカードが壊れている可能性があります。)	—
SDメモリーカードの容量が不足している。 ●使用状況を確認してください。録音済みの曲を消去すると新たに録音できます。	—
SDメモリーカードの誤消去防止スイッチを「LOCK」方向にしている。 ●「LOCK」を解除してください。	—

内 容	ページ
録音したはずの曲(アルバム)が再生されない、または止まる	
再生管理データが読み取れていない。 ●別のSDメモリーカードに交換して使用してください。(録音中のエンジン始動の影響などでSDメモリーカードが壊れている可能性があります。)	—

■ 動作

内 容	ページ
CDから録音した曲が再生されない	
曲のファイルが破損している。 ●再生されない曲を削除し、再度CDから録音してください。	—
パソコンなどを使って、本機でSDメモリーカードに録音したアルバム・曲のフォルダ名やファイル名を変更した。 ●本機でSDメモリーカードを初期化して、再度録音してください。	(P.59、P.92)
SDメモリーカードが破損している、またはSD規格に準拠したカードではない。 ●他のSDメモリーカードで再生ができるか、ご確認ください。	—
録音したはずの曲が再生されないまたは止まる	
録音曲数が多い。 ●曲数が多くなるとデータのチェック時間も長くなります。しばらくお待ちください。	—
SDソースを選んでいる。 ●本機で録音した曲を再生する際は、MEMORY MUSICソースを選んでください。	—

■ 音声

内 容	ページ
音質が悪い(音が飛ぶ)	
ご使用になるSDメモリーカードによっては、再生時の音飛びが発生する場合があります。いったん音楽データを削除してから、再度録音してください。 ●改善されない場合は、本機またはSDフォーマッターでSDメモリーカードを初期化し、再度録音してください。なお、初期化するとデータはすべて削除されます。必要なデータはあらかじめパソコンにバックアップを取ってください。 それでも改善されない場合は、転送速度の速いSDメモリーカードに変更してください。	— (P.92、P.116)

■ 表示

内 容	ページ
録音した音楽CDのアルバム名/曲名が表示されない	
新譜などのため、Gracenoteデータベースにタイトル情報がない。 ●Gracenoteデータベースを更新してタイトル情報を取得してください。	(P.64)

オーディオ [iPod]

■ 動作

内 容	ページ
iPodが正しく動作しない	
iPodが正しく認識されていない。 ● 接続を確認してください。 ●iPodをリセットしてから再度接続してください。	取付説明書 —
iPodのバージョンが古い。 ●iPodのバージョンを確認してください。	(P.69)

BLUETOOTH

■ 登録

内 容	ページ
BLUETOOTH対応機器を本機に機器登録できない	
本機のBLUETOOTH接続が OFF になっている。 ● 本機のBLUETOOTH接続を ON に設定してください。	(P.73)
BLUETOOTH対応機器のBLUETOOTH機能がOFFになっている。 ● BLUETOOTH対応機器を操作して、BLUETOOTHをONに設定してください。	—
A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) に対応したBLUETOOTH Audio 機器を登録してください。	—
HFP (Hands-Free Profile) に対応したスマートフォンを登録してください。	—
BLUETOOTH対応機器のファームウェア(ソフトウェア)を最新にしてください。	—
BLUETOOTH対応機器の登録機器リストで本機の機器名称(Strada)を選択しても、本機を登録できない	
BLUETOOTH対応機器に同じ機器名称で登録されている、別の機器を選択した。 ● 本機からBLUETOOTH対応機器の登録を削除し、BLUETOOTH対応機器の登録機器リストから本機(Strada)を削除してから、再度機器登録からやりなおしてください。	(P.73)

■ 接続

内 容	ページ
本機に接続できない	
BLUETOOTH対応機器が本機に機器登録されていない。 ● 機器登録してください。	(P.72)
本機に対応したプロファイルでないと本機と接続できません。 ● プロファイルを確認してください。	(P.71)
スマートフォンがHFPに対応していないとBLUETOOTH接続できません。(機種によっては、HFPに対応していなくても本機に登録される場合があります。)	—
スマートフォンがSPP (Serial Port Profile) に対応していないとハンズフリー接続できません。	—
スマートフォンの受信状態を確認してください。	—
BLUETOOTH対応機器を本機に近づけてください。	—
BLUETOOTH機器と見通しの良い状態で通信を行ってください。障害物等の影響で通信距離が短くなるおそれがあります。特に金属や人体(ポケットなどに入れている時など)に近接すると途切れたり通信不能になる場合があります。	—
BLUETOOTH対応の周辺機器(ヘッドフォン等)や無線LAN、その他無線機器などの電波を発する機器が多い環境、その他電波状態の悪い環境で使用しないでください。接続が頻繁に途切れたり、通信不能になる場合があります。	—
自動的にペアリング情報が削除された。 ● 本機からBLUETOOTH対応機器の登録を削除し、BLUETOOTH対応機器の登録機器リストから本機(Strada)を削除してから、再度機器登録からやりなおしてください。	(P.73)
自動接続が完了していない。 ● BLUETOOTH対応機器が本機と自動接続されるまで、しばらく時間がかかる場合があります。	—
本機のBLUETOOTH接続が OFF になっている。 ● 本機のBLUETOOTH接続を ON に設定してください。	(P.73)

内 容	ページ
登録したBLUETOOTH対応機器が自動的に本機と再接続されない	
本機およびBLUETOOTH対応機器のBLUETOOTH機能を有効にしてください。	—
BLUETOOTH対応機器が省電力モードに設定されている。 ●一定時間経過後に自動的にBLUETOOTH接続が解除される場合があります。 BLUETOOTH対応機器の設定を変更してください。	—
BLUETOOTH対応機器を操作して、BLUETOOTHによる本機との接続を解除した。 ●再度本機とBLUETOOTH接続してください。 ●それでもBLUETOOTH接続できない場合は、本機からBLUETOOTH対応機器の登録を削除し、BLUETOOTH対応機器の登録機器リストから本機 (Strada) を削除してから、再度機器登録からやりなおしてください。	(P.73) (P.73)
BLUETOOTH対応機器が操作待ちになっている。(機種によっては、本機からのBLUETOOTH接続に対し、確認操作が必要なものがあります。) ●BLUETOOTH対応機器を操作してBLUETOOTH接続を許可してください。	—
本機の近くに、他のBLUETOOTH対応機器や2.4 GHz帯を使用する機器がある。 ●混信するため、他の機器を本機から離してください。 ●それでも混信する場合は、他の機器の電源を切ってください。	(P.121) —
BLUETOOTH対応機器が金属物に触れている場合は、離してください。	—
BLUETOOTH対応機器と本機の間に障害物がある場合は、取り除いてください。	—
BLUETOOTH対応機器を本機に近づけてください。	—
BLUETOOTHによる自動接続に失敗した。 ●いったんBLUETOOTH対応機器の電源を切り、再度電源を入れてください。 ●それでもBLUETOOTH接続できない場合は、本機からBLUETOOTH対応機器の登録を削除し、BLUETOOTH対応機器の登録機器リストから本機 (Strada) を削除してから、再度機器登録からやりなおしてください。	— (P.73)
スマートフォンがBLUETOOTH接続待機状態になっていない。 ●スマートフォンがBLUETOOTH接続待機状態でないと、本機とBLUETOOTH接続されません。スマートフォンを接続待機状態に設定してください。	—
スマートフォンがハンズフリー接続待機状態になっていない。 ●スマートフォンがハンズフリー接続待機状態でないと、本機とハンズフリー接続されません。スマートフォンを接続待機状態に設定してください。	—

その他

■ 音声

内 容	ページ
音質が悪い(音がひずむ・ノイズが発生する)	
本機の近くに、他のBLUETOOTH対応機器や2.4 GHz帯を使用する機器がある。 ●混信するため、他の機器を本機から離してください。 ●それでも混信する場合は、他の機器の電源を切ってください。	(P.121) —
スマートフォンの受信状態を確認してください。	—
BLUETOOTH対応機器の電池残量が少ない場合は、充電してください。	—

■ スマートフォン連携

内 容	ページ
NaviCon[®]のデータを本機で取得できない	
スマートフォンが本機に正常に接続されていない。 ● BLUETOOTH接続状態を確認してください。 ● 本機のハンズフリー接続の状態を確認してください。 ● ハンズフリー接続をいったん解除してから、再度接続しなおしてください。	— (P.73) (P.73)
iPhoneまたはiPodを本機のケーブルで接続した状態でiPhoneをBLUETOOTH接続しようとした。 ● iPhoneまたはiPodをケーブルで接続すると、ケーブルでの接続が優先されるため、iPhoneでNaviCon [®] を利用することはできません。iPhoneまたはiPodをケーブルから取り外してください。	—
NaviCon[®]を終了してもBLUETOOTH接続が解除されない	
手動でハンズフリー接続を解除してください。	(P.73)
スマートフォン連携の接続が完了しない	
接続をいったん中止し、再度接続しなおしてください。	(P.73)
スマートフォン連携の切断が完了しない	
スマートフォンを操作して切断してください。	—

■ ハンズフリー通話

内 容	ページ
本機に機器登録されたスマートフォンでハンズフリー通話できない	
通話がスマートフォンに切り換わっている。 ● ハンズフリー切替 を選択し、ハンズフリー通話に切り換えてください。	(P.77)
スマートフォンのサービス圏外で使用している。 ● サービス圏内で使用してください。	—
ハンズフリー接続がされていない。 ● 再度接続してください。	(P.73)
スマートフォンがマナーモードになっている。 ● 機種によっては、マナーモードに設定していると本機から着信音が出力されない場合があります。マナーモードを解除してください。	—
ハンズフリー通話中、エコーやハウリングが起こる	
受話音量を下げてください。	(P.14)
通話中、相手の音声聞き取りにくい	
自分と相手が同時に発声した。 ● 交互に話してください。	—
受話音量を上げてください。	(P.14)
通話がスマートフォンに切り換わっている。 ● ハンズフリー切替 を選択し、ハンズフリー通話に切り換えてください。	(P.77)
着信履歴から発信できない	
番号非通知の相手にかけようとした。 ● 番号非通知の相手には発信できません。	—
国際電話を受けた。 ● スマートフォンの契約によっては、国際電話への発信ができない場合があります。	—
スマートフォンの機種によっては、相手先の電話番号を本機に通知しないものがあります。 ● スマートフォンの着信履歴から直接発信してください。	—

内 容	ページ
通話音量が大きすぎる・小さすぎる/通話しづらい	
マイクと話者の距離が近いまたは離れている。 ●適切な距離でお話してください。	—
エアコンの送風音をマイクが拾っている。 ●エアコンの送風を弱くするか、止めてください。	—
スマートフォンの通話中に、自動的にハンズフリー通話に切り換わる/本機と接続中、スマートフォンで通話できない	
機種によっては、BLUETOOTHにより接続されると自動的にハンズフリー通話しかできなくなる場合があります。 ●スマートフォンで通話するときは、スマートフォンを操作して本機とのBLUETOOTH接続を解除してください。	—
走行中にハンズフリー通話していたら、回線切断のメッセージが表示された	
スマートフォンの電波が弱い。 ●電波の状態が良い場所でご使用ください。	—
電話帳転送ができない	
スマートフォンがPBAP (Phone Book Access Profile) に対応していないと、電話帳転送できません。	—

■ BLUETOOTH Audio

内 容	ページ
BLUETOOTH Audio画面から操作できない(再生はできる)	
●BLUETOOTH Audio機器がAVRCP (Audio/Visual Remote Control Profile) に対応していない。	—
●AVRCPに対応していないと、本機から操作できません。BLUETOOTH対応機器で操作してください。(機種によっては、AVRCPに対応していても一部の操作ができない場合があります。)	—
再生できない	
BLUETOOTH対応機器や音楽再生アプリによっては、本機での操作を受け付けない場合があります。 ●本機画面の▶を押しても再生できない場合は、BLUETOOTH対応機器側の再生ボタンを押すことで、再生できる場合があります。	—
音量が小さい	
BLUETOOTH機器の音量を調整してください。	—
音質が悪い(音がひずむ、音が途切れる、ノイズが発生する)	
BLUETOOTH Audio機器を本機に近づけてください。また、BLUETOOTH Audio機器の向きを変えてみてください。(BLUETOOTHアンテナが本体に向くようにする。)	—
ハンズフリー接続に設定されたスマートフォンが本機と接続されていない。(例：電源がOFFになっている、車内に持ち込まれていない) ●対象機器のハンズフリー接続の接続設定を解除してください。	(P.73)

■ その他

内 容	ページ
(P.104～P.107) の処置をしても問題が解決しない/その他の問題がある	
●いったんエンジンを止めて、再度エンジンをかけてください。	—
●いったんBLUETOOTH対応機器の電源を切り、再度電源を入れてください。	—
●機器登録を削除し、再度登録しなおしてください。	(P.73)
それでも解決しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。	—

Wi-Fi

内 容	ページ
スマートフォンを本機に機器登録できない	
本機のWi-Fi機能がOFFになっている。(Wi-Fi設定のON/OFF) ●本機のWi-Fi機能をONに設定してください。	(P.75)
スマートフォンのテザリングモードがOFFになっている。 ●スマートフォンを操作してWi-Fiテザリング(APモード)を設定してください。	—
スマートフォンがテザリングに対応してない。 ●本機でWi-Fi機能はご使用になれません。お使いのスマートフォンのテザリング対応については、スマートフォンの販売店に確認してください。	—
登録したスマートフォンが自動的に本機と再接続されない	
●本機およびスマートフォンのWi-Fi機能を有効にしてください。	(P.75)
●スマートフォンを操作してWi-Fiテザリング(APモード)を設定してください。	—
本機に接続できない	
スマートフォンが本機に機器登録されていない。 ●機器登録してください。	(P.74)
●ステータスバーのWi-Fiの接続状態を確認してください。	(P.24)

音声認識

■ 動作

内 容	ページ
音声認識を利用できない	
●スマートフォンを本機とWi-Fi接続してください。	—
サーバーへの接続が失敗する	
スマートフォンの電波状況によりサーバーに接続できなくなることがあります。 ●場所を移動して、電波状況の良い場所でお使いください。	—
●しばらくしてから接続を行ってください。	—
誤認識が多い	
●車の窓を閉め、同乗者に会話を控えてもらい、適正な音量ではっきり発声してください。	(P.80)
●マイクは発声する人の口元に向けて20 cm～40 cm離してください。	取付説明書
●効果音が鳴ってから、続けて発声してください。	—
音声認識に失敗する	
●声が小さすぎると認識されません。適正な音量ではっきり発声してください。	(P.80)
● マイクの接続を確認してください。	取付説明書
音声が出力されない	
本機の音量が小さい場合は、音量を調整してください。	(P.14)

HDMI

内 容	ページ
音が出ない	
本機と接続した機器が、本機以外の機器とBLUETOOTH接続している。 ●本機以外の機器とのBLUETOOTH接続を解除してください。	—

内 容	ページ
映像が出ない	
正しく接続されていない。 ● 接続を確認してください。特に、スマートフォンを本機とHDMIで接続している場合は、変換アダプタが正しく接続されていない場合があります。	(P.78)

こんなメッセージが出たときは

文章で画面に表示される、主な確認／エラーメッセージの例です。
エラーメッセージが表示された場合は、処置の説明に従ってください。

■ か

内 容
このファイルは再生できません。
再生できない形式の音楽データを再生した。 ● ファイルを確認してください。
再生できない形式の動画データを再生した。 ● ファイルを確認してください。
このSDカードは書き込み禁止です。
SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチがロック側 (LOCK) になっている。 ● 書き込み禁止スイッチを解除してください。

■ さ

内 容
再生可能なファイルがありません。
異常のある動画を再生した。 ● ファイルを確認してください。
再生できるファイルがない。 ● 再生できるファイルのあるメディアを挿入してください。
車速信号が検出できません。
車速信号コードの接続をご確認ください。 ● お買い上げの販売店に依頼し、車速信号コードまたは車速信号中継コードの接続を確認してください。
受信できません (0020)
地上デジタル放送 / ワンセグの受信レベルが低い。
受信できません (E202)
地上デジタル放送 / ワンセグの電波を受信できていない。
受信できません (E203)
地上デジタル放送 / ワンセグの受信レベルが非常に低い。
放送休止のチャンネルを見ている。
情報を受信していません。
VICS 情報がない。 ● FM VICS チューナーの周波数設定を確認してください。
走行中はスクロールできません。
市街地図を表示した状態で、走行中に地図をスクロールした。 ● 安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてご覧ください。
パーキングブレーキをかけているにもかかわらず、メッセージが表示される場合は、サイドブレーキコードが正しく接続されていない。 ● お買い上げの販売店に依頼し、サイドブレーキコードの接続を確認してください。

内 容
挿入されたディスクの再生ができません。
ディスクが汚れている、裏返しになっている。 ディスクが音楽用でない、録音されていない。 ディスクに傷が付いている。 再生できないディスクを使用している。(P.115) ●ディスクを確認してください。

■ た

内 容
電源を入れ直してください。
アンプに異常が発生した。 ●いったん車のエンジンを止めて、再度エンジンをかけてください。
電話帳データの件数が多すぎます。 最大2000件の電話帳データを読み込むことができます。
電話帳データの件数が多すぎます。 ●最大2 000 件の電話帳データを読み込むことができます。
ドライブレコーダーとの接続を確認してください。
ドライブレコーダーと正しく接続されていない。 ●ドライブレコーダーとの接続を確認してください。

■ は

内 容
配線の不良または機器の故障の可能性があります。 お買い上げの販売店またはお近くのサービス窓口にご相談ください。
正しく配線されていない。 ● 配線を確認してください。
本機が故障している。 ● お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」に修理を依頼してください。
DC24 V車に取り付けている。 ● ACCをOFFにしたあと、電源コード/接続ハーネスを抜いて本機を取り外してください。
本機に接続しているiPod/USB接続用中継ケーブルに異常がありました。 ケーブルにキャップをした後、電源を入れ直してください。
ケーブルが金属物に触れている。 ●金属物から離してください。
●本機の接続には、別売のiPod/USB接続用中継ケーブル(CA-LUB200D)とApple社純正のケーブルを使用してください。
●接続している機器やiPod・USB接続ケーブル(別売品)に異常がないことを確認してください。 ● それでも正常に戻らない場合は、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

■ ら

内 容
ルート探索ができません。
極端に長い道のりのルートを探そうとした。 ●目的地、経由地を近くに設定して、もう一度ルートを探そうください。
録音可能な容量を超えました。 これ以上録音できません。
SDメモリーカードに十分な空き容量がない。 ●不要な音楽データを削除してください。

内 容
録音できませんでした。 SDカードを確認し、再度録音してください。
SDメモリーカードが本機に挿入されていない。 ●SDメモリーカードを本機に挿入してください。

■ B

内 容
Blu-ray Discのデータを保存できませんでした。 Blu-ray Discの設定からmicroSDカードを初期化してください。
microSDメモリーカードに異常がある。 ●microSDメモリーカードを、SDメモリーカード挿入口に挿入し、本機で初期化してください。この際、SDカードアダプターが必要です。(P.92)

■ S

内 容
SDカードの書き込みができませんでした。 SDカードを確認してください。
SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチがロック側 (LOCK) になっている。 ●書き込み禁止スイッチを解除してください。

■ 記号

内 容
⊘
ディスクまたは本機で禁止されている操作です。

本体リセット機能について

画面が正しく表示されない、操作しても反応しないなど正常に動作しないときは、いったん車のエンジンを止めて、再度エンジンをかけてください。
それでも正常に戻らない場合は、**AUDIO**を15秒以上押して本体リセットを行い、再起動させてください。

- セキュリティコードを設定している場合は、本機を再起動するとセキュリティコード入力画面が表示されます。(P.22)

結露について

冷暖房を入れた直後など、車内の急激な温度変化のために、本機内部のピックアップレンズやディスクに露(水滴)が生じることがあります。正常な動作をしない場合には、ディスクを取り出して、約1時間ほど放置してください。もし、何時間たっても正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」にご相談ください。

万一、故障や異常が起こったら

車を安全な場所に停車させて電源を切り、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」に修理をご依頼ください。お客様による修理は、絶対におやめください。

- 故障や異常の状況は、できるだけ具体的にご連絡ください。

テレビ・ラジオの受信について

車で移動して受信するため、家庭用のチューナーに比べて受信エリアが狭くなります。また、受信環境や電波状況（電波の強さの変化、障害物、他の電波などの影響）により、最良な受信状態を維持できない場合があります。

- 放送方式（フルセグ/ワンセグなど）や放送局により、受信状態やエリアが変化します。
- 下記のような場所または状況では受信状態が悪くなる場合があります。
 - ・放送局から遠い
 - ・電波が遮られやすい場所（トンネルの中、山の陰やビルの谷間など）
 - ・電車の架線、高圧線、テレビやラジオ放送の送信所、ネオンなどが近くにある
 - ・無線用の送信アンテナが近くにある
 - ・車の電装品（パワーウィンドウ、ワイパー、電動ミラー、エアコンのファンなど）が動作している場合
 - ・本機の受信周波数帯域に妨害を与える電子機器や無線利用機器など（パソコンやスマートフォンなど）を車内で使用したり、本機やアンテナおよびアンテナのコードに近づけた場合
- 受信状態が悪くなったときは次のような現象が起こることがありますが、故障ではありません。
 - ・映像や音声が乱れる（ノイズが発生したり、途切れる）
 - ・静止画面や黒画面となり音声が出なくなる

お知らせ

- 本機はARIB（電波産業会）規格に基いた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- 本製品は、B-CASカードを使用せずに地上デジタル放送を視聴できるコンテンツ権利保護専用方式*¹を採用しているため、B-CASカードを付属しておりません。

* 1 コンテンツ権利保護専用方式は、地上デジタル放送のコンテンツ保護専用の方式です。

詳しくは、下記サイトをご覧ください。

一般社団法人地上放送RMP管理センター

<http://www.trmp.or.jp/>

ディスクについて

再生できるディスク

本機では、下記のディスク・フォーマットを再生できます。

ディスク	フォーマット								
	BDMV *1	BDAV *1	AVCHD *1 *4	AVCREC *1 *4	DVD- Video	DVD-VR	CD-DA	MP3 *5	WMA *5
Blu-ray *1	○	—	—	—	—	—	—	—	—
BD-R/ RE *1	○	○	○	—	—	—	—	—	—
DVD	—	—	—	—	○	—	—	—	—
DVD-R/ RW *2	—	—	○	○	○	○	—	—	—
CD	—	—	—	—	—	—	○	—	—
CD-R/ RW *3	—	—	—	—	—	—	○	○	○

*1 **F1X10BHD**のみ

*2 本機でご使用になる前に、記録した機器でファイナライズしてください。

*3 本機でご使用になる前に、記録した機器でクローズセッションしてください。

*4 AVCHD、AVCREC形式のDVD-R/RWを本機に挿入すると、Blu-ray Discのアイコンが表示されます。

*5 MP3 PRO、MP3i、WMA Voiceには対応していません。

お知らせ

- ディスク側の制約により、本書の操作説明どおりに動作しない場合があります。詳しくは、ディスクの説明書をご覧ください。
- 記録状態、記録方法、記録機器やファイルの作りかたによって、再生できない場合や操作方法が異なる場合があります。

Blu-ray Discについて**F1X10BHD**

- パスワード確認入力画面が表示されるディスクを再生する場合は、パスワードを入力してください。
- 2枚以上セットになっているBDMVは、1枚目を見終わってディスクを取り出したあと、次のディスクを挿入するよう指示する表示が出たままになる場合があります。
- BD-Live(BDライブ)対応ディスクは、BDライブ対応コンテンツ部分の再生はできません。
- Blu-ray 3Dディスクは、3D再生ではなく2D再生となります。

無許可コピーコンテンツの利用制限について

Cinaviaの通告

- この製品はCinavia技術を利用して、商用制作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピーが中断されます。
- Cinavia技術に関する詳細情報は、<http://www.cinavia.com>のCinaviaオンラインお客様情報センターで提供されています。Cinaviaについての追加情報を郵送でお求めの場合、Cinavia Consumer Information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USAまでがきを郵送してください。
- この製品はVerance Corporation(ベランス・コーポレーション)のライセンス下にある占有技術を含んでおり、その技術の一部の特徴は米国特許第7,369,677号など、取得済みあるいは申請中の米国および全世界の特許や、著作権および企業秘密保護により保護されています。
- CinaviaはVerance Corporationの商標です。Copyright 2004-2014 Verance Corporation.
- すべての権利はVeranceが保有しています。リバーズ・エンジニアリングあるいは逆アセンブルは禁じられています。

コピーコントロールCDについて

パソコンなどによるコピー防止が施された音楽CDは、本機での再生や録音は保証できません。通常のCD再生には支障がなく、コピーコントロールCDの再生のみに支障がある場合は、そのCDの発売元にお問い合わせください。

BD-R/RE・DVD-R/RW・CD-R/RWについて

- 使用したライティングソフトやドライブ、またその組み合わせによって、正常に再生されなかったり、文字などが正しく表示されない場合があります。
- レコーダーで記録したディスクは、その特性・汚れ・指紋などにより、再生できない場合があります。
- 通常のBlu-ray Disc、DVD、音楽CDに比べ高温多湿環境に弱いため、長時間の車内環境において劣化し、再生できない場合があります。

- マルチセッションで書き込まれたディスクや、形式の異なるデータが混在しているディスク (CD-Extra、CD-DAとMP3/WMAが混在したディスクなど) は、正常に再生できない場合があります。また、パケットライト方式で書き込まれたディスクは正常に再生できないことがあります。書き込みには、ディスクアットワンスをおすすめします。
- ディスクの特性により読み取れない場合があります。
- BD-RE*¹、DVD-RW、CD-RWは、挿入してから再生が始まるまで、通常のディスクと比べて時間がかかる場合があります。
- MP3/WMAファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。
- 片面2層のBD-R/RE*¹、DVD-R、また録画/編集に使用したレコーダーやディスクによっては、正常に再生できない場合があります。

* 1 **(FIX10BHD)**のみ

ディスクに記載されているマークについて

■ リージョンコード/リージョン番号

- 発売地域ごとにディスクとプレーヤーに割り当てられた番号です。ディスクとプレーヤーのリージョン番号が一致しないと再生できません。
- 製作者の意図により特定の地域・国で再生不可と認定されているディスクは、再生できない場合があります。
 - 本機のBlu-rayのリージョンコードは、「A」です。^{*1}
「A」(Aを含むもの)が表示されている、ディスクが再生できます。
 - 本機のDVDのリージョン番号は、「2」です。
「2」(2を含むもの)または「ALL」が表示されているディスクが再生できます。



■ 字幕言語数



■ 音声言語数



■ アングル数



■ 画面サイズ (横:縦の比)

映し出される映像のサイズは、画面比率の設定とディスク側の画面サイズによって異なります。

4:3の標準サイズ **(4:3)**

レターボックス **(LB)**

16:9のワイドサイズ

画面サイズが標準 (4:3) のときは、レターボックスで再生されます。 **16:9 LB**

画面サイズが標準 (4:3) のときは、パン&スキャンで再生されます。 **16:9 PS**

* 1 **(FIX10BHD)**のみ

再生できないディスク

- 8 cmディスク*¹
- NTSC以外の方式(PAL、SECAM方式など)で記録されたディスク
- ファイナライズされていないDVD-R/RW
- クローズセッションされていないCD-R/RW
- Ultra HD Blu-ray
- BDXL
- カートリッジ付きBD-RE (Ver.1.0)
- BD-ROM
- DVD-ROM
- DVD+R
- DVD+RW
- DVDオーディオ
- DVD-RAM
- CD-ROM
- フォトCD
- CD-G
- ビデオCD
- CDV
- SVCD
- SACD
- CD-EXTRA*²
- VSD
- CVD
- DualDisc*³
- DTS-CD*⁴
- HD DVD-Video
- HD DVD-R
- HD DVD-RW
- HD DVD-ROM
- HD DVD-RAM
- DIVX Videoディスク など

- *1 シングルアダプターも使用できません。無理に挿入しないでください。故障の原因となります。
- *2 ファーストセッションが音楽データ(CD-DA)の場合は、再生できます。
- *3 ディスクにキズが付いたり、ディスクが詰まって本機から取り出せなくなるおそれがあります。
- *4 **(FIX10BHD)**では再生できますが録音できません。

ディスクの取り扱い

■ 持ちかた

記録面に触れないように持つ



■ ディスクが汚れたら

水を含ませた柔らかい布で拭いたあと、乾いた布で拭く



内側から外側へ拭く

- 回転する方向に拭かないでください。
- ベンジンやシンナー、レコードクリーナー、静電防止剤を使用しないでください。

■ 置き場所について

以下の場所にディスクを置かないでください。

- 長時間直射日光の当たるところ(車のシート、ダッシュボードの上など)
- 暖房器具の熱が直接当たるところ
- 湿気やゴミ・ほこりの多いところ
- 腐食性のある外気に触れるところ
- 強い静電気・電氣的ノイズの発生しやすいところ

長時間使用しないときは

- 必ず本機から取り出してください。
- ゴミなどの汚れやキズ・そりなどを避けるため、必ずケースに入れて保管してください。

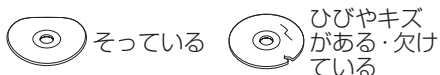
使用できないディスクについて

下記のディスクは使用しないでください。本機の内部で引っ掛かるなどして、ディスクの破損や本機の故障の原因となります。

ラベルなどを貼り付けたディスク



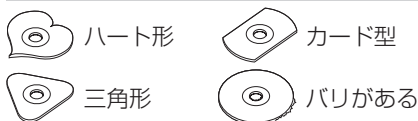
破損・変形したディスク



透明なディスク



円形以外の特殊な形状のディスク



SDメモリーカード・USBメモリーについて

SDメモリーカードについて

■ 本機で利用できるSDメモリーカード

※本書では特にことわりのない限り、下記のメモリーカードを「SDメモリーカード」と表記しています。ただし、microSDカードと記載している場合は、microSDXCカード/microSDHCカード/microSDカードを指します。miniSDカードと記載している場合は、miniSDカードを指します。

- SDXCメモリーカード(2 TB以下)*¹
- SDHCメモリーカード(32 GB以下)*¹
- SDメモリーカード(2 GB以下)
- microSDXCメモリーカード(2 TB以下)*¹*²
- microSDHCメモリーカード(32 GB以下)*¹*²
- microSDメモリーカード(2 GB以下)*²
- miniSDメモリーカード(2 GB以下)*²

*¹ SD規格準拠カードのみ使用できます。
 *² カードをSDメモリーカード挿入口へ挿入するときは、必ずカードに付属の専用アダプターを装着してください。取り出すときも、必ずアダプターごとに取り出してください。

■ SDメモリーカードを使用する前に

本機で初期化してください。(P.92)

または、パソコンで「SDフォーマッター」(フォーマットソフトウェア)を使って初期化してから使用してください。SDフォーマッターについては、下記サイトをご覧ください。

http://panasonic.jp/support/sd_w/download/

お知らせ

- 規格に準拠したSDメモリーカードでも、本機では使用できない場合があります。
- 無線LAN内蔵のSDメモリーカードは使用できません。

USBメモリーについて

■ 本機で利用できるUSBメモリー

- USBマストレージ規格準拠
- 容量:32 GB以下

- ファイルシステム:FAT16、FAT32
- USBコミュニケーションフォーマット:USB2.0
- パソコンと接続時、リムーバブルディスクとして認識されるもの
- USBメモリー本体にセキュリティがかかっていないもの

お知らせ

- 規格に準拠したUSBメモリーでも、本機では使用できない場合があります。正常に動作しないときは、接続したUSBメモリーを本機から取り外してください。

SDメモリーカード・USBメモリーの取り扱いについて

- 読み書きしているときに以下のことはしないでください。
 - ・SDメモリーカードを取り出す
 - ・USBメモリーを取り外す
 - ・機器の電源を切る
- 強い衝撃を与える、曲げる、落とす、水に濡らすなどしないでください。
- データ消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 長時間使用すると、SDメモリーカード・USBメモリーが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- SDメモリーカード・USBメモリーには寿命があり、長期間使用すると書き込みや削除などができなくなる場合があります。
- SDメモリーカード・USBメモリーが不良品の場合、正常に動作しない場合があります。
- SDメモリーカード・USBメモリーの端子部を手や金属で触れたり、汚したりしないでください。
- SDメモリーカードに書き込むときは、書き込み禁止スイッチを解除してください。
- SDメモリーカードに貼られているラベルをはがさないでください。
- SDメモリーカードにシールやラベルを重ねて貼り付けしないでください。
- SDメモリーカードは、本機から取り出したら、必ずケースに収納してください。

データ作成時の留意点

音楽データについて

音楽データの規格について

■ MP3

項目	内容
規格	MEPG-1 Audio Layer3、MPEG-2 Audio Layer3
拡張子	mp3、MP3
ビットレート	● MPEG-1 Audio Layer3 32 kbps/40 kbps/48 kbps/56 kbps/64 kbps/80 kbps/96 kbps/ 112 kbps/128 kbps/160 kbps/192 kbps/224 kbps/256 kbps/ 320 kbps/VBR ● MPEG-2 Audio Layer 3 8 kbps/16 kbps/24 kbps/32 kbps/40 kbps/48 kbps/56 kbps/ 64 kbps/80 kbps/96 kbps/112 kbps/128 kbps/144 kbps/ 160 kbps/VBR ※ free format bitstream/forbiddenは非対応
ビットレート	● MPEG-1 Audio Layer3 32 kHz/44.1 kHz/48 kHz ● MPEG-2 Audio Layer3 8 kHz/11.025 kHz/12 kHz/16 kHz/22.05 kHz/24 kHz
サンプリング周波数 チャンネル	2 CH/1 CH (Stereo/Joint Stereo/Dual Channel/Single Channel)
タグ情報	ID3 タグ Ver.1 (Ver.1.0/Ver.1.1)、ID3 タグ Ver.2 (Ver.2.2/Ver.2.3/ Ver.2.4) : タイトル、アーティスト名、アルバム名

■ WMA

項目	内容
規格	Microsoft Windows Media Audio Decoder Ver.8/Ver.9 std/Ver.9 Lossless/Ver.10 pro 2 CH 準拠
拡張子	wma、WMA
ビットレート	CBR : 5 kbps ~ 320 kbps VBR : Peak 384 kbps
サンプリング周波数 チャンネル	8 kHz/11.025 kHz/16 kHz/22.05 kHz/32 kHz/44.1 kHz/48 kHz 2 CH、 1 CH(Stereo/Mono)
タグ情報	WMA タグ : タイトル、アーティスト名、アルバム名

■ AAC

項目	内容
規格	MPEG-4/AAC LC(Low Complexity)、MPEG-2/AAC LC(Low Complexity)、 HE-AAC Ver.1、HE-AAC Ver.2、Enhanced Low Delay AAC
拡張子	aac、AAC、m4a、M4A ※ iTunes以外で作成されたファイルは動作保証外 ※ DRM 認証つきファイルは対象外
ビットレート	8 kbps ~ 320 kbps/VBR
サンプリング周波数	8 kHz/11.025 kHz/12 kHz/16 kHz/22.05 kHz/24 kHz/32 kHz/ 44.1 kHz/48 kHz
チャンネル	2 CH、1 CH(Stereo/Mono)
タグ情報	AAC タグ、ID3 タグ Ver.1 (Ver.1.0/Ver.1.1)、ID3 タグ Ver.2 (Ver.2.2/ Ver.2.3/Ver.2.4) : タイトル、アーティスト名、アルバム名

■ FLAC

項目	内容
規格	FLAC (Free Lossless Audio Codec)
拡張子	flac
量子化ビット	16 bit/24 bit
ビットレート	最大 9 216 kbps
サンプリング周波数	16 kHz/22.05 kHz/24 kHz/32 kHz/44.1 kHz/48 kHz/88.2 kHz/ 96 kHz/176.4 kHz/192 kHz
チャンネル	Stereo/Mono
タグ情報	タイトル、アーティスト名、アルバム名

■ WAV

項目	内容
規格	RIFF waveform Audio Format
拡張子	wav
量子化ビット	16 bit/24 bit
サンプリング周波数	8 kHz/11.025 kHz/16 kHz/22.05 kHz/24 kHz/32 kHz/44.1 kHz/ 48 kHz/88.2 kHz/96 kHz/176.4 kHz/192 kHz

- m3u/MP3i フォーマット/MP3 PRO フォーマット/ディエンファシスには対応していません。
- WMA Voiceには対応していません。
- DRM (デジタル著作権管理) には対応していません。
- 著作権保護された音楽ファイル (SD-Audio 規格など) は再生できません。
- 2チャンネルを超えるチャンネルを持つ音楽データは再生できません。
- ID3 タグバージョン 1、バージョン 2 が混在する MP3 ファイルの場合、バージョン 2 のタグを優先します。
- WAV ファイルは LPCM (整数型) に対応しています。AIFF フォーマット/WAVE64 フォーマット/RF64 フォーマット/ADPCM フォーマット等には対応していません。
- FLAC ファイルは 1 024 から 4 608 のブロックサイズに対応しています。

お知らせ

- ディスク内のファイルをチェックしている間、音は出ません。
- ファイルのチェックを早く終わらせるために MP3/WMA/AAC/FLAC/WAV ファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。
- エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。
- MP3/WMA/AAC/FLAC/WAV ファイルの作成の詳細はエンコーダソフトや使用するオーディオ機器の説明書を参照してください。
- MP3/WMA/AAC/FLAC/WAV ファイルの作成ソフトやテキスト編集ソフト、ライティングソフトやその設定によっては正規のフォーマットと異なるファイル、ディスクが作成される場合があり、テキスト情報表示や再生ができない場合があります。クローズセッションしていないディスクは再生できません。
- 再生できないファイルがある場合、そのファイルはスキップします。(再生しません。)
- 不正なファイル (例えば MP3 以外のファイルに“MP3”の拡張子を付けたファイル) は、誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。音楽データ以外のファイルに音楽データの拡張子を付けないでください。MP3/WMA/AAC/FLAC/WAV 以外の形式のファイルは動作を保証していません。

再生可能なサンプリング周波数、ビットレートについて

- 32 kHz以下のサンプリング周波数のMP3/WMA/AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
- 64 kbps以下のビットレートで再生されたMP3/WMA/AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
- 一般的にビットレートが高くなるほど音質は良くなります。一定の音質で音楽を楽しんでいただくためにはMP3では128 kbps以上、WMAではできるだけ高いビットレートで記録されたファイルの使用をおすすめします。
- フリーフォーマット・可逆圧縮フォーマットには対応していません。
- 音楽配信サイトで入手できる楽曲は著作権保護がかけられているものがあります。著作権保護された楽曲は有料・無料にかかわらず本機では再生できません。

音楽ファイルの再生について

- ハイレゾ品質で音楽を再生するには本機からスピーカーまですべてハイレゾ対応製品でカーオーディオシステムを構成することをお勧めします。

- 極端にファイルサイズの大きいファイル、小さいファイルは正常に再生できないことがあります。

- リストに表示される順番はメディアに書き込まれた順となります。メディアに書き込む手順によってはお客様が想定している順とは異なった順で表示されることがあります。

※ 正しい順番で表示するには、ファイルの先頭に“001～254”など番号をつけてパソコンで期待する順番(名前順)などに並べ、フォルダごと一度にメディアに書き込むことをおすすめします。メディア上で番号を編集しても表示される順番は変わりません。

ジャケット写真について

3 MB以下のJPEG/PNG/BMP形式の画像に対応しています。

他の形式の場合、正常に表示できません。

- 音楽ファイルに付けられている画像データのサイズや解像度が大きい場合、正常に再生や表示ができなかったり、音飛びの原因となる場合があります。
- 130×130ピクセル未満の画像は表示エリアより小さく表示されます。
- 1つのファイルに複数の画像のジャケット写真をファイルに登録してある場合、正常に表示できない場合があります。

動画データについて

本機は、SDメモリーカードまたはUSBメモリーに保存した動画データを再生できます。

動画データの規格について

■ コンテナフォーマット

- MP4

項目	内容
拡張子	mp4、m4v
映像コーデック	MPEG-4(ISO/IEC 14496 Part.2)、H.264/MPEG-4 AVC
音声コーデック	MP3、AAC (規格の詳細は音楽データと同じ (P.117))

- AVI

項目	内容
拡張子	avi
映像コーデック	MPEG-4(ISO/IEC 14496 Part.2)、H.264/MPEG-4 AVC、VC-1
音声コーデック	MP3、AAC、WMA (規格の詳細は音楽データと同じ (P.117))

● MKV

項目	内容
拡張子	mkv
映像コーデック	MPEG-4(ISO/IEC 14496 Part.2)、H. 264/MPEG-4 AVC、VC-1
音声コーデック	MP3、AAC（規格の詳細は音楽データと同じ（P.117））

● ASF・WMV

項目	内容
拡張子	asf、wmv
映像コーデック	H.264/MPEG-4 AVC、VC-1
音声コーデック	WMA（規格の詳細は音楽データと同じ（P.117））

■ 映像コーデック詳細

● H.264/MPEG-4 AVC

項目	内容	
プロファイル / レベル	BaselineProfile/3、MainProfile/3.1	
最大解像度	720 × 480	1 280 × 720
最大ビットレート	10 Mbps	14 Mbps
最大フレームレート	30 fps	30 fps

● MPEG-4(ISO/IEC 14496 Part.2)

項目	内容	
プロファイル / レベル	SimpleProfile/5	
最大解像度	720 × 480	720 × 576
最大ビットレート	8 Mbps	8 Mbps
最大フレームレート	30 fps	25 fps

● VC-1

項目	内容		
プロファイル / レベル	AdvancedProfile/2	MainProfile/ Medium	SimpleProfile/ Medium
最大解像度	1 280 × 720	720 × 480	352 × 288
最大ビットレート	20 Mbps	10 Mbps	384 kbps
最大フレームレート	30 fps	30 fps	15 fps

- ビットレートが低いと、十分な画質・音質を得られない場合があります。
- 可変ビットレート（VBR）で作成されている場合、部分的にビットレートが高くなる場合があります。
そのような部分では音飛びやコマ落ちなどが起こる場合があります。
- 上記の仕様から外れたファイルは、再生できなかったり、音飛びする可能性があります。
- 動画ファイルの作成方法・エンコードソフトなどによっては再生できなかったり、音声・映像が乱れる場合があります。
- 著作権保護された動画ファイル（SD-Video 規格など）は再生できません。

BLUETOOTHについて

■ 使用周波数帯

本機では、BLUETOOTH接続中は、2.4 GHz帯の周波数帯を使用します。他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあり、その機器との電波干渉を防ぐため、下記事項に注意してください。

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどでの移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します。）があります。

- BLUETOOTHを使う前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認する。
- 万一、「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が生じた場合や、何かお困りのことが起きたときは電波の発射を停止した上、お買い上げの販売店または「サービスご相談窓口」へご相談ください。（P.143）

■ 機器設定（無線局の免許は不要です。）

本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けています。ただし、次のことは、法律で罰せられることがあります。

- 分解・改造をする
- 製品銘板をはがす

■ 使用可能距離

見通し距離約10 m以内でご使用ください。間に障害物がある場合や、建物の構造などにより、使用可能距離は短くなります。

■ 他機器からの影響

- 本機と他のBLUETOOTH対応機器や2.4 GHz帯を使用する機器の距離が近いと、電波干渉により、正常動作しない、雑音の発生など、不具合が生じる可能性があります。
- 放送局などが近く電波が強すぎる場合も同じです。

■ 使用制限

- すべてのBLUETOOTH対応機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
- ワイヤレス通信するBLUETOOTH対応機器は、Bluetooth SIG, Inc.の定める認証が必要です。ただし、認証されていても対応機器の仕様や設定により、接続できない場合や、操作方法・表示・動作が異なる場合があります。
- ワイヤレス通信時は、使用環境などによりセキュリティが十分でない場合がありますのでご注意ください。（BLUETOOTH標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しています。）
- ワイヤレス通信時に発生したデータや情報の漏洩について、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

■ 用途制限

- 本機のBLUETOOTHの各機能を使用するには、BLUETOOTH対応機器が下記のプロファイルに対応している必要があります。
 - BLUETOOTH Audio
 - Advanced Audio Distribution Profile (A2DP)
 - Audio/Video Remote Control Profile (AVRCP)
 - ハンズフリー通話
 - Hands-Free Profile (HFP)
 - 電話帳・発着信履歴の転送および自動転送
 - Phone Book Access Profile (PBAP)
 - 「NaviCon®」
 - Serial Port Profile (SPP)
- BLUETOOTH対応機器の仕様や設定により、接続できない場合や、操作方法・表示・動作が異なる場合があります。
- 電波の状態によっては、音が途切れたり雑音が入ったりする場合があります。

Wi-Fiについて

- 本機の無線機能の使用周波数帯は2.4 GHz帯です。変調方式としてDS-SS変調方式、OFDM変調方式を採用しています。想定干渉距離は40 m以下です。本機は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。
- 同じ周波数を使用している他の無線機器との電波干渉を防ぐため、下記事項に注意してください。

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどでの移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略します。)が運用されています。

- 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本機から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合は、すみやかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。
- 何かお困りのことが起きたときは、お買い上げの販売店へご相談ください。
- 本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けています。
以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。
 - ・本機の分解や改造をする
 - ・本機に貼り付けてある製品銘板をはがす
- 本機は、電気通信事業者(移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダーなど)の通信回線(公衆無線LANを含む)に直接接続することはできません。本機をインターネットに接続するときは、必ず電気通信事業法の認定を受けた端末設備(ルーター、回線端末装置など)を経由して接続してください。
- 本機はすべてのWi-Fiテザリング対応スマートフォンとのワイヤレス接続を保証するものではありません。

- 接続する機器はWi-Fi Alliance®の定める規格に適合し、認証を取得している必要があります。規格に適合していても、接続する機器の特性や仕様によっては接続できない、表示や動作が異なる、などの場合があります。
- 使用する環境(車内および車両周辺の環境)によっては、通信速度が低下するなど通信の状態が不安定になることがあります。
- 障害物(壁や床など)があると、通信の状態が不安定になったり接続できない場合があります。
- 電波の状態によっては、音が途切れたり雑音が入ったりする場合があります。
- BLUETOOTH機能と同時に使用すると、それぞれの通信の状態(接続や音声など)が不安定になることがあります。
- スマートフォンの電池残量低下により、Wi-Fi通信の状態が不安定になることがあります。
- Wi-Fiエリア内から出た場合は、通信が切断されます。
- 使用環境などによりセキュリティが十分でない場合がありますので、ご注意ください。
- 通信時に発生したデータや情報の漏洩について、当社は一切の責任を負いかねます。

■ Wi-Fiの規格とセキュリティ方式について

対応規格
IEEE 802.11b/g/n (2.4 GHzのみ)
対応セキュリティ方式
WEP
WPA 2™ - Personal
WPA 3™ - Personal

ナビゲーションシステムとは

ナビゲーションシステムとは、地図上に目的地や目的地までのルートに登録することにより目的地までの道案内をするシステムのことです。

自転車位置測位の仕組み

本機では、GPS衛星に加え「みちびき」の電波を受信して、自転車の位置を測位します。

■ GPS

(Global Positioning System)

アメリカ国防総省が配備を進めた人工衛星を利用した位置検出システムです。高度21 000 kmの宇宙にある3つ以上の人工衛星からの電波を受信し、三角測量の原理を利用して測位を行います。

■ 現在地を測位するまでの時間

本機を最初にご使用になるときや、長時間ご使用にならなかったときは、自転車の現在地を測位するまでに、5分程度かかります。また、通常は見晴らしの良い場所(GPS衛星の電波をさえぎる建物や樹木のない場所)で、2分程度で測位します。電源を入れてすぐに走行すると測位するまでの時間が長くなるため、見晴らしの良い場所で測位ができるまで停車していることをおすすめします。

■ GPS信号を受信しにくい場所

次のような場所では受信できないことがあります。

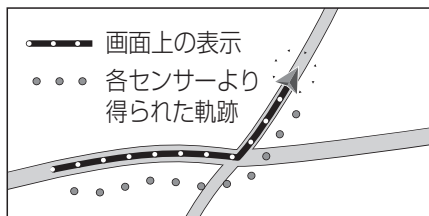
- トンネルの中
- 高架道路の下
- 高層ビルなどの間
- 樹木の間

■ 準天頂衛星システム「みちびき」

内閣府により整備が進められている、日本の衛星測位システムです。GPSを補い、より高精度で安定した測位を行います。

■ マップマッチング

GPSやジャイロなどによる測位には誤差があるため、現在地が道路以外の場所になる場合があります。マップマッチングは、誤差を補正して地図データ上の道路に自転車マークを表示させる機能です。



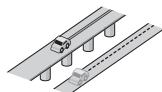
走行中の道路を誤って認識したとき(道路切換)

高速道路と一般道路が近くにある場合、自転車マークが実際と異なる道路に表示されることがあります。その場合は、道路切り換えを行うと自転車位置を修正できることがあります。

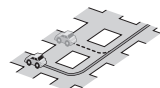
自車位置精度について

■ 走行環境やGPS衛星の状態により、自車マーク位置が正しく表示されない場合があります。

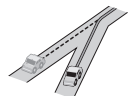
- 高速道路と一般道路が近くにある



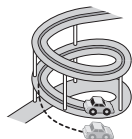
- 碁盤目状の道路を走行している



- 角度の小さなY字路を走行している



- らせん状の道路などを走行している



そのまましばらく走行すると、マップマッチングやGPS衛星からの情報を利用して自車マーク位置は自動的に補正されます。

■ 下記の場合も、自車マーク位置が正しく表示されない場合があります。

- エンジンスイッチON(電源ON)後、GPS信号を受信できるまで
- 本機を取り付けて初めて走行するとき
- タイヤを交換したとき、特に応急用タイヤを使用時
- フェリー、車両運搬車などで移動したあと
- 勾配の急な山岳などを走行しているとき
- 直線路を長い間走行したあとに、右左折したとき
- 道幅の広い道路で蛇行運転したとき

- 雪道・砂利道などの滑りやすい道路を走行しているとき、またはタイヤチェーン等を装着して走行しているとき
- 地下駐車場や立体駐車場で、らせん状の道路を走行したあと一般道に出たとき
- エンジンスイッチOFF(電源OFF)状態で、ターンテーブルなどで旋回したとき
- (車種によっては、低速(数km/h)で走行時に車速信号を検出できないことがあるため) 駐車するときや渋滞区間を走行中など、低速での走行状態が続くとき

■ GPS衛星はアメリカ国防総省により管理されており、故意に位置精度を落とすことがあります。このようなときは、自車マークがずれる場合があります。

■ 3Dセンサーによる高架判定について

自車が都市高速に入ったときなど車の上下移動を3Dセンサーで感知して、自車位置を測位します。(高架判定)

- 3Dセンサーによる高架判定は、センサーの補正が完了後に動作可能です。車両信号情報画面で「3D」の学習レベルの状態を確認してください。
- 高速道路など一定速度で走行が続くような場合、補正完了まで50 km程度の走行を要する場合があります。
- 道路状況や走行状況により正しく高架判定できない場合があります。(道路の傾斜がゆるやか、発進・停車の繰り返し、急ハンドルによる車の横揺れなど)
- 下記の場合には、必ず車両信号情報画面でセンサー学習値初期化を選んでください。
 - ・別の車に載せかえた
 - ・取付位置を変更した
- 3Dセンサーの高架判定は、地図データと3Dセンサーからの情報で行います。(一部地域のみ)

逆走検知警告について

■ 下記のような場合は、逆走していても警告案内を行わないことがあります。

- 本機の地図に収録されていない道路、または形状が変わった道路を走行しているとき
- 形状が複雑なIC付近を走行しているとき
- スマートICのあるSA・PA、その他特定のSA・PA内を走行しているとき
- 本機が故障している、または車両信号情報が正常でないとき
- GPSアンテナ上に障害物があり、GPS信号が正常に受信できていないとき
- トンネル、高架橋、高層ビルなどの遮蔽物により、GPS信号が正常に受信できていないとき
- 本機の地図画面上の自車マークの位置と、実際の自車位置が違うとき
- 直前に自車位置、または方位の補正が行われたとき
- 急なUターンをしたとき
- 周囲に分岐車線・合流車線の無い本線上でUターンしたとき
- 以前、逆走検知警告が表示された地点で「ここでは案内しない」のチェックボックスをONにしていた場合

■ 下記のような場合は、逆走していなくても警告案内を行うことがあります。

- 本機の地図に収録されていない道路、または形状が変わった道路を走行しているとき
- 本機の地図画面上の自車マークの位置と、実際の自車位置が違うとき
- 本機が故障している、または車両信号情報が正常でないとき
- 駐車スペースがある料金所、または手前でUターン可能な料金所でUターンをしたとき
- 警察や道路管理会社の誘導によりUターンをしたとき

ルート探索・ルート案内について

探索されたルートは参考ルートであり、お客様の意図したものとは違う場合があります。

■ 次のような場合は、故障ではありません。

- 通行不可能な歩道、階段などを含めたルートを作ることがあります。
- 新道の開通などにより通行できない場合があります。
- 点線で表示されている道路は、地図データ作成時点での建設予定道路のためルート探索できません。
- 実際に通行できない道を表示する場合があります。
- 再探索してもルートが変わらない場合があります。
- ルートが渋滞している場合があります。
- 目的地まで道路がなかったり、細い道しかない場合は、目的地から離れた所までしかルート表示しない場合があります。
- 高架下の一般道路の案内を行う場合があります。逆の場合もあります。
- Uターンするルートを表示する場合があります。
- 交差点で曲がるのに、案内されない場合があります。
- 交差点名称が案内されない場合があります。
- 右左折案内が実際の道路形状と異なる案内をすることがあります。
- 案内ルートを外れて手前の交差点等で曲がったときなどに音声案内される場合があります。
- 方面案内が表示/案内されない高速道路・有料道路があります。
- 交差点拡大図が実際の道路形状と合わないことがあります。
- 案内距離が多少ずれることがあります。

電話番号検索の精度について

検索される場所によっては、丁目・番地・号の情報(ピンポイント情報)がないため、正確に検索できないことがあり、検索された場所と実際の場所が離れている場合があります。

名称・ジャンル・周辺施設検索の精度について

検索される場所によっては、丁目・番地・号まで正確に検索できないことがあり、検索された場所と実際の場所が離れている場合があります。

マップコードとは

株式会社デンソーが、カーナビゲーションで簡単に目的地を設定できるようにするために開発した、日本全国のあらゆる場所を最大13桁の数字で表したものです。各種情報機器や各種情報メディアで簡単に位置情報を伝達したり、住所や電話番号で表せない場所を特定することができます。詳しくは、マップコード公式サイトをご参照ください。

<https://www.denso-communications.jp/mapcode/>

ETC2.0(電波ビーコン5.8 GHz)について

電波ビーコン5.8 GHzを受信するには、別売のETC2.0車載器が必要です。

■ 電波ビーコン5.8 GHzの受信について

下記のような状況では、受信できない場合や、誤って受信してしまう場合があります。

- 大型車と並走
- 高速高架道路の下(高速高架下の一般道を走行している場合に、高速道路の電波ビーコン5.8 GHzを受信してしまう場合があります。)
- 雪などの悪天候
- フロントガラスの汚れ

お知らせ

- 赤外線反射ガラスまたは電波不透過ガラス装着車両では、電波ビーコン5.8 GHzの受信ができないことがあります。取り付けの際は販売店にご相談ください。

FM多重/光ビーコンについて

光ビーコンを受信するには、別売の光ビーコン対応ETC2.0車載器が必要です。

■ FM多重放送の受信について

下記のような場所では受信できない場合があります。

- トンネルの中
- 高架道路の下
- 高層ビルなどの間
- サービスエリア外

お知らせ

- FM多重の場合、一定周期で情報が更新されるので表示するデータが揃うのに時間がかかる場合があります。(約3分)
- 車のエンジンをかけた(またはACCをONにした)あと、しばらくは情報が表示されません。

■ 光ビーコンの受信について

下記のような状況では、受信できない場合や、誤って受信してしまう場合があります。

- 雪などの悪天候
- アンテナ受信部の汚れ
- フロントガラスの汚れ
- アンテナの上に物を置く
- 他の車両と並走して通信エリアに進出したとき
- 太陽光がアンテナ受光面に当たっているとき

お知らせ

- 赤外線反射ガラス装着車両では、光ビーコンの受信ができないことがあります。取り付けの際は販売店にご相談ください。

VICSについて

- VICSの車載機の動作、その他に関するもの
- VICSのサービスエリアに関するもの
- その他、上記に類するもの

これらの内容は、お買い上げの販売店またはお近くの「サービスご相談窓口」にお問い合わせください。

VICSやTSPSの概念、計画、または表示された情報内容に関することは、VICSセンターへお問い合わせください。

(ただし、地図表示型の表示内容は除く)

VICSセンター

受付時間 9:30~17:45

(土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く)

電話番号 0570-00-8831

● 全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。

● PHS、IP電話等からはご利用いただけません。

FAX番号 03-3562-1719(24時間受付)

VICS削除リンクに関する告知

VICSによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)を地図上に表示するためあらかじめ本機に情報提供用の単位(以下、VICSリンクと称します)を設定しています。道路形状や交通施設の変化にともない、より正確な情報を提供するため、必要に応じ、毎年、VICSリンクの追加・変更が行われます。過去からのVICSリンクの情報を永続的に提供することは容量などの理由で不可能です。追加・変更が行われた場合、該当のVICSリンクについて3年間は情報提供が行われますが、それ以降は、情報提供が打ち切られることになっております。

このため、VICSによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)の表示は「本製品」発売後、3年程度で一部の道路において情報が表示されなくなることがあります。

VICS情報有料放送サービス契約約款

第1章 総則

(約款の適用)

第1条 一般財団法人道路交通情報通信システムセンター(以下「当センター」といいます。)は、放送法(昭和25年法律第132号)第147条の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款(以下「この約款」といいます。)を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第2条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第3条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使います。

- (1) VICSサービス：当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
- (2) VICSサービス契約：当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約
- (3) 加入者：当センターとVICSサービス契約を締結した者
- (4) VICSデスクランブラー：FM多重放送局からのスクランブル化(攪乱)された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章 サービスの種類等

(VICSサービスの種類)

第4条 VICSサービスには、次の種類があります。

- (1) 文字表示型サービス：文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (2) 簡易図形表示型サービス：簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (3) 地図重畳型サービス：車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICSサービスの提供時間)

第5条 当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章 契約

(契約の単位)

第6条 当センターは、VICSデスクランブラー1台毎に1のVICSサービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第7条 VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域(全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内)とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第8条 VICSサービスは、VICS対応FM受信機(VICSデスクランブラーが組み込まれたFM受信機)を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICSサービスの種類の変更)

第9条 加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第10条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第11条 当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。

- (1)加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
- (2)加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第12条 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。

- 2 第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章 料金

(料金の支払い義務)

第13条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章 保守

(当センターの保守管理責任)

第14条 当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

第15条 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。

- 2 当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章 雑則

(利用に係る加入者の義務)

第16条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)

第17条 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。但し、当センターは、当該変更においても、変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

- 2 VICSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

[別表]

視聴料金 330円(税込み)

ただし、車載機購入価格に含まれております。

令和2年12月1日改訂

さくいん

あ行

あかさたなタッチキー	37
頭出し	51、54、55、56、57、 61、67、68、70
アングル	51、53
安全・安心運転サポート	27、27
案内音声設定	91
案内音量の車速連動	91
案内時のAudio音量消音	91
案内出力スピーカー	91
案内スタート	38
案内ストップ	38
案内ルート	26
一時停止	50、53、70
一時停止案内	31
一般道速度超過警告	31
色/10キー	51
エリアモード	47
エンター	54
オーディオ情報・設定メニュー	18
音楽CD	54
音楽データ	117
音質	58
音声	51、53
音声認識	79
音量	14

か行

カーソル	51、53
カーソルパネル	46
カード入れ忘れ案内	90
カード抜き忘れ案内	90
カーブ案内	31
ガイダンス	30
カメラ設定	86
機器登録	72
規制	31
季節規制考慮	30
逆走注意アラーム	28
携帯電話切替	77
経由地マーク	26
現在地画面	23
検索結果画面	37
広域	32
後席用モニター	84
交通情報	48
合流案内	31
ここに行く	26、38、40

さ行

サーチ	52、54
再生時間	51、53
残距離/到着時刻表示	26
市街地図での盗難多発地点表示案内	91
事故多発地点案内	31
自転車位置	14
自転車マーク	23、31
事象・規制マーク	36
システム情報・設定メニュー	18
施設名	25
自宅	16
指定方向外禁止案内	31
自動録音	58
字幕	51、53
ジャケット写真	67、119
車種設定	15
住所	39
渋滞回避	30
渋滞情報	36
周波数	47
周辺検索	26
縮尺	32
縮尺表示	23
出荷状態に戻す	92
手動録音	58
主/副	51
消音	15
詳細	32
ショートカット	17
初期化	21
新旧ルート比較画面を表示	88
信号情報活用運転支援システム(TSPS)	84
数字パネル	46
スクロール	32
スタイル切替	51
ステータスバー	24
ストラダチューン	30
スマートインター考慮	30
スマートフォン連携	78
スロー再生	51、54
制限速度案内	31
セキュリティ	21
セキュリティコード	21
セキュリティ設定	91
設定	25
選局パネル	45
選曲モード	62、70
全曲録音	59
全候補初期化	39
選択曲録音	59
操作音	90

た行	
タイトルメニュー.....	52
タイトルリスト.....	50、53
タイム.....	51
ダイヤル.....	77
ダイレクトボタン設定.....	91
立寄る.....	26
探索条件.....	41
端末情報.....	81
地域.....	45
地図色.....	31
地図更新.....	82
地図モード画面.....	25
地点登録.....	26
地点編集.....	26
地点メニュー.....	26
着信履歴.....	77
チャンネルリスト.....	45
駐車場マーク.....	36
停止.....	50、53
ディスク.....	48、113
データベース再検索.....	64
データ放送.....	46
デジタルテレビ初期設定.....	45
テレビ.....	45
電話帳.....	77
電話に出る.....	76
電話を切る.....	76
動画.....	67
動画データ.....	119
到着予想時刻の計算方法.....	88
盗難多発地点.....	22
盗難多発地点 表示案内.....	91
道路切換.....	123
登録地.....	42
トーン.....	77
時計表示.....	90
トップメニュー.....	16、50、52
トップメニューカスタマイズ.....	20
ドライブレコーダー.....	87

な行	
ナビ案内音.....	15
ナビ情報・設定メニュー.....	19
ナビ設定.....	88
ノースアップ.....	33
は行	
ハイウェイモードの表示.....	89
発信履歴.....	77
早送り.....	51、54、55、56、57、 61、67、68、70
早戻し.....	51、54、55、56、57、 61、67、68、70
ハンズフリー.....	76
ビーコン受信音.....	90
ビーコン割込み.....	90
ビーコン割込み設定.....	90
ビデオカメラ.....	87
標識拡大表示.....	27
フォルダ.....	56
副映像.....	52
踏切案内.....	31
プリセットメモリー.....	47
プレイリスト.....	50、53
分岐案内頻度.....	30
ヘディングアップ.....	33
方位マーク.....	23、33
方面看板.....	23
方面看板の表示.....	89
ポップアップメニュー.....	50
ま行	
マップ.....	31
マップコード.....	126
右地図表示.....	34
右画面表示.....	25
道幅優先.....	30
ミュート.....	15、77
名称.....	39
目的地追加.....	41
目的地方向直線表示.....	26
目的地方向を表示.....	88
目的地マーク.....	26
文字サイズ.....	31

や行

ユーザー情報設定.....	46
郵便番号.....	45
有料道速度超過警告.....	31
有料道路優先.....	30

ら行

ラジオ.....	47
ランダム.....	55、56、57、61、67、 68、70
ランチャー.....	25
ランドマーク.....	23
リアビューカメラ.....	85
リジューム.....	52、53
リターン.....	54
リピート.....	55、56、57、61、67、 68、70
ルート.....	30、37、38
ルート学習.....	30
ルート学習結果の初期化.....	88
ルート消去.....	38
ルート案内に関する設定.....	88
ルート編集.....	40
レーン案内.....	31
録音.....	58
録音管理.....	58

数字・記号・アルファベット

10キー.....	54
50m市街地図表示.....	88
AAC.....	67
Audio ON/OFF.....	44、44
Audio画面中の案内割込み.....	89
AVCHD.....	50
AVCREC.....	50
BDV.....	50
BDMV.....	50
BLUETOOTH Audio.....	57
BLUETOOTH.....	71、72、121
DVD-Video.....	52
DVD-VR.....	52
ETC2.0車載器.....	84
ETC2.0受信音.....	90
ETC2.0割込み設定.....	90
ETC音声案内.....	90
ETCレーンの表示.....	89
FLAC.....	67
Gracenote®.....	64
HDMI.....	87
iPod.....	69
MEMORY MUSIC.....	61
microSDメモリーカード.....	49
MP3.....	56、67
NaviCon®.....	79
SA/PAマーク.....	36
SDカードの初期化.....	92
SDメモリーカード.....	66、116
TVの初期化.....	92
USBメモリー.....	66、116
VICS.....	31
VICS一般道情報表示.....	31
VICS考慮.....	30
VICS渋滞・混雑情報表示.....	31
VICS渋滞なし情報表示.....	31
VICS情報マーク.....	36
VICS タイムスタンプ.....	23、35
VICS駐車場情報表示.....	31
VICS統計情報表示.....	31
VICS範囲表示.....	31、36
VICS有料道情報表示.....	31
WAV.....	67
WMA.....	56、67

商標などについて

- Microsoft, Windows, Windows Media and .NET Framework are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.
 - This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft.
 - 「VICS」および「VICS WIDE」は、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。
 - 「ETC」、「ETC2.0」は、一般財団法人ITSサービス高度化機構の登録商標です。
 - ITSスポットは、国土交通省の登録商標です。
 - ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Dolby Audio、およびダブルD記号はドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションの商標です。
 - For DTS patents, see <http://patents.dts.com>. Manufactured under license from DTS, Inc. (for companies headquartered in the U.S./Japan/Taiwan) or under license from DTS Licensing Limited (for all other companies). DTS, Digital Surround, DTS 2.0 + Digital Out, and the DTS logo are registered trademarks or trademarks of DTS, Inc. in the United States and other countries. © 2020 DTS, Inc. ALL RIGHTS RESERVED.
 - SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
 - BLUETOOTH®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、パナソニック株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。
 - “DVD Logo” は、DVDフォーマットロゴライセンスング株式会社の商標です。
 - Blu-ray Disc™、Blu-ray™、Blu-ray 3D™、BD-Live™、BDXL™、AVCREC™、Ultra HD Blu-ray™及びその関連のロゴは、ブルーレイディスクアソシエーションの商標です。
 - Java is a registered trademark of Oracle and/or its affiliates.
 - “AVCHD” および “AVCHD” ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
 - HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。
 - “ゼンリン” および “ZENRIN” は、株式会社ゼンリンの登録商標です。
 - “タウンページ” は、日本電信電話株式会社の商標です。
 - 「マップコード」および「MAPCODE」は、株式会社デンソーの登録商標です。
 - NaviConは株式会社デンソーの登録商標です。
 - Android は、Google LLC の商標です。
 - Wi-Fi®、Wi-Fi Protected Access® (WPA) はWi-Fi Alliance® の登録商標です。WPA2™、WPA3™はWi-Fi Alliance®の商標です。
 - 本製品は、MPEG-4 Patent Portfolio License、AVC Patent Portfolio License 及びVC-1 Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
 - ・画像情報をMPEG-4 Visual、AVC、VC-1 規格に準拠して（以下、MPEG-4/AVC/VC-1ビデオ）を記録すること。
 - ・個人的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4/AVC/VC-1ビデオ、または、ライセンスをうけた提供者から入手したMPEG-4/AVC/VC-1ビデオを再生すること。
- 詳細についてはMPEG LA, L.L.C. (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。

- Use of the Made for Apple badge means that an accessory has been designed to connect specifically to the Apple products identified in the badge, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.
- Please note that the use of this accessory with an Apple product may affect wireless performance.
- Apple, iPhone, iPod, iPod touch, and Lightning are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. The trademark "iPhone" is used in Japan with a license from Aiphone K.K.
- 本製品の説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは、各社の登録商標または商標です。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。



F1X10BHDのみ



その他

ソフトウェア、およびオープンソースソフトウェアについて

本製品には、以下のソフトウェアが含まれています。

- (1) パナソニック株式会社(「パナソニック」)により、またはパナソニックのために開発されたソフトウェア
- (2) パナソニックにライセンスされた第三者所有のソフトウェア
- (3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2(「GPL」)に基づいてライセンスされたソフトウェア
- (4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1(「LGPL」)に基づいてライセンスされたソフトウェア
- (5) GPL、LGPL以外に基づいてライセンスされたオープンソースソフトウェア

■上記(3)、(4)に分類されるソフトウェアについては、それぞれ、以下のGPLおよびLGPL所定の条件をご参照ください。

GPL : <http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html>

LGPL : <http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html>

また、上記のGPL/LGPL ソフトに対応したソースコードは、以下のウェブサイトで、誰でも自由に入手することができます。

<http://car.panasonic.jp/oss/k01nfs91>

ブルーレイディスクプレーヤーのソフトウェア

<http://car.panasonic.jp/oss/b01qhs03>

■上記(5)に分類されるソフトウェアには、以下のウェブサイトに掲載のライセンス条件が適用されるソフトウェアを含む様々なオープンソースソフトウェアのプログラム(OSS)が含まれています。

<http://car.panasonic.jp/oss/k01nfs91>

ブルーレイディスクプレーヤーのソフトウェア

<http://car.panasonic.jp/oss/b01qhs03>

これらのOSSについてのライセンス条件その他の事項に関しては、以下のURLをご参照ください。

<https://panasonic.jp/car/navi/license/index.html>

■前記(2)に分類されるソフトウェアには、Oracle Java MEが含まれています。**(FIX108HD)**

このソフトウェアのユーザーを規定する契約条件については、以下のURLをご参照ください。

http://car.panasonic.jp/oss/b01qhs03/oracle_licence.htm

Oracle Java MEエンドユーザー使用許諾契約書(END USER LICENSE AGREEMENT)

BEFORE USING THIS IN-CAR BLU-RAY PRODUCT, PLEASE READ ALL OF THE FOLLOWING TERMS AND CONDITIONS OF THIS END USER LICENSE AGREEMENT ("Agreement") CAREFULLY. THIS AGREEMENT IS A LEGALLY BINDING CONTRACT BETWEEN END USER ("you") AND PANASONIC THAT SETS FORTH THE TERMS AND CONDITIONS THAT GOVERN YOUR USE OF ORACLE JAVA ME MEDIA PACK FOR CDC (the "program") IMPLEMENTED IN THIS IN-CAR BLU-RAY PRODUCT.

(1)Java Technology Restrictions. You are prohibited from creating, modifying, changing the behavior of classes, interfaces, or subpackages that are in any way identified as "Java", "Javax", "Sun" or similar convention as specified by Oracle in any naming convention designation.

(2)Trademarks and Logos. You shall acknowledge that Oracle owns the Java trademark and all Java-related trademarks, logos and icons including the Coffee Cup and Duke ("Java Marks") and shall agree to: (a) comply with the Java Trademark Guidelines at <http://www.oracle.com/us/legal/third-party-trademarks/index.html>; (b) not do anything harmful to or inconsistent with Oracle's rights in the Java Marks; and (c) assist Oracle in protecting those rights, including assigning to Oracle any rights acquired by you in any Java Mark.

(3)Third Party Code. You shall read additional copyright notices and license terms applicable to portions of the programs are set forth below.

=====

COMPONENTS

=====

The following software (or certain identified files distributed with the software) may be included in this product. Unless otherwise specified, the software identified in this file is licensed under the licenses described below. The disclaimers and copyright notices provided are based on information made available to Oracle by the third party licensors listed.

3DES

Des3Cipher - the triple-DES encryption method

Copyright (C) 1996 by Jef Poskanzer <jef@mail.acme.com>. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- 1.Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- 2.Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Visit the ACME Labs Java page for up-to-date versions of this and other fine Java utilities:
<http://www.acme.com/java/>

AES

Cryptix General License

Copyright (c) 1995-2005 The Cryptix Foundation Limited. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- 1.Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- 2.Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE CRYPTIX FOUNDATION LIMITED AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.

IN NO EVENT SHALL THE CRYPTIX FOUNDATION LIMITED OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

----- DES -----

DesCipher - the DES encryption method

@@ The meat of this code is by Dave Zimmerman <dzimm@widget.com>, and is:
Copyright (c) 1996 Widget Workshop, Inc. All Rights Reserved.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for NON-COMMERCIAL or COMMERCIAL purposes and without fee is hereby granted, provided that this copyright notice is kept intact.

WIDGET WORKSHOP MAKES NO REPRESENTATIONS OR WARRANTIES ABOUT THE SUITABILITY OF THE SOFTWARE, EITHER EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, OR NON-INFRINGEMENT. WIDGET WORKSHOP SHALL NOT BE LIABLE FOR ANY DAMAGES SUFFERED BY LICENSEE AS A RESULT OF USING, MODIFYING OR DISTRIBUTING THIS SOFTWARE OR ITS DERIVATIVES.

THIS SOFTWARE IS NOT DESIGNED OR INTENDED FOR USE OR RESALE AS ONLINE CONTROL EQUIPMENT IN HAZARDOUS ENVIRONMENTS REQUIRING FAIL-SAFE PERFORMANCE, SUCH AS IN THE OPERATION OF NUCLEAR FACILITIES, AIRCRAFT NAVIGATION OR COMMUNICATION SYSTEMS, AIR TRAFFIC CONTROL, DIRECT LIFE SUPPORT MACHINES, OR WEAPONS SYSTEMS, IN WHICH THE FAILURE OF THE SOFTWARE COULD LEAD DIRECTLY TO DEATH, PERSONAL INJURY, OR SEVERE PHYSICAL OR ENVIRONMENTAL DAMAGE ("HIGH RISK ACTIVITIES"). WIDGET WORKSHOP SPECIFICALLY DISCLAIMS ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTY OF FITNESS FOR HIGH RISK ACTIVITIES.

@@ The rest of the code is:

Copyright (C) 1996 by Jef Poskanzer <jef@mail.acme.com>. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- 1.Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- 2.Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Visit the ACME Labs Java page for up-to-date versions of this and other fine Java utilities:
<http://www.acme.com/java/>

----- JPEG library -----

The authors make NO WARRANTY or representation, either express or implied, with respect to this software, its quality, accuracy, merchantability, or fitness for a particular purpose. This software is provided" AS IS", and you, its user, assume the entire risk as to its quality and accuracy.

This software is copyright (C) 1991-1998, Thomas G. Lane.

zlib 1.1.3

@@ Acknowledgments:

Oracle gratefully acknowledges the contributions of Jean-loup Gailly and Mark Adler in creating the zlib general purpose compression library which is used in this product.

@@ Copyright notice:

(C) 1995-1998 Jean-loup Gailly and Mark Adler

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

- 1.The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
- 2.Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
- 3.This notice may not be removed or altered from any source distribution.

Jean-loup Gailly Mark Adler
jloup@gzip.org madler@alumni.caltech.edu

If you use the zlib library in a product, we would appreciate *not* receiving lengthy legal documents to sign. The sources are provided for free but without warranty of any kind. The library has been entirely written by Jean-loup Gailly and Mark Adler; it does not include third-party code.

If you redistribute modified sources, we would appreciate that you include in the file ChangeLog history information documenting your changes.

(4) Others.

- (i) You shall not install the programs separately and independently from this Blu-ray product.
- (ii) You agree not to rely on the future availability of any programs or services which Oracle will provide.

(5) ENTIRE AGREEMENT

You agree that this Agreement is the complete agreement pertaining to the subject matter hereof (including references to information contained in a URL) and this Agreement supersedes all prior or contemporaneous written or oral agreements or representations existing between you and Panasonic with respect to such subject matter. If any term of this Agreement is found to be invalid or unenforceable, the remaining provisions will remain effective. Panasonic's failure to enforce any right or provisions in this Agreement will not constitute a waiver of such provision, or any other provision of this Agreement.

■ Gracenoteについて

音楽認識技術と関連情報はGracenote®社によって提供されています。Gracenoteは、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、Gracenote®社のホームページwww.gracenote.com をご覧ください。

- Gracenote, Inc.提供のCDおよび音楽関連データ: copyright © 2000 - present Gracenote. Gracenote Software, copyright © 2000 - present Gracenote. 本製品およびサービスには、Gracenoteが所有する1つまたは複数の特許が適用されます。適用可能な一部のGracenote特許の一覧については、GracenoteのWebサイトをご覧ください。
- Gracenote, Gracenoteロゴとロゴタイプ、"Powered by Gracenote"ロゴは、米国およびその他の国におけるGracenote, Inc.の登録商標または商標です。

仕様

■ F1X10BHD F1X10HD

電源	
電源電圧	DC12 V (試験電圧 13.2 V) マイナスアース
消費電流	3.5 A 以下 (AUDIO OFF 時)
有機 EL ディスプレイ	
画面寸法 (幅×高さ×対角)	10V 型ワイド 223 mm×126 mm×256 mm
映像入力	RGB (ナビゲーション画面)
画素数	2 764 800 画素 (縦 720×横 1 280×3)
有効画素数	99.99 %
表示方式	自己発光方式
タッチパネル	静電容量方式
アンプ	
定格出力	18 W×4
最大出力	50 W×4
適合スピーカーインピーダンス	4 Ω (4 ~ 8 Ω 使用可能)
接続端子	
カメラ入力レベル	映像 : NTSC 1.0 Vp-p (75 Ω RCA ピンジャック)/HD-TVI
ビデオ出力レベル	映像 : NTSC 1.0 Vp-p (75 Ω RCA ピンジャック)
サブウーファー出力電圧	1.0 Vrms (Vol MAX)
HDMI 入力	・ HDMI 端子 : 1 系統 (19 ピン typeA 端子) ・ 映像信号 : 720p、1080i、480p (59.94 Hz/60 Hz) ・ 音声信号 : リニア PCM (最大 2 CH、 サンプリング周波数 32 kHz/44.1 kHz/48 kHz)
HDMI 出力	・ HDMI 端子 : 1 系統 (19 ピン typeA 端子) ・ 映像信号 : 480p、720p ・ 音声信号 : (F1X10BHD) リニア PCM、Bitstream (F1X10HD) リニア PCM
ナビゲーションユニット	
外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	178 mm×100 mm×167 mm (取付奥行き寸法 165 mm) ※突起部 / モニター取付部を除く
質量	(F1X10BHD) 約 2.7 kg (F1X10HD) 約 2.5 kg
動作温度	-10 °C ~ +60 °C
ディスプレイユニット	
外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	240 mm×141 mm×13 mm (最薄部 4.7 mm) ※突起部を除く
質量	約 0.7 kg
ブルーレイディスクプレーヤー (F1X10BHD)	
信号方式	Y=1.0 Vp-p Cb=Cr=0.7 Vp-p (内部) NTSC 方式 1.0 Vp-p (出力)
周波数特性	5 Hz ~ 22 kHz (サンプリング周波数 48 kHz)
ワウ・フラッター	測定限界以下

DVD プレーヤー F1X10HD	
信号方式	Y=1.0 Vp-p Cb=Cr=0.7 Vp-p (内部) NTSC方式 1.0 Vp-p (出力)
周波数特性	5 Hz ~ 22 kHz(サンプル周波数 48 kHz)
ワウ・フラッター	測定限界以下
FM チューナー	
受信周波数	76.0 MHz ~ 95.0 MHz
実用感度(SN比、30 dB)	15 dBμV以下
SN比(入力 54 dBμV)	50 dB 以上
ステレオ分離度(入力 60 dBμV)	35 dB
AM チューナー	
受信周波数	522 kHz ~ 1 629 kHz
実用感度(SN比、20 dB)	37 dBμV 以下
地上デジタル TV チューナー	
受信可能放送	地上デジタル放送 (ワンセグ対応)
受信周波数	470 MHz ~ 710 MHz (13 CH ~ 52 CH)
入力信号レベル	-75 dBm ~ -20 dBm
入力インピーダンス	50 Ω
iPod/USB 中継ケーブル接続端子	
通信方式	USB
出力電圧	5 V 2 400 mA
BLUETOOTH	
対応規格	Bluetooth Ver.5.2
パワークラス	Class 2
対応プロファイル	HFP/A2DP/AVRCP/PBAP/SPP
対応コーデック	SBC、AAC
Wi-Fi	
対応規格	IEEE 802.11b/g/n(2.4 GHz のみ)
対応チャンネル	1 ~ 13 CH
出力	最大 +14 dBm
対応セキュリティ方式	WEP/WPA2-Personal/WPA3-Personal
GPS アンテナ	
形式	マイクロストリップ方式
コードの長さ	4 m
外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	26 mm×14 mm×30 mm
質量	約 50 g (コード含む)
受信周波数	1 575.42 MHz (C/A コード)
受信可能衛星	GPS、QZSS(準天頂衛星)
地上デジタルアンテナ	
コードの長さ	4 m
外形寸法 (幅×高さ)	118 mm×81 mm
質量	約 170 g (コード含む)
出力インピーダンス	50 Ω
マイク	
コードの長さ	4 m
外形寸法 (直径×奥行き)	φ11.6 mm×35.9 mm
質量	約 32 g(コード含む)

●有機ELディスプレイのV型は、有効画素の対角寸法を基準とした大きさの目安です。

■ F1D9HD

電源	
電源電圧	DC12 V (試験電圧 13.2 V) マイナスアース
消費電流	2.5 A 以下 (AUDIO OFF 時)
液晶ディスプレイ	
画面寸法 (幅×高さ×対角)	9V 型ワイド 199 mm×112 mm×228 mm
映像入力	RGB (ナビゲーション画面)
画素数	2 764 800 画素 (縦 720×横 1 280×3)
有効画素数	99.99 %
表示方式	透過型カラーフィルター方式
駆動方式	TFT (薄膜トランジスタ) アクティブマトリックス方式
使用光源	内部光 (LED)
タッチパネル	静電容量方式
アンプ	
定格出力	18 W×4
最大出力	50 W×4
適合スピーカーインピーダンス	4 Ω (4 ~ 8 Ω 使用可能)
接続端子	
カメラ入力レベル	映像: NTSC 1.0 Vp-p (75 Ω RCA ピンジャック)/HD-TVI
ビデオ出力レベル	映像: NTSC 1.0 Vp-p (75 Ω RCA ピンジャック)
HDMI 入力	・ HDMI 端子: 1 系統 (19 ピン typeA 端子) ・ 映像信号: 720p、1080i、480p (59.94 Hz/60 Hz) ・ 音声信号: リニア PCM (最大 2 CH、サンプリング周波数 32 kHz/44.1 kHz/48 kHz)
HDMI 出力	・ HDMI 端子: 1 系統 (19 ピン typeA 端子) ・ 映像信号: 480p、720p ・ 音声信号: リニア PCM
ナビゲーションユニット	
外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	178 mm×100 mm×167 mm (取付奥行き寸法 165 mm) ※突起部 / モニター取付部を除く
質量	約 2.4 kg
動作温度	-10 °C ~ +60 °C
ディスプレイユニット	
外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	240 mm×141 mm×19 mm ※突起部を除く
質量	約 0.9 kg
DVD プレーヤー	
信号方式	Y=1.0 Vp-p Cb=Cr=0.7 Vp-p (内部) NTSC 方式 1.0 Vp-p (出力)
周波数特性	5 Hz ~ 22 kHz (サンプリング周波数 48 kHz)
ワウ・フラッター	測定限界以下
FM チューナー	
受信周波数	76.0 MHz ~ 95.0 MHz
実用感度 (SN 比、30 dB)	15 dBμV 以下
SN 比 (入力 54 dBμV)	50 dB 以上
ステレオ分離度 (入力 60 dBμV)	35 dB

AM チューナー	
受信周波数	522 kHz ~ 1 629 kHz
実用感度 (SN 比、20 dB)	37 dB μ V 以下
地上デジタル TV チューナー	
受信可能放送	地上デジタル放送 (ワンセグ対応)
受信周波数	470 MHz ~ 710 MHz (13 CH ~ 52 CH)
入力信号レベル	-75 dBm ~ -20 dBm
入力インピーダンス	50 Ω
iPod/USB 中継ケーブル接続端子	
通信方式	USB
出力電圧	5 V 2 400 mA
BLUETOOTH	
対応規格	Bluetooth Ver.5.2
パワークラス	Class 2
対応プロファイル	HFP/A2DP/AVRCP/PBAP/SPP
対応コーデック	SBC, AAC
Wi-Fi	
対応規格	IEEE 802.11b/g/n(2.4 GHz のみ)
対応チャンネル	1 ~ 13 CH
出力	最大 +14 dBm
対応セキュリティ方式	WEP/WPA2-Personal/WPA3-Personal
GPS アンテナ	
形式	マイクロストリップ方式
コードの長さ	4 m
外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行き)	26 mm × 14 mm × 30 mm
質量	約 50 g (コード含む)
受信周波数	1 575.42 MHz (C/A コード)
受信可能衛星	GPS, QZSS (準天頂衛星)
地上デジタルアンテナ	
コードの長さ	4 m
外形寸法 (幅 × 高さ)	118 mm × 81 mm
質量	約 170 g (コード含む)
出力インピーダンス	50 Ω
マイク	
コードの長さ	4 m
外形寸法 (直径 × 奥行き)	ϕ 11.6 mm × 35.9 mm
質量	約 32 g (コード含む)

● 液晶ディスプレイのV型は、有効画素の対角寸法を基準とした大きさの目安です。

- 本製品の仕様、画面表示、外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 寸法・質量はおおよその数値です。
- イラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。
- 画面表示などの色は印刷物ですので実際と異なる場合があります。
- URLは、予告なく変更になることがあります。

保証とアフターサービス

よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは…

まず、お買い上げの販売店へご相談ください

お買い上げの際に記入されると便利です。

販売店名

電話 () -

お買い上げ日 年 月 日

修理をされるときは

「困ったとき」(P.93) でご確認のあと、
なならないときは、まず電源を切り、お買い
上げ日と右の内容を販売店へご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容

製 品 名	カーナビステーション
品 番	お買い上げ製品の品番に チェックしてください。 ☐ CN-F1X10BHD ☐ CN-F1X10HD ☐ CN-F1D9HD
故障の状況	できるだけ具体的に

- 保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理させていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により有償にて修理させていただきます。

補修用性能部品の保有期間 **6年**

当社は、本製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後6年保有しています。

転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください

- 使いかた・お手入れなどのご相談は…

「パナソニック お客様ご相談センター」へ→裏表紙

- 修理に関するご相談は…

お近くの「サービスご相談窓口」へ →P.143

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくための発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。



使いかた・お手入れなどのご相談

お客様ご相談センター

電話



フリーダイヤル コー パナソニック

0120-50-8729

■上記番号がご利用いただけない場合

045-929-0511 (有料)

受付時間 9:00～17:00 (年中無休)

FAX (有料)

045-938-1573

受付時間 9:00～17:00

(土・日・祝日・当社休日を除く)

よくあるご質問 (FAQ)

メールでのお問い合わせ

panasonic.jp/car/navi/faq



修理に関するご相談

修理ご相談窓口

修理に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」(P.143) へご連絡ください。

修理ご相談窓口サイト

<https://www.panasonic.com/jp/support/consumer/car/repair.html>

- 掲載サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。(パケット定額サービスに未加入の場合、高額になる可能性があります。)
- ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
- 上記のURLはお使いの携帯電話等により、正しく表示されない場合があります。
- 上記の内容は、予告なく変更することがあります。

おぼえのため、記入されると便利です。

製造番号 (Serial No.)	万一の故障や盗難時に必要です。同梱の保証書、もしくはナビゲーションユニットの天面にある製品銘板で、9桁の番号をご確認ください。 ()
固有番号 (車載器ID)	製造番号が不明な場合(盗難時など)の確認用として、必要な場合があります。「バージョン情報」(P.81)で、番号をご確認ください。 ()

パナソニック株式会社

オートモーティブ社

〒224-8520 横浜市都筑区池辺町4261番地

© Panasonic Corporation 2021

YEFM0413580A S0821-1101